

令和元年度 私費外国人留学生生活実態調査

概 要

令和 3 年 6 月

独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO)

はじめに

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）は、文部科学省との緊密な連携の下に、学生支援を先導する中核機関として、奨学金貸与事業や留学生支援事業及び学生生活支援事業を総合的に実施し、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成するとともに、国際理解・交流の推進を図ることを目指しています。

令和元年5月1日現在、我が国で学んでいる外国人留学生数は、大学等の高等教育機関では、228,403人、日本語教育機関では、83,811人となっています（JASSO調べ）。

本機構では、令和2年2月に、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、専修学校（専門課程）、準備教育機関及び日本語教育機関に在籍する私費外国人留学生（10,000人）を対象に生活実態調査を実施しました。結果の概要は次のとおりです。

目 次

「令和元年度私費外国人留学生生活実態調査」結果の概要	1
----------------------------	---

I. 調査の目的と方法

1. 調査目的	3
2. 調査対象	3
3. 調査方法	3
4. 調査対象人数	3
5. 調査実施時期	3

II. 調査結果の内容

1. アンケート回答状況	4
2. 日本留学前の状況	7
3. 在日・在学年数及び入学前の活動	10
4. 留学後の日本への印象等	12
5. 収入	15
6. 奨学金	18
7. 支出	21
8. アルバイト	24
9. 授業時間を除く学習・研究時間	30
10. 宿舎	37
11. 授業料等の保証人	46
12. 健康	48
13. 卒業後の進路希望等	51

参考資料

令和元年度私費外国人留学生生活実態調査 アンケート内容	67
-----------------------------	----

「令和元年度私費外国人留学生生活実態調査」結果の概要

1. アンケート回答状況

私費外国人留学生の中から無作為抽出により、10,000 人に対してアンケートを送付し、7,025 人から有効回答を得た。回答率は 70.3%であった。

2. 日本留学前の状況

- (1) 日本を留学先として選んだ理由は、「日本社会に興味があり、日本で生活したかったため」(61.3%) が最も多い回答であった。
- (2) 留学するまでに特に苦労したことは、「日本語学習」(53.8%) が最も多い回答であった。
- (3) 留学情報の入手方法は、「親戚や友人に相談して」(42.0%) が最も多い回答であった。
- ※ (1) から (3) の割合は、3 つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数を回答者数で除した値。

3. 在日・在学年数及び入学前の活動

在日年数が 4 年未満の者は、5,790 人と全体の約 8 割 (82.4%) であった。
また、来日後、現在在籍している大学等へ直接入学した者は、4,364 人で全体の 62.1% で、そのうち準備教育課程及び日本語教育機関を除くと 2,643 人で全体の 37.6% であった。
なお、現在の大学等に直接入学しなかった者 (2,661 人) のうち、現在在籍する大学等の直前に日本語教育機関に在学していたと回答した者は、約 7 割の 1,895 人 (71.2%) であった。

4. 留学後の日本への印象等

- (1) 日本人に対する印象が「良くなった」とする回答は、37.7% であった。
- (2) 日本へ留学しての全体的な印象が「良かった」とする回答は、92.7% であった。
- (3) 留学後の苦労は、「物価が高い」(75.0%) が最も多い回答であった。
- ※ (3) の割合は、3 つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数を回答者数で除した値。

5. 収入

- (1) 収入の平均月額額は、148,000 円であった。
- (2) 収入は、主に「アルバイト」及び「仕送り」であった。
- (3) 居住地域別の収入の平均月額額は、関東地方が 162,000 円と全国で最も高く（東京のみでは 166,000 円）、四国地方が 119,000 円と最も低かった。

6. 奨学金

- (1) 全体の約 3 割 (33.4%) の者が何らかの奨学金を受けていた。
- (2) 在籍段階別の奨学金受給率は、高い順に「大学院博士課程・博士後期課程」、「大学院修士課程・博士前期課程」、「学部正規課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」であった。
- (3) 学習奨励費を受けて良かったことは、「日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた」(87.6%) が最も多い回答であった。
- (4) 学習奨励費の給付に対する要望は、「給付期間を 1 年間から延ばしてほしい」(63.2%) が最も多かった。
- ※ (3) 及び (4) の割合は、3 つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数を回答者数で除した値。

7. 支出

- (1) 支出の平均月額額は、148,000 円であった。
- (2) 支出額のうち「学習研究費」が最も多く、次いで「住居費」、「食費」の順であった。
- (3) 支出が最も高いのは、私立大学大学院レベルの学生であり、平均月額額は 163,000 円であった。最も低いのは、国立大学の学部レベルの学生で、平均月額額は 117,000 円であった。

8. アルバイト

- (1) 全体の7割以上(70.4%)が何らかのアルバイトに従事していた。
- (2) 職種は、軽労働の「飲食業」が1,989人で全体の約4割(40.2%)であった。
- (3) 従事時間は、週平均「20時間以上25時間未満」が1,940人(39.2%)と最も多く、次いで「15時間以上20時間未満」が948人(19.2%)であった。
- ※(2)の人数は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数の合計で、率は回答者数に対する割合。

9. 授業時間を除く学習・研究時間

- (1) 在籍段階別にみると、「大学院博士課程・博士後期課程」では、273人(57.7%)が週当たり「週35時間以上」勉強していると回答しているが、「大学院修士課程・博士前期課程」、「大学院レベルの研究生」を除いた在籍段階において、8割以上が、学習時間「週28時間未満」であり、その中でも特に「週7時間以上21時間未満」に集中していた。
- (2) 「週28時間未満」が奨学金の非受給者では約8割、奨学金受給金額「5万円未満」は76.8%(1,331人)を占めているのに対し、受給金額「11万円以上」の「週28時間未満」は52.4%(143人)となっている。

10. 宿舍

- (1) 住居の形態は、「民間アパート・マンション等」に居住する者が、5,435人(77.4%)と最も多かった。
- (2) 一人当たりの専有面積は、10㎡(約6畳)未満の者が全体の約4割(42.4%)であった。また、約8割の者が、個別のキッチン、バス・シャワー、トイレ付きの部屋に居住していた。
- (3) 単身、同居別では、単身(58.2%)の方が多かった。また、同居のうち「2人で生活(同居人1人)」は1,116人(38.0%)、「3人で生活(同居人2人)」は1,087人(37.0%)であった。同居人の種類は、「外国人留学生」が1,874人(63.8%)と最も多い回答であった。
- (4) 地域別の住居費の全国平均月額額は35,000円で、関東地方が41,000円と最も高かった。
- (5) 宿舍入居の際に保証人を求められたと回答した者は、約6割(56.6%)の3,974人であった。また、保証人は、「保証人制度を利用する」が865人(21.8%)と最も多かった。

11. 授業料等の保証人

授業料等の保証人を「求められた」と回答した者は約6割(58.6%)の4,118人であった。また、保証人は、「親族」が3,064人(74.4%)と最も多かった。

12. 健康

- (1) 健康保険に加入している者は、ほぼ全員(6,913人)で加入率は98.4%であった。
- (2) 健康保険加入者の中では、日本の国民健康保険に加入している者が6,633人(95.9%)であった。
- (3) 健康保険未加入者112人のうち、未加入理由は「保険料が高すぎる」と回答した者が51人(45.5%)で最も多かった。

13. 卒業後の進路希望等

- (1) 卒業後の予定は、「日本において就職」を希望した者が3,856人(54.9%)で最も多く、次いで「日本において進学」が2,907人(41.4%)であった。
- (2) 「日本において就職希望」と回答した者の就職希望分野は、「翻訳・通訳」1,153人(29.9%)が最も多く、次いで、「海外業務」1,084人(28.1%)、「経営・管理業務」973人(25.2%)であった。
- (3) 就職活動時の要望は、「在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化」が2,076人(53.8%)で最も多く、次いで、「留学生を対象とした就職に関する情報の充実」が2,044人(53.0%)であった。
- ※(1)から(3)の人数は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数の合計で、率は回答者数に対する割合。

※調査結果の率(%)合計値について、四捨五入や集計値の違いによって、若干の誤差が生じておりますので、あらかじめご承知おき下さい。

I. 調査の目的と方法

1. 調査目的

この調査は、我が国で学ぶ私費外国人留学生の標準的な生活の状況を把握するとともに、経済的な実状等を明らかにすることにより、独立行政法人日本学生支援機構が実施する私費外国人留学生に対する各種の支援事業を改善、充実を図るための基礎資料として活用することを目的とした。

2. 調査対象

我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、専修学校（専門課程）、準備教育課程を設置する教育施設（以下「準備教育課程」という）及び日本語教育機関（以下「大学等」という。）に在籍する私費外国人留学生を対象とし、国費外国人留学生、外国政府が派遣する政府派遣留学生及び在籍機関が1年未満の交換留学生・短期留学生は対象に含まないこととした。

3. 調査方法

全国の大学等の協力を得て、調査協力校に在籍する私費外国人留学生を無作為抽出し、Webシステム上のアンケート項目に回答（無記名）する方法により実施した。

なお、調査協力校の選定にあたっては、大学等の留学生在籍率及び地域分布等を考慮した。

4. 調査対象人数

10,000人（国立大学70校1,250人、公立大学17校200人、私立大学200校3,000人、短期大学20校200人、専修学校（専門課程）114校2,200人、準備教育課程12校150人、日本語教育機関152校3,000人）

5. 調査実施時期

令和2年2月～3月

Ⅱ．調査結果の内容

1. アンケート回答状況

私費外国人留学生 10,000 人にアンケートの回答を依頼し、有効回答を 7,025 人から得た（有効回答回収率 70.3%）。

回答者の性別の内訳（第 1-1 表）は、男性が 3,630 人（51.7%）、女性が 3,395 人（48.3%）であった。

出身国・地域別の回答者数（第 1-2 表）は、「中国」が最も多く 3,005 人（42.8%）、以下「ベトナム」が 1,204 人（17.1%）、「韓国」が 479 人（6.8%）、「ネパール」が 436 人（6.2%）、「台湾」が 290 人（4.1%）と続いており、アジア出身者が全回答者数の 93.9%となっている。

回答者の在籍学校別の内訳（第 1-3 表）は、「国立大学」が 1,010 人（14.4%）、「公立大学」が 157 人（2.2%）、「私立大学」が 2,242 人（31.9%）、「短期大学」が 144 人（2.0%）、「専修学校（専門課程）」が 1,393 人（19.8%）、「準備教育課程」が 128 人（1.8%）、「日本語教育機関」が 1,951 人（27.8%）であった。

在籍段階別の回答者数（第 1-4 表）は、回答者の多い順に、「日本語教育機関」が 1,951 人（27.8%）、「学部正規課程」が 1,778 人（25.3%）、「専修学校（専門課程）」が 1,393 人（19.8%）、「大学院修士課程・博士前期課程」が 830 人（11.8%）、「大学院博士課程・博士後期課程」が 473 人（6.7%）、「短期大学」が 144 人（2.0%）、「準備教育課程」が 128 人（1.8%）、「学部レベルの研究生・聴講生」が 97 人（1.4%）、「大学院レベルの研究生」が 54 人（0.8%）、「専門職大学院課程」が 36 人（0.5%）と続いている。

なお、「その他」には、留学生別科、専攻科に在籍するものを含む。

専攻分野別の回答者数（第 1-5 表）は、同様に、「日本語」が 2,487 人（35.4%）、「社会科学」が 1,818 人（25.9%）、「工学」が 935 人（13.3%）、「人文科学」が 549 人（7.8%）と続いている。

第 1-1 表 回答者の性別 (Q1 参照)

区分	男性	女性	計
人数 (人)	3,630	3,395	7,025
率 (%)	51.7	48.3	100.0

(注) 率は、回答者数の計 (7,025 人) を 100 とした割合

第 1-2 表 出身国・地域別の回答者数

	国・地域	人数	%
アジア	中国	3,005	42.8
	ベトナム	1,204	17.1
	韓国	479	6.8
	ネパール	436	6.2
	台湾	290	4.1
	インドネシア	238	3.4
	ミャンマー	175	2.5
	スリランカ	143	2.0
	マレーシア	142	2.0
	モンゴル	120	1.7
	タイ	112	1.6
	バングラデシュ	83	1.2
	フィリピン	58	0.8
	インド	48	0.7
	カンボジア	22	0.3
	シンガポール	14	0.2
	パキスタン	10	0.1
	ラオス	10	0.1
	ブータン	9	0.1
	東ティモール	1	0.0
	小計	6,599	93.9
中近東	イラン	10	0.1
	トルコ	8	0.1
	シリア	6	0.1
	アフガニスタン	6	0.1
	イスラエル	4	0.1
	サウジアラビア	2	0.0
	イラク	1	0.0
	イエメン	1	0.0
	アラブ首長国連邦	1	0.0
	バーレーン	1	0.0
	オマーン	1	0.0
	小計	41	0.6
オセアニア	オーストラリア	5	0.1
	ニュージーランド	2	0.0
	トンガ	2	0.0
	ミクロネシア	1	0.0
	小計	10	0.1

	国・地域	人数	%
アフリカ	エジプト	13	0.2
	ケニア	8	0.1
	ナイジェリア	6	0.1
	ガーナ	5	0.1
	ウガンダ	5	0.1
	セネガル	4	0.1
	タンザニア	3	0.0
	カメルーン	3	0.0
	モロッコ	3	0.0
	スーダン	2	0.0
	チュニジア	2	0.0
	マダガスカル	2	0.0
	コンゴ民主共和国	1	0.0
	ザンビア	1	0.0
	コートジボワール	1	0.0
	エチオピア	1	0.0
	ジンバブエ	1	0.0
	南アフリカ	1	0.0
	エリトリア	1	0.0
	マリ	1	0.0
	ブルキナファソ	1	0.0
	セーシェル	1	0.0
	ルワンダ	1	0.0
	小計	67	1.0
北米	アメリカ合衆国	42	0.6
	カナダ	10	0.1
	小計	52	0.7
南米	メキシコ	21	0.3
	ブラジル	14	0.2
	ペルー	5	0.1
	アルゼンチン	4	0.1
	エルサルバドル	2	0.0
	チリ	2	0.0
	エクアドル	2	0.0
	ベネズエラ	2	0.0
	ニカラグア	1	0.0
	コスタリカ	1	0.0
	コロンビア	1	0.0
	ジャマイカ	1	0.0
	小計	56	0.8

(Q2 参照)

	国・地域	人数	%
ヨーロッパ	ロシア	31	0.4
	ウズベキスタン	29	0.4
	フランス	27	0.4
	イタリア	17	0.2
	ドイツ	12	0.2
	スペイン	12	0.2
	英国	7	0.1
	キルギス	7	0.1
	フィンランド	5	0.1
	リトアニア	5	0.1
	スウェーデン	4	0.1
	スイス	4	0.1
	ウクライナ	4	0.1
	カザフスタン	4	0.1
	ベラルーシ	4	0.1
	オランダ	3	0.0
	ポーランド	3	0.0
	ベルギー	2	0.0
	ボルトガル	2	0.0
	ブルガリア	2	0.0
	アイスランド	1	0.0
	ノルウェー	1	0.0
	デンマーク	1	0.0
	アイルランド	1	0.0
	ルクセンブルク	1	0.0
	ギリシャ	1	0.0
	オーストリア	1	0.0
	セルビア	1	0.0
	ルーマニア	1	0.0
	アルバニア	1	0.0
	エストニア	1	0.0
	ラトビア	1	0.0
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	1	0.0
	トルクメニスタン	1	0.0
	モルドバ	1	0.0
	小計	199	2.8
その他	不明	1	0.0
	小計	1	0.0
	計	7,025	100.0

(注) 率は、回答者数の計 (7,025 人) を 100 とした割合

第 1-3 表 回答者の在籍学校別内訳

(Q11 参照)

区分	大学				短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	高等教育 機関計	日本語教 育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
調査対象者数	1,250	200	3,000	4,450	200	2,200	150	7,000	3,000	10,000
回答者数	1,010	157	2,242	3,409	144	1,393	128	5,074	1,951	7,025
率 (%)	14.4	2.2	31.9	48.5	2.0	19.8	1.8	72.2	27.8	100.0
回収率 (%)	80.8	78.5	74.7	76.6	72.0	63.3	85.3	72.5	65.0	70.3

- (注) 1. 有効回答者は 7,025 人
2. 率は、回答者数の計 (7,025 人) を 100 とした割合

第 1-4 表 在籍段階別の回答者数

(Q12 参照)

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数 (人)	473	830	36	54	1,778	97	144	1,393	128	1,951	141	7,025
率 (%)	6.7	11.8	0.5	0.8	25.3	1.4	2.0	19.8	1.8	27.8	2.0	100.0

- (注) 1. 第 1-3 表の在籍学校「大学」に在籍する留学生別科、専攻科等は「その他」に含む
2. 率は、回答者数の計 (7,025 人) を 100 とした割合

第 1-5 表 専攻分野別の回答者数

(Q16 参照)

区分	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	日本語	その他	計
人数 (人)	549	1,818	262	935	110	120	38	65	144	2,487	497	7,025
率 (%)	7.8	25.9	3.7	13.3	1.6	1.7	0.5	0.9	2.0	35.4	7.1	100.0

- (注) 1. 「日本語」に、日本語教育機関の在籍者数 1,951 人を含む
2. 率は、回答者数の計 (7,025 人) を 100 とした割合

第 1-6 表 居住地域別の回答者数

(Q37 参照)

区分		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	計
高等教育機関	人数 (人)	131	147	2,014	647	1,074	349	84	628	1,080	5,074
日本語教育機関		14	34	1,310	96	325	42	8	122	1,058	1,951
計		145	181	3,324	743	1,399	391	92	750	2,138	7,025

2. 日本留学前の状況

留学の目的（第 2-1 表）は、「学位を取得する」が最も多く、3,569 人（50.8%）、「日本で働く、もしくは日本企業に就職する」が 3,159 人（45.0%）、「就職に必要な技能や知識を身に付ける」が 3,012 人（42.9%）、「日本語の能力を高める」が 2,164 人（30.8%）、「国際的な経験をつんで国際的な人脈を作る」が 1,677 人（23.9%）、「異文化に接する」が 1,479 人（21.1%）となっている。

第 2-1 表 留学の目的（複数回答設問）

（Q3 参照）

区分	学位を取得するため	教養を身につけるため	就職に必要な技能や知識を身につけるため	日本で働く、もしくは日本企業に就職するため	国際的な経験をつんで国際的な人脈を作るため	国際的な考え方を身につけるため	良い環境で研究を行うため	日本語の能力を高めるため	異文化に接するため	その他	不明
集計 pt	9,450	3,097	6,457	6,657	2,947	2,487	1,592	3,989	2,345	101	—
集計 pt 率 (%)	24.2	7.9	16.5	17.0	7.5	6.4	4.1	10.2	6.0	0.3	—
人数 (人)	3,569	1,449	3,012	3,159	1,677	1,454	904	2,164	1,479	42	—
率 (%)	50.8	20.6	42.9	45.0	23.9	20.7	12.9	30.8	21.1	0.6	—
平成 29 年率 (%)	52.5	25.9	49.4	46.2	29.8	30.8	9.7	22.0	17.2	0.9	0.2
平成 27 年率 (%)	53.2	27.1	47.3	44.3	31.8	31.0	9.6	21.8	17.3	0.8	0.0

- （注） 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（39,122）を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,025 人）を 100 とした割合

日本を留学先として選んだ理由（第 2-2 表）としては、「日本社会に興味があり、日本で生活したかった」が 4,309 人（61.3%）で最も多く、次いで、「日本語・日本文化を勉強したかった」が 3,110 人（44.3%）、「日本の大学等の教育や研究が魅力的と思った」が 2,549 人（36.3%）と続く。

第 2-2 表 日本を留学先として選んだ理由（複数回答設問）

（Q4 参照）

区分	日本社会に興味があり、日本で生活したかったため	日本の大学等の教育や研究が魅力的だったため	地理的に近いため	興味ある専門分野があったため	異文化に接したかったため	日本語・日本文化を勉強したかったため	日本と関連のある職業に就きたかったため	奨学金を得られたため
集計 pt	10,900	5,798	2,314	3,366	2,516	6,213	2,340	695
集計 pt 率 (%)	28.0	14.9	5.9	8.6	6.5	16.0	6.0	1.8
人数 (人)	4,309	2,549	1,192	1,667	1,409	3,110	1,362	391
率 (%)	61.3	36.3	17.0	23.7	20.1	44.3	19.4	5.6
平成 29 年率 (%)	60.8	34.1	17.5	23.6	23.7	48.2	24.5	5.5
平成 27 年率 (%)	59.5	35.8	19.6	22.1	23.1	47.3	25.0	4.3

区分	友人、知人、家族等に勧められたため	大学間交流等をきっかけとして	他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合ったため	その他	不明
集計 pt	2,060	650	1,876	199	—
集計 pt 率 (%)	5.3	1.7	4.8	0.5	—
人数 (人)	1,109	366	1,117	92	—
率 (%)	15.8	5.2	15.9	1.3	—
平成 29 年率 (%)	18.4	4.9	16.8	1.5	0.3
平成 27 年率 (%)	19.6	5.8	15.0	1.4	0.1

- （注） 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（38,927）を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,025 人）を 100 とした割合

留学するにあたり不安に感じていたこと（第2-3表）は、「周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるかどうか」が最も多く、3,470人（49.4%）、次いで、「自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるかどうか」3,332人（47.4%）、「経済的な困難に直面しないかどうか」が2,656人（37.8%）と続く。

第2-3表 留学するにあたり不安に感じていたこと（複数回答設問）

（Q5参照）

区分	日本の天候や食べ物、習慣に適応できるかどうか	自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるかどうか	周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるかどうか	適切な宿舎を確保できるかどうか	病気にかかったり自然災害に遭ったりしないかどうか	孤独に感じたりホームシックになったりしないかどうか	経済的な困難に直面しないかどうか	特に不安はなかった	その他	不明
集計 pt	4,629	7,843	7,736	1,204	3,826	2,909	5,249	2,634	148	—
集計 pt 率 (%)	12.8	21.7	21.4	3.3	10.6	8.0	14.5	7.3	0.4	—
人数 (人)	1,904	3,332	3,470	643	1,943	1,588	2,656	1,084	72	—
率 (%)	27.1	47.4	49.4	9.2	27.7	22.6	37.8	15.4	1.0	—
平成29年率 (%)	27.7	52.2	52.7	12.3	26.6	24.0	41.8	14.3	1.6	0.3
平成27年率 (%)	25.0	54.0	51.5	13.7	25.2	22.6	45.2	14.4	1.6	0.2

- （注） 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを3pt、2番目にあてはまるものを2pt、3番目にあてはまるものを1ptとして集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（36,178）を100とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,025人）を100とした割合

留学するまでに特に苦労したこと（第2-4表）は、「日本語学習」が最も多く、3,776人（53.8%）、次いで、「情報の収集」が3,483人（49.6%）、「留学資金準備」が2,698人（38.4%）となっている。

第2-4表 留学するまでに特に苦労したこと（複数回答設問）

（Q6参照）

区分	情報の収集	日本語学習	留学先学校との事前連絡	留学ビザ取得	留学資金準備	入学試験	その他	不明
集計 pt	8,110	9,190	2,809	4,063	5,799	4,236	425	—
集計 pt 率 (%)	23.4	26.5	8.1	11.7	16.7	12.2	1.2	—
人数 (人)	3,483	3,776	1,449	1,915	2,698	2,091	171	—
率 (%)	49.6	53.8	20.6	27.3	38.4	29.8	2.4	—
平成29年率 (%)	49.5	54.8	26.7	28.7	46.4	30.0	4.3	0.9
平成27年率 (%)	49.2	53.6	28.8	29.0	46.8	29.2	4.7	0.5

- （注） 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを3pt、2番目にあてはまるものを2pt、3番目にあてはまるものを1ptとして集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（34,632）を100とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,025人）を100とした割合

留学情報の入手方法（第 2-5 表）としては、「親戚や友人に相談して」が最も多く、2,954 人（42.0%）、次いで、「インターネットを利用して学校や日本学生支援機構（JASSO）の HP を検索して」が 2,507 人（35.7%）、「母国の学校や教員に相談して」が 2,247 人（32.0%）と続いている。

第 2-5 表 留学情報の入手方法 （複数回答設問）

（Q7 参照）

区分	日本留学フェア 教育展等に 参加して	入学を希望する 学校に直接 問い合わせして	在外日本大使館 等の在外公館に 問い合わせして	母国の政府 教育機関に 問い合わせ して	日本学生支援 機構（JASSO）に 問い合わせして	インターネット を利用して学校 や日本学生支援 機構（JASSO）の HP を検索して	その他の 民間団体に 問い合わせして
集計 pt	4,443	4,843	814	2,017	602	5,710	2,961
集計 pt 率（%）	13.1	14.3	2.4	6.0	1.8	16.9	8.7
人数（人）	1,778	2,085	410	882	289	2,507	1,293
率（%）	25.3	29.7	5.8	12.6	4.1	35.7	18.4
平成 29 年率（%）	27.0	29.1	5.2	11.2	3.7	44.8	19.9
平成 27 年率（%）	26.9	29.8	5.5	11.7	3.8	45.6	19.0

区分	日本の出版物を 購入して	母国の学校や 教員に 相談して	親戚や友人に 相談して	その他	不明
集計 pt	629	5,148	6,289	407	—
集計 pt 率（%）	1.9	15.2	18.6	1.2	—
人数（人）	365	2,247	2,954	178	—
率（%）	5.2	32.0	42.0	2.5	—
平成 29 年率（%）	6.6	34.3	47.5	3.8	0.4
平成 27 年率（%）	7.1	33.7	46.5	3.3	0.2

- （注） 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（33,863）を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,025 人）を 100 とした割合

3. 在日・在学年数及び入学前の活動

在日年数（第3-1表）は、「1年以上2年未満」の2,211人（31.5%）が最も多く、次いで、「2年以上3年未満」が1,369人（19.5%）、「1年未満」が1,118人（15.9%）と続き、在日年数が「1年以上4年未満」の者が4,672人（66.5%）で全体の約7割である。

第3-1表 在日年数

（Q8参照）

区分	1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～4年未満	4年～5年未満	5年～6年未満	6年以上	不明	計
人数（人）	1,118	2,211	1,369	1,092	582	361	292	—	7,025
率（%）	15.9	31.5	19.5	15.5	8.3	5.1	4.2	—	100.0
平成29年率（%）	15.8	32.5	18.1	15.7	8.0	4.7	4.7	0.4	100.0
平成27年率（%）	14.9	29.9	17.3	15.6	9.1	7.2	5.7	0.2	100.0

（注） 率は、回答者数の計（7,025人）を100とした割合

在籍段階別の在日年数（第3-2表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」の約6割（59.6%）が在日3年以上であり、課程の段階があがるにつれて在日年数が増えている。

第3-2表 在籍段階別の在日年数

（Q8・12参照）

区分		1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～4年未満	4年～5年未満	5年～6年未満	6年以上	計
大学院博士課程 博士後期課程	人数（人）	41	57	93	81	64	67	70	473
	率（%）	8.7	12.1	19.7	17.1	13.5	14.2	14.8	100.0
大学院修士課程 博士前期課程	人数（人）	144	177	203	116	53	42	95	830
	率（%）	17.3	21.3	24.5	14.0	6.4	5.1	11.4	100.0
専門職大学院 課程	人数（人）	3	8	8	8	2	6	1	36
	率（%）	8.3	22.2	22.2	22.2	5.6	16.7	2.8	100.0
大学院レベルの 研究生	人数（人）	10	7	11	12	9	4	1	54
	率（%）	18.5	13.0	20.4	22.2	16.7	7.4	1.9	100.0
学部正規課程	人数（人）	172	257	429	414	270	173	63	1,778
	率（%）	9.7	14.5	24.1	23.3	15.2	9.7	3.5	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数（人）	9	15	10	20	21	16	6	97
	率（%）	9.3	15.5	10.3	20.6	21.6	16.5	6.2	100.0
短期大学	人数（人）	7	47	35	34	10	5	6	144
	率（%）	4.9	32.6	24.3	23.6	6.9	3.5	4.2	100.0
専修学校 （専門課程）	人数（人）	99	271	484	372	113	26	28	1,393
	率（%）	7.1	19.5	34.7	26.7	8.1	1.9	2.0	100.0
準備教育課程	人数（人）	70	50	5	0	0	0	3	128
	率（%）	54.7	39.1	3.9	0.0	0.0	0.0	2.3	100.0
日本語教育機関	人数（人）	534	1,302	67	14	11	9	14	1,951
	率（%）	27.4	66.7	3.4	0.7	0.6	0.5	0.7	100.0
その他	人数（人）	29	20	24	21	29	13	5	141
	率（%）	20.6	14.2	17.0	14.9	20.6	9.2	3.5	100.0
計	人数（人）	1,118	2,211	1,369	1,092	582	361	292	7,025
	率（%）	15.9	31.5	19.5	15.5	8.3	5.1	4.2	100.0

（注） 率は、在籍段階別の回答者数の計を100とした割合

次の表（第3-3表と第3-4表）は、在籍段階別の在籍学生の経路と直接入学以外の者の在籍段階別の直近状況をまとめたものである。

表3-3を見ると、来日後、「現在通っている大学・学校にすぐ入学した」と回答した者は4,364人（62.1%）

で、そのうち準備教育課程及び日本語教育機関を除くと 2,643 人で全体の 37.6%であった。また、「現在在籍している以外の学校に通ったり、就労等の経験がある」と回答した者は 2,661 人 (37.9%) である。

第 3-3 表 在籍段階別の在籍学生の経路

(Q9・12 参照)

区分		大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正 規課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期 大学	専修学校 (専門課 程)	準備教育 課程	日本語 教育機 関	その他	計
直接入学 の者	人数 (人)	314	452	22	37	895	54	88	701	103	1,618	80	4,364
	率 (%)	66.4	54.5	61.1	68.5	50.3	55.7	61.1	50.3	80.5	82.9	56.7	62.1
	平成 29 年率 (%)	63.1	48.5	50.0	56.1	38.8	47.1	55.0	36.8	82.9	80.5	47.3	53.6
	平成 27 年率 (%)	61.6	43.2	41.5	44.0	36.7	59.6	48.1	36.3	70.0	79.3	50.9	51.2
直接入学 以外の者	人数 (人)	159	378	14	17	883	43	56	692	25	333	61	2,661
	率 (%)	33.6	45.5	38.9	31.5	49.7	44.3	38.9	49.7	19.5	17.1	43.3	37.9
	平成 29 年率 (%)	35.7	50.7	46.2	39.0	60.6	49.0	42.5	61.8	15.9	17.4	48.6	44.9
	平成 27 年率 (%)	37.6	55.4	56.6	56.0	62.5	40.4	51.9	62.3	27.1	18.0	47.6	47.3
不明	人数 (人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	率 (%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	平成 29 年率 (%)	1.2	0.8	3.8	4.9	0.5	3.9	2.5	1.4	1.2	2.1	4.1	1.5
	平成 27 年率 (%)	0.8	1.4	1.9	0.0	0.9	0.0	0.0	1.3	2.9	2.7	1.5	1.5
計	人数 (人)	473	830	36	54	1,778	97	144	1,393	128	1,951	141	7,025
	率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- (注) 1. 直接入学の者とは、現在在籍している大学・学校にすぐ入学した者を示す。
また、直接入学以外の者とは、現在在籍している以外の大学に通う他、就労等の経験がある者を示す。
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

第 3-4 表 直接入学以外の者の在籍段階別の直近状況

(Q10・12 参照)

区分		大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正 規課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期 大学	専修学校 (専門課 程)	準備教育 課程	日本語 教育機 関	その他	計
日本語 教育機関	人数 (人)	65	217	12	13	652	30	34	583	12	234	43	1,895
	率 (%)	40.9	57.4	85.7	76.5	73.8	69.8	60.7	84.2	48.0	70.3	70.5	71.2
準備教育課程	人数 (人)	4	14	0	0	29	2	1	4	5	18	1	78
	率 (%)	2.5	3.7	0.0	0.0	3.3	4.7	1.8	0.6	20.0	5.4	1.6	2.9
留学生別科	人数 (人)	8	22	0	1	66	2	9	16	1	12	6	143
	率 (%)	5.0	5.8	0.0	5.9	7.5	4.7	16.1	2.3	4.0	3.6	9.8	5.4
専修学校 (専門課程)	人数 (人)	0	7	0	0	42	2	2	36	0	9	3	101
	率 (%)	0.0	1.9	0.0	0.0	4.8	4.7	3.6	5.2	0.0	2.7	4.9	3.8
高等専門学校	人数 (人)	1	2	0	0	26	1	1	12	1	7	0	51
	率 (%)	0.6	0.5	0.0	0.0	2.9	2.3	1.8	1.7	4.0	2.1	0.0	1.9
短期大学	人数 (人)	0	0	0	0	6	0	8	2	0	1	1	18
	率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	14.3	0.3	0.0	0.3	1.6	0.7
大学の学部	人数 (人)	12	50	1	0	24	2	1	11	1	15	3	120
	率 (%)	7.5	13.2	7.1	0.0	2.7	4.7	1.8	1.6	4.0	4.5	4.9	4.5
大学院	人数 (人)	48	44	1	1	0	1	0	1	1	8	0	105
	率 (%)	30.2	11.6	7.1	5.9	0.0	2.3	0.0	0.1	4.0	2.4	0.0	3.9
働いていた	人数 (人)	15	16	0	2	14	0	0	18	3	26	2	96
	率 (%)	9.4	4.2	0.0	11.8	1.6	0.0	0.0	2.6	12.0	7.8	3.3	3.6
その他	人数 (人)	6	6	0	0	24	3	0	9	1	3	2	54
	率 (%)	3.8	1.6	0.0	0.0	2.7	7.0	0.0	1.3	4.0	0.9	3.3	2.0
計	人数 (人)	159	378	14	17	883	43	56	692	25	333	61	2,661
	率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- (注) 1. 有効回答者は、第 3-3 表の回答者 (7,025 人) のうち、「直接入学以外の者」と回答した数 (2,661 人)
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

4. 留学後の日本への印象等

留学後の日本人に対する印象（第4-1表）は、「良くなった」と回答した者が2,645人（37.7%）で約4割となっており、「悪くなった」と回答した者は810人（11.5%）である。

第4-1表 留学後の日本人に対する印象

（Q23参照）

区分	留学前は悪かったが留学後に良くなった	留学前から良かったが留学後にさらに良くなった	留学前は良かったが留学後に悪くなった	留学前から悪かったが留学後にさらに悪くなった	留学前から良かったが留学後に特に変化は無い	留学前から悪かったが留学後に特に変化は無い	不明	計
人数（人）	559	2,086	772	38	3,502	68	-	7,025
率（%）	8.0	29.7	11.0	0.5	49.9	1.0	-	100.0
平成29年率（%）	8.7	32.5	12.0	0.4	44.5	0.8	1.2	100.0
平成27年率（%）	10.6	35.0	9.3	0.6	42.1	0.7	1.7	100.0

（注）率は、回答者数の計（7,025人）を100とした割合

日本へ留学しての全体的な印象（第4-2表）は、留学して「良かった」と回答した者が6,512人（92.7%）で約9割になっており、「悪かった」と回答した者は50人（0.7%）である。

第4-2表 日本へ留学しての全体的な印象

（Q24参照）

区分	良かった	悪かった	どちらともいえない	不明	計
人数（人）	6,512	50	463	-	7,025
率（%）	92.7	0.7	6.6	-	100.0
平成29年率（%）	92.0	1.2	6.1	0.7	100.0
平成27年率（%）	90.8	1.1	7.7	0.4	100.0

（注）率は、回答者数の計（7,025人）を100とした割合

留学して良かったこと（第4-3表）は、「日本語が習得できたこと」が3,916人（60.1%）、次いで「国際的な考え方、教養を身につけることができたこと」が3,593人（55.2%）である。

また、最もあてはまると回答した項目は「質の高い教育を受けられたこと」が一番多く2,127人（32.7%）、「日本語が習得できたこと」が2,126人（32.6%）、「国際的な考え方、教養を身につけることができたこと」が1,074人（16.5%）、「日本人の友人ができたこと」が634人（9.7%）と続く。

第4-3表 留学して良かったこと（複数回答設問）

（Q25参照）

区分	質の高い教育を受けられたこと	日本語が習得できたこと	日本人の友人ができたこと	国際的な人脈ができたこと	国際的な考え方、教養を身につけることができたこと	その他	不明
集計pt	8,165	9,429	4,726	3,991	6,877	269	-
集計pt率（%）	24.4	28.2	14.1	11.9	20.6	0.8	-
人数（人）	3,281	3,916	2,385	2,129	3,593	131	-
率（%）	50.4	60.1	36.6	32.7	55.2	2.0	-
平成29年率（%）	54.9	65.3	41.0	35.7	67.1	3.1	0.0
平成27年率（%）	54.6	64.8	40.8	35.3	67.3	4.4	0.5

- （注）
- 有効回答者は、第4-2表の回答者（7,025人）のうち、「良かった」と回答した数（6,512人）
 - 集計ptは、最もあてはまるものを3pt、2番目にあてはまるものを2pt、3番目にあてはまるものを1ptとして集計した値で、集計pt率は、集計ptの計（33,457）を100とした割合
 - 率は、回答者数の計（6,512人）を100とした割合

在籍校の良い点と悪い点（第 4-4 表）は、良い点として「学生のサポート体制」が 2,930 人（41.7%）、「学修環境」が 2,289 人（32.6%）と続く。一方、悪い点としては、「課外活動」が 1,857 人（26.4%）、「特になし」が 1,354 人（19.3%）である。

第 4-4 表 在籍校の良い点と悪い点

（Q21・22 参照）

区分		学生の サポート体制	学修環境	研究内容	福利厚生	課外活動	その他	特になし	不明
良い点	人数（人）	2,930	2,289	943	116	488	188	71	－
	率（%）	41.7	32.6	13.4	1.7	6.9	2.7	1.0	－
	平成 29 年率（%）	44.5	28.9	9.6	2.4	5.8	1.3	－	7.5
	平成 27 年率（%）	40.8	30.2	10.4	2.7	5.7	3.7	－	6.6
悪い点	人数（人）	781	841	565	1,110	1,857	517	1,354	－
	率（%）	11.1	12.0	8.0	15.8	26.4	7.4	19.3	－
	平成 29 年率（%）	5.8	7.6	5.1	9.3	15.2	8.8	－	48.2
	平成 27 年率（%）	7.6	8.6	5.5	12.3	16.1	17.2	－	32.7

（注） 率は、回答者数の計（7,025 人）を 100 とした割合

在日年数別の日本へ留学しての全体的な印象（第 4-5 表）を見ると、「良かった」が 9 割以上であり、在日年数が「6 年以上」（94.2%）が最も高い率となっている。

第 4-5 表 在日年数別の日本へ留学しての全体的な印象

（Q8・24 参照）

区分			良かった	悪かった	どちらともいえない	計
在日年数	1 年未満	人数（人）	1,046	8	64	1,118
		率（％）	93.6	0.7	5.7	100.0
	1 年～2 年未満	人数（人）	2,035	9	167	2,211
		率（％）	92.0	0.4	7.6	100.0
	2 年～3 年未満	人数（人）	1,257	17	95	1,369
		率（％）	91.8	1.2	6.9	100.0
	3 年～4 年未満	人数（人）	1,016	12	64	1,092
		率（％）	93.0	1.1	5.9	100.0
	4 年～5 年未満	人数（人）	544	1	37	582
		率（％）	93.5	0.2	6.4	100.0
	5 年～6 年未満	人数（人）	339	1	21	361
		率（％）	93.9	0.3	5.8	100.0
	6 年以上	人数（人）	275	2	15	292
		率（％）	94.2	0.7	5.1	100.0
計		人数（人）	6,512	50	463	7,025
		率（％）	92.7	0.7	6.6	100.0

（注） 率は、在日年数別の回答者数の計を 100 とした割合

留学後の苦勞（第 4-6 表）としては、「物価が高い」と回答した者が 5,270 人（75.0%）で約 7 割となっており、次いで、「日常生活における母国の習慣（生活習慣、宗教上の習慣等）との違い」が 2,503 人（35.6%）、「日本語の習得」が 2,149 人（30.6%）となっている。

第 4-6 表 留学後の苦勞 (複数回答設問)

(Q27 参照)

区分	物価が高い	日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い	宿舎等を 探すこと	宿舎等に おけるルール (ゴミ出し等) を守ること	日本語の習得	英語の習得	学校内で 日本人学生と 交流できない こと
集計 pt	14,193	5,310	2,803	1,566	4,409	1,762	2,735
集計 pt 率 (%)	39.7	14.8	7.8	4.4	12.3	4.9	7.6
人数 (人)	5,270	2,503	1,426	885	2,149	947	1,465
率 (%)	75.0	35.6	20.3	12.6	30.6	13.5	20.9
平成 29 年率 (%)	74.0	34.6	22.4	13.7	30.7	17.1	22.6
平成 27 年率 (%)	70.5	33.5	23.3	12.0	30.7	19.4	22.4

区分	学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと	学校の授業についていくこと	その他	不明
集計 pt	876	1,501	620	—
集計 pt 率 (%)	2.4	4.2	1.7	—
人数 (人)	499	844	273	—
率 (%)	7.1	12.0	3.9	—
平成 29 年率 (%)	7.0	13.7	4.3	4.8
平成 27 年率 (%)	7.0	15.2	5.3	4.9

- (注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計 (35,775) を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計 (7,025 人) を 100 とした割合

留学後の苦勞で克服できなかったこと(第 4-7 表)は、「物価が高い」と回答した者が 3,825 人(54.4%)となっており、次いで、「日常生活における母国の習慣(生活習慣、宗教上の習慣等)との違い」が 1,541 人(21.9%)、「学校内で日本人学生と交流できないこと」が 1,303 人(18.5%)と続いている。

第 4-7 表 留学後の苦勞で克服できなかったこと (複数回答設問)

(Q28 参照)

区分	物価が高い	日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い	宿舎等を 探すこと	宿舎等に おけるルール (ゴミ出し等) を守ること	日本語の習得	英語の習得	学校内で 日本人学生と 交流できない こと
集計 pt	10,726	3,530	1,809	1,112	2,644	2,549	2,963
集計 pt 率 (%)	36.9	12.1	6.2	3.8	9.1	8.8	10.2
人数 (人)	3,825	1,541	877	549	1,208	1,076	1,303
率 (%)	54.4	21.9	12.5	7.8	17.2	15.3	18.5
平成 29 年率 (%)	54.1	20.4	12.9	8.1	16.8	19.2	19.2
平成 27 年率 (%)	50.2	19.9	12.7	7.1	16.7	21.5	19.6

区分	学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと	学校の授業についていくこと	その他	不明
集計 pt	952	981	1,795	—
集計 pt 率 (%)	3.3	3.4	6.2	—
人数 (人)	481	504	624	—
率 (%)	6.8	7.2	8.9	—
平成 29 年率 (%)	6.4	8.4	6.6	11.1
平成 27 年率 (%)	6.6	10.1	10.2	9.9

- (注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計 (29,061) を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計 (7,025 人) を 100 とした割合

5. 収入

※「5. 収入」、「6. 奨学金」、「7. 支出」においては、Q29の収入・支出にて有効な回答（6,822人分）
についてのみの集計となっている。（※第1-3表の回答者数（7,025人）と回答者数が異なる）

全体の平均月収入額は、148,000円である。在籍段階別の平均月収入額（第5-3表）を比較すると、「準備教育課程」が159,000円で最も高く、以下、「専門職大学院課程」と「日本語教育機関」が153,000円、「専修学校（専門課程）」が150,000円、「学部正規課程」が148,000円、「学部レベルの研究生・聴講生」が145,000円、「大学院博士課程・博士後期課程」が143,000円、「大学院修士課程・博士前期課程」が142,000円、「短期大学」と「その他」が138,000円、「大学院レベルの研究生」が136,000円と続いている。

第5-1表 収入・支出の有効回答者の在籍段階別内訳数 (Q12・29参照)

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 （専門課程）	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数（人）	471	816	36	52	1,743	91	135	1,340	125	1,882	131	6,822

（注）1. 有効回答者は、第1-3表の回答者（7,025人）のうち、Q29の収入・支出において、有効な回答とみなされた数（6,822人）

2. 第1-3表の在籍学校「大学」に在籍する留学生別科、専攻科等は「その他」に含む

第5-2表 収入・支出の有効回答者の在籍学校別内訳 (Q29参照)

区分	大学				短期大学	専修学校 （専門課程）	準備教育 課程	高等教育 機関計	日本語 教育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
人数（人）	1,001	156	2,183	3,340	135	1,340	125	4,940	1,882	6,822

（注）有効回答者は、第5-1表の回答者（6,822人）

第5-3表 在籍段階別の平均月収入額（全体と在籍段階別） (Q12・29参照)

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大 学	専修学校 （専門課 程）	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	全体	（参考） 中央値
平均月額（千円）	143	142	153	136	148	145	138	150	159	153	138	148	140
平成29年（千円）	134	132	165	127	148	128	143	153	173	148	146	146	
平成27年（千円）	131	128	144	122	141	109	126	157	132	143	131	141	

（注）1. 有効回答者は、第5-1表の回答者（6,822人）

2. 平均月額は、在籍段階別の収入額の計を、第5-1表の在籍段階別の人数で除した額

3. 中央値とは、低い金額から高い金額へと順に並べ、ちょうど中央に当たる値を言う
ただし、データの件数が偶数の場合は、中央の2つの値の平均値を中央値とする

大学国公私別の平均月収入額（第5-4表）を見ると、全体の平均収入額が145,000円であり、私立大学が157,000円、公立大学が127,000円、国立大学が124,000円である。

第5-4表 大学国公私別の平均月収入額 (Q11・29参照)

区分	大学			全体
	国立	公立	私立	
平均月額（千円）	124	127	157	145
平成29年（千円）	121	116	154	142
平成27年（千円）	113	110	148	135

（注）1. 有効回答者は、第5-1表の回答者（6,822人）のうち、第5-2表の「大学」に在籍する数（3,340人）

2. 平均月額は、大学国公私別の収入額の計を、大学国公私別の人数で除した額

項目別平均月収入額（第 5-5 表）については、高等教育機関においては、回答の多い順に、「アルバイト」が 3,682 人（74.5%）で 74,000 円、「仕送り」が 3,467 人（70.2%）で 81,000 円、「奨学金」が 2,034 人（41.2%）で 62,000 円と続く。日本語教育機関においては、回答の多い順に、「仕送り」が 1,457 人（77.4%）で 102,000 円、「アルバイト」が 1,347 人（71.6%）で 87,000 円、「奨学金」が 246 人（13.1%）で 39,000 円と続いている。

第 5-5 表 項目別平均月収入額（収入額の計を当該収入を得ている者の計で除した額）（Q29 参照）

区分		仕送り	アルバイト	奨学金	知人の援助	配偶者の収入	その他
高等教育機関	人数（人）	3,467	3,682	2,034	285	123	314
	率（%）	70.2	74.5	41.2	5.8	2.5	6.4
	平均月額（千円）	81	74	62	57	100	54
	（参考）中央値	63	75	48	80	37	36
日本語教育機関	人数（人）	1,457	1,347	246	131	59	122
	率（%）	77.4	71.6	13.1	7.0	3.1	6.5
	平均月額（千円）	102	87	39	39	27	50
	（参考）中央値	80	95	30	2	15	20

- （注） 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（6,822 人）
2. 率は、第 5-2 表の高等教育機関（4,940 人）・日本語教育機関（1,882 人）別の人数を 100 とした割合
3. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に各項目の収入額の計を、各項目別に収入を得ている人数で除した額（収入を得ている者の平均月額）
4. 中央値とは、低い金額から高い金額へと順に並べ、ちょうど中央に当たる値を言う
ただし、データの件数が偶数の場合は、中央の 2 つの値の平均値を中央値とする

【参考】項目別平均月収入額（収入額の計を、当該収入を得ている者及び得ていない者の計で除した額）

（Q29 参照）

区分		仕送り	アルバイト	奨学金	知人の援助	配偶者の収入	その他
高等教育機関	平均月額（千円）	57	55	26	3	2	3
日本語教育機関	平均月額（千円）	79	62	5	3	1	3

- （注） 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（6,822 人）
2. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に各項目の収入額の計を、第 5-2 表の高等教育機関（4,940 人）・日本語教育機関（1,882 人）の人数で除した額 ※（当該収入を得ていない者も人数に含む）

居住地域別平均月収入額（第 5-6 表）は、関東地方が 162,000 円と全国で最も高く、四国地方が 119,000 円と最も低い。なお、東京のみでは 166,000 円となっている。

第 5-6 表 居住地域別平均月収入額（単位：千円）

（Q29・37 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
高等教育機関	121	130	165	132	147	129	119	126	172	147
日本語教育機関	111	115	159	137	153	134	120	125	160	153
全体	120	127	162	133	149	130	119	126	166	148

- （注） 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（6,822 人）
2. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に、各居住地域の 1 か月の収入額の計を、各居住地域別の人数で除した額

第 5-7 表 居住地域別の項目別収入内訳（単位：千円）

（Q29・37 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
仕送り	48	37	79	41	62	40	37	41	89	63
アルバイト	41	56	57	53	56	63	56	62	53	57
奨学金	24	25	17	32	22	18	20	17	15	20
知人の援助	3	4	4	2	2	3	4	2	4	3
配偶者の収入	1	4	2	1	2	4	0	2	1	2
その他	5	2	4	3	3	2	2	3	5	3

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（6,822 人）

2. 収入内訳は、項目別に、各居住地域の収入額の計を、各居住地域別の回答者の人数（収入を得ている者及び得ていない者）の計で除した額

【参考】居住地域別の項目別収入内訳（高等教育機関のみ）（単位：千円）

（Q29・37 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
仕送り	49	37	72	39	59	41	39	42	84	57
アルバイト	41	53	58	50	53	59	51	57	53	55
奨学金	26	30	24	36	28	19	22	20	23	26
知人の援助	2	4	5	2	2	3	4	2	5	3
配偶者の収入	1	5	2	1	3	5	0	2	2	2
その他	3	2	4	4	3	2	2	3	5	3

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（6,822 人）のうち、第 5-2 表の高等教育機関に在籍する数（4,940 人）

2. 収入内訳は、項目別に、各居住地域の収入額の計を、各居住地域別の回答者の人数（収入を得ている者及び得ていない者）の計で除した額（高等教育機関のみ）

【参考】居住地域別の項目別収入内訳（日本語教育機関のみ）（単位：千円）

（Q29・37 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
仕送り	36	41	90	51	75	26	11	34	94	79
アルバイト	39	70	57	78	67	93	109	86	53	62
奨学金	1	2	5	6	5	6	0	3	6	5
知人の援助	11	2	3	2	3	3	0	1	3	3
配偶者の収入	0	0	1	1	2	2	0	0	1	1
その他	24	0	4	0	2	4	0	1	4	3

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（6,822 人）のうち、第 5-2 表の日本語教育機関に在籍する数（1,882 人）

2. 収入内訳は、項目別に、各居住地域の収入額の計を、各居住地域別の回答者の人数（収入を得ている者及び得ていない者）の計で除した額（日本語教育機関のみ）

6. 奨学金

※「5. 収入」、「6. 奨学金」、「7. 支出」においては、Q29 の収入・支出にて有効な回答（6,822 人分）
についてのみの集計となっている。（※第 1-3 表の回答者数（7,025 人）と回答者数が異なる）

奨学金の受給者は 2,280 人で、全体（Q29 で収入・支出の有効回答者）の約 3 割となっている。奨学金の受給内容内訳（第 6-1 表）を回答の多い順に見ると、高等教育機関では、「学習奨励費」が 960 人（47.2%）で月額は 48,000 円、「大学・学校からの奨学金」が 487 人（23.9%）で 42,000 円、「民間団体の奨学金」が 432 人（21.2%）で 90,000 円と続く。日本語教育機関では、「学習奨励費」が 153 人（62.2%）で月額は 30,000 円、「大学・学校からの奨学金」が 88 人（35.8%）で 16,000 円、「その他の奨学金」が 69 人（28.0%）で 28,000 円と続く。

第 6-1 表 奨学金の受給内容内訳 (Q29 参照)

区分		学習奨励費	大学・学校からの奨学金	地方自治体 (都道府県市区町村) による援助金	民間団体の 奨学金	海外の団体 による奨学金 (日本以外の団体)	その他の 奨学金
高等教育機関	人数 (人)	960	487	94	432	47	177
	率 (%)	47.2	23.9	4.6	21.2	2.3	8.7
	平均月額 (千円)	48	42	52	90	84	73
	平成 29 年 (千円)	48	45	48	87	133	77
	平成 27 年 (千円)	48	40	50	81	115	77
日本語教育機関	人数 (人)	153	88	54	60	48	69
	率 (%)	62.2	35.8	22.0	24.4	19.5	28.0
	平均月額 (千円)	30	16	6	18	4	28
	平成 29 年 (千円)	30	23	25	44	8	31
	平成 27 年 (千円)	30	28	24	21	176	44

- (注) 1. 有効回答者は、第 5-5 表の回答者（6,822 人）のうち、「奨学金を受給している」と回答した数（2,280 人）
2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関（2,034 人）・日本語教育機関（246 人）別にそれぞれ 100 とした割合
3. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に、各項目の支出額の計を、各項目別に支出をしている人数で除した額（支出をしている者の平均月額）

第 6-2 表 収入・支出有効回答者の在籍大学別（国公私別） (Q11・29 参照)

区分	国立	公立	私立	大学計
人数 (人)	1,001	156	2,183	3,340
率 (%)	30.0	4.7	65.4	100.0

- (注) 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（6,822 人）のうち、第 5-2 表の「大学」に在籍する数（3,340 人）
2. 率は、回答者数（3,340 人）を 100 とした割合

在籍学校別奨学金受給者（第 6-3 表）を見ると、「国立大学」が 600 人（59.9%）で、平均が 78,000 円と最も高く、最も低い金額は、「日本語教育機関」で 246 人（13.1%）39,000 円となっている。

第 6-3 表 在籍学校別奨学金受給者（年度別比較表）

（Q11・29 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校 （専門課程）	準備教育課程	高等教育機関計
	国立	公立	私立	大学計				
人数（人）	600	115	992	1,707	41	262	24	2,034
率（％）	59.9	73.7	45.4	51.1	30.4	19.6	19.2	41.2
平成 29 年率（％）	63.4	70.3	53.4	57.3	34.5	26.2	30.8	47.7
平成 27 年率（％）	56.6	53.9	50.4	52.5	26.3	36.8	30.6	48.5
平均月額（千円）	78	68	59	66	42	42	45	62
平成 29 年（千円）	75	61	56	63	41	52	52	61
平成 27 年（千円）	69	59	53	59	45	48	45	57

区分	日本語 教育機関	奨学金 受給者計	奨学金 非受給者	計
人数（人）	246	2,280	4,542	6,822
率（％）	13.1	33.4	66.6	100.0
平成 29 年率（％）	14.4	39.3	60.7	100.0
平成 27 年率（％）	16.9	40.8	59.2	100.0
平均月額（千円）	39	60	—	—
平成 29 年（千円）	30	58	—	—
平成 27 年（千円）	32	54	—	—

（注） 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（6,822 人）

2. 率は、第 5-2 表の在籍学校別の人数を 100 とした割合

3. 平均月額は、在籍学校別の受給額の計を、在籍学校別に受給を得ている人数で除した額（受給している者の平均月額）

在籍段階別奨学金受給者（第 6-4 表）を見ると、最も受給率が高いのは、「大学院博士課程・博士後期課程」の 66.2%（312 人）で、平均月額は 92,000 円である。次いで、「大学院修士課程・博士前期課程」の 55.0%（449 人、71,000 円）、「学部正規課程」の 48.0%（837 人、55,000 円）と続いている。最も受給率が低いのは、「日本語教育機関」の 13.1%（246 人、39,000 円）である。

第 6-4 表 在籍段階別奨学金受給者

（Q12・29 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正 規課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期 大学	専修学校 （専門課 程）	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数（人）	312	449	8	14	837	43	41	262	24	246	44	2,280
率（％）	66.2	55.0	22.2	26.9	48.0	47.3	30.4	19.6	19.2	13.1	33.6	33.4
平成 29 年率（％）	74.3	62.7	47.2	44.4	54.3	35.1	34.5	26.4	30.8	14.2	33.1	39.3
平成 27 年率（％）	66.0	55.6	45.9	35.3	50.6	48.8	26.3	36.7	31.3	17.1	31.8	40.8
平均月額（千円）	92	71	67	59	55	64	42	42	45	39	51	60
平成 29 年（千円）	89	69	67	55	54	61	41	52	52	30	45	58
平成 27 年（千円）	79	63	53	59	51	55	45	48	45	32	52	54

（注） 1. 有効回答者は、第 5-5 表の回答者（6,822 人）のうち、「奨学金を受給している」と回答した数（2,280 人）

2. 率は、第 5-1 表の在籍段階別の人数を 100 とした割合

3. 平均月額は、在籍段階別の受給額の計を、在籍段階別に受給を得ている人数で除した額（受給している者の平均月額）

学習奨励費を受けて良かったこと（第 6-5 表）を見ると、「日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた」が 975 人（87.6%）で最も多い。次いで、「成績が良くなれば、学習奨励費を受けられると思い励みになった」が 825 人（74.1%）となっている。

第 6-5 表 学習奨励費を受けて良かったこと （複数回答設問） （Q30 参照）

区分	日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた	成績が良くなれば、学習奨励費を受けられると思い励みになった	奨学金があるので学校のクラブ活動等に参加できるようになった	宿舎を探すのにも奨学金があると有利だった	その他	不明
集計 pt	2,713	1,846	507	351	45	—
集計 pt 率 (%)	49.7	33.8	9.3	6.4	0.8	—
人数 (人)	975	825	341	234	30	—
率 (%)	87.6	74.1	30.6	21.0	2.7	—
平成 29 年率 (%)	85.9	77.4	29.2	27.9	5.9	5.8
平成 27 年率 (%)	87.7	75.4	33.1	21.7	7.0	4.4

- (注) 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（6,822 人）のうち、第 6-1 表で「学習奨励費」を受給していると回答した数（1,113 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（5,462）を 100 とした割合
3. 率は、回答者数の計（1,113 人）を 100 とした割合

次に、学習奨励費受給者の学習奨励費に対する要望（第 6-6 表）は、「給付期間を 1 年間から延ばしてほしい」が 703 人（63.2%）で最も多く、次いで、「給付金額の増額」が 593 人（53.3%）、「受給者数の増加」が 427 人（38.4%）と続いている。

第 6-6 表 学習奨励費に対する要望 （複数回答設問） （Q31 参照）

区分	給付金額の増額	受給者数の増加	海外で奨学金予約ができるように予約者数を増やして欲しい	給付期間を 1 年間から延ばしてほしい	母国において、学習奨励費の情報が少なかったのもっと情報提供して欲しい	学校内での選考についてもっと情報提供してほしい	その他	不明
集計 pt	1,454	932	408	1,636	683	526	32	—
集計 pt 率 (%)	25.6	16.4	7.2	28.8	12.0	9.3	0.6	—
人数 (人)	593	427	209	703	341	301	14	—
率 (%)	53.3	38.4	18.8	63.2	30.6	27.0	1.3	—
平成 29 年率 (%)	59.2	44.0	15.3	59.4	30.4	30.9	2.0	6.1
平成 27 年率 (%)	60.1	45.1	12.5	55.9	25.7	31.0	1.7	7.9

- (注) 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（6,822 人）のうち、第 6-1 表で「学習奨励費」を受給していると回答した数（1,113 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（5,671）を 100 とした割合
3. 率は、回答者数の計（1,113 人）を 100 とした割合

7. 支出

在籍段階別の平均月支出額（第 7-1 表）を見ると、「準備教育課程」が 159,000 円で最も高い。次いで、「専門職大学院課程」と「日本語教育機関」が 153,000 円、「専修学校（専門課程）」が 150,000 円、「学部正規課程」が 148,000 円、「学部レベルの研究生・聴講生」が 145,000 円、「大学院博士課程・博士後期課程」が 143,000 円、「大学院修士課程・博士前期課程」が 142,000 円、「短期大学」と「その他」が 138,000 円、「大学院レベルの研究生」が 136,000 円と続いている。なお、支出の平均月額 は 148,000 円である。

第 7-1 表 在籍段階別の平均月支出額（全体と在籍段階別）（Q12・29 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 （専門課 程）	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	全体	（参考） 中央値
平均月額（千円）	143	142	153	136	148	145	138	150	159	153	138	148	140
平成 29 年（千円）	134	132	165	127	148	128	143	153	173	148	146	146	
平成 27 年（千円）	131	128	144	122	141	109	126	157	132	143	131	141	

- （注）1. 有効回答者は、第 1-3 表の回答者（7,025 人）のうち、Q29 の収入・支出において、有効な回答とみなされた数（6,822 人）
2. 第 1-3 表の在籍学校「大学」に在籍する留学生別科、専攻科等は「その他」に含む
3. 中央値とは、低い金額から高い金額へと順に並べ、ちょうど中央に当たる値を言う
ただし、データの件数が偶数の場合は、中央の 2 つの値の平均値を中央値とする

第 7-2 表 収入・支出の有効回答者の在籍学校別内訳（Q29 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校 （専門課程）	準備教育 課程	高等教育 機関計	日本語 教育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
人数（人）	1,001	156	2,183	3,340	135	1,340	125	4,940	1,882	6,822

（注）有効回答者は、第 7-1 表の回答者（6,822 人）

大学国公私別の平均月支出額（第 7-3 表）を見ると、私立大学が 157,000 円で最も高く、公立大学が 127,000 円、国立大学が 124,000 円と続いている。

第 7-3 表 大学国公私別の平均月支出額（Q11・29 参照）

区分	大学			大学全体
	国立	公立	私立	
平均月額（千円）	124	127	157	145
平成 29 年（千円）	121	116	154	142
平成 27 年（千円）	113	110	148	135

- （注）1. 有効回答者は、第 7-1 表の回答者（6,822 人）のうち、第 7-2 表の「大学」に在籍する数（3,340 人）
2. 平均月額は、大学国公私別の支出額の計を、大学国公私別の人数で除した額

居住地域別の平均月支出額（第 7-4 表）を見ると、関東地方が平均 162,000 円と全国で最も高く、四国地方が 119,000 円と最も低い。なお、東京のみでは、166,000 円となっている。

第 7-4 表 居住地域別の平均月支出額（単位：千円）（Q29・37 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
高等教育機関	121	130	165	132	147	129	119	126	172	147
日本語教育機関	111	115	159	137	153	134	120	125	160	153
全体	120	127	162	133	149	130	119	126	166	148

- （注）1. 有効回答者は、第 7-1 表の回答者（6,822 人）
2. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に、各居住地域の 1 か月の支出額の計を、各居住地域別の人数で除した額

第 7-5 表 居住地地域別の項目別支出内訳 (単位: 千円)

(Q29・37 参照)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
学習研究費	27	40	47	42	46	42	33	41	46	45
通学費	3	2	6	4	4	3	2	3	6	5
食費	29	24	29	26	28	25	26	24	30	28
住居費	28	27	41	28	35	25	25	24	45	35
電気、ガス、水道料金	10	8	7	7	6	8	8	7	7	7
保険、医療費	3	4	3	4	3	4	3	4	3	3
趣味、娯楽費	5	5	7	5	6	4	4	5	8	6
その他の日常的な経費	8	8	10	9	9	8	9	8	10	9
残額	6	10	11	9	11	10	9	9	11	10

(注) 1. 有効回答者は、第 7-1 表の回答者 (6,822 人)

2. 支出内訳は、項目別に、各居住地地域の支出額の計を、各居住地地域別の回答者数 (支出をしている者及びしていない者) の計で除した額

項目別平均月支出額の内訳 (第 7-6 表) を見ると、「学習研究費」が 55,000 円と最も高く、以下「住居費」が 38,000 円、「食費」が 29,000 円、「その他の日常的な経費」が 12,000 円、「趣味・娯楽費」が 10,000 円、「通学費」と「電気、ガス、水道料金」が 8,000 円と続いている。

第 7-6 表 項目別平均月支出額の内訳

(Q29 参照)

区分	学習研究費	通学費	食費	住居費	電気、ガス 水道料金	保険 医療費	趣味 娯楽費	その他の日常 的な経費	残額
人数 (人)	5,584	3,801	6,550	6,354	5,722	5,297	4,226	5,140	3,441
率 (%)	81.9	55.7	96.0	93.1	83.9	77.6	61.9	75.3	50.4
平均月額 (千円)	55	8	29	38	8	4	10	12	21
平成 29 年率 (%)	86.7	58.3	97.5	95.3	85.7	79.2	62.9	55.7	56.5
平成 29 年 (千円)	56	8	28	36	8	4	10	12	17
平成 27 年率 (%)	86.3	55.8	97.0	95.0	84.9	75.3	59.8	58.2	53.2
平成 27 年 (千円)	46	4	27	33	7	2	6	7	8

(注) 1. 有効回答者は、第 7-1 表の回答者 (6,822 人)

2. 率は、回答者数の計 (6,822 人) を 100 とした割合

3. 平均月額は、各項目の支出額の計を、各項目別に支出をしている人数で除した額 (支出をしている者の平均月額)

学習研究費の内訳 (第 7-7 表) を見ると、「授業料」の平均月額が 54,000 円、「教科書、実習材料、文具等の経費」が 8,000 円、「サークル活動の会費、合宿費」が 6,000 円となっている。

第 7-7 表 学習研究費の内訳

(Q11・29 参照)

区分	授業料*	(授業料内訳) 学校種別							教科書、実習 材料、文具等 の経費*	サークル活動 の会費、合宿 費*
		国立	公立	私立	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関		
人数 (人)	5,013	603	118	1,647	113	1,098	80	1,354	3,370	741
率 (%)	73.5	60.2	75.6	75.4	83.7	81.9	64.0	71.9	49.4	10.9
平均月額 (千円)	54	34	36	63	50	55	63	53	8	6

(注) 1. 有効回答者は、第 7-1 表の回答者 (6,822 人)

2. * 印の率は、回答者数の計 (6,822 人) を 100 とした割合

3. 学校種別の率は、第 7-2 表の在籍学校別の人数を 100 とした割合

4. 平均月額は、各項目の支出額の計を、各項目別に支出をしている人数で除した額 (支出をしている者の平均月額)

宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額（第7-8表）については、収入・支出の有効回答者6,822人の内、5,277人（77.4%）が「民間アパート・マンション等」に居住している。宿舎については、第10節で詳しくふれる。

※大学院レベルは、博士課程・博士後期課程、修士課程・博士前期課程、専門職大学院課程、大学院レベルの研究生を示し、学部レベルは、学部正規課程、学部レベルの研究生・聴講生を示す。

第7-8表 宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額 (Q11・12・29・38参照)

区分		国立大学			公立大学			私立大学		
		大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体
民間アパート・マンション等	人数（人）	428	215	643	45	44	89	455	1,217	1,672
	平均月額（千円）	134	124	131	145	135	140	164	157	159
大学・学校の学生寮 （留学生用・一般学生用）	人数（人）	208	69	277	22	22	44	80	178	258
	平均月額（千円）	109	94	105	111	99	105	146	146	146
その他	人数（人）	70	6	76	15	8	23	52	75	127
	平均月額（千円）	137	126	136	127	103	119	175	154	163
計	人数（人）	706	290	996	82	74	156	587	1,470	2,057
	平均月額（千円）	127	117	124	132	121	127	163	156	158

区分		短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	日本語教育機関	その他	計
民間アパート・マンション等	人数（人）	93	1,126	91	1,459	104	5,277
	平均月額（千円）	140	153	172	157	139	153
大学・学校の学生寮 （留学生用・一般学生用）	人数（人）	33	130	22	280	16	1,060
	平均月額（千円）	128	129	117	141	128	129
その他	人数（人）	9	84	12	143	11	485
	平均月額（千円）	153	146	141	139	141	145
計	人数（人）	135	1,340	125	1,882	131	6,822
	平均月額（千円）	138	150	159	153	138	148

（注）1. 有効回答者は、第7-1表の回答者（6,822人）

2. 平均月額は、各項目の支出額の計を、各項目別の人数で除した額

8. アルバイト

アルバイト従事率（第 8-1 表）は全体の約 7 割（70.4%）で、何らかのアルバイトをしている。

第 8-1 表 アルバイト従事率

（Q32 参照）

区分	アルバイトをしている	アルバイトをしていない	不明	計
人数（人）	4,946	2,079	—	7,025
率（%）	70.4	29.6	—	100.0
平成 29 年率（%）	75.8	23.4	0.8	100.0
平成 27 年率（%）	74.8	24.4	0.8	100.0

（注）率は、回答者数の計（7,025 人）を 100 とした割合

在籍学校別アルバイト従事率（第 8-2 表）を見ると、準備教育課程（46.9%）、国立大学（55.3%）、公立大学（56.7%）の従事率が 7 割以下であり、私立大学、短期大学、専修学校（専門課程）、日本語教育機関と比べて低い。

第 8-2 表 在籍学校別アルバイト従事率

（Q11・32 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校 （専門課程）	準備教育 課程	高等教育 機関計	日本語 教育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
人数（人）	559	89	1,614	2,262	125	1,182	60	3,629	1,317	4,946
率（%）	55.3	56.7	72.0	66.4	86.8	84.9	46.9	71.5	67.5	70.4
平成 29 年率（%）	60.0	64.1	76.0	70.9	87.5	87.3	52.4	75.5	76.4	75.8
平成 27 年率（%）	62.1	73.9	75.1	71.3	81.5	82.9	57.7	74.0	77.3	74.8

（注）1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答数（7,025 人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（4,946 人）

2. 率は、第 1-3 表の在籍学校別の人数を 100 とした割合

在籍段階別アルバイト従事率（第 8-3 表）を見ると、「短期大学」（86.8%）、「専修学校（専門課程）」（84.9%）、「学部レベルの研究生・聴講生」（83.5%）、「その他」（82.3%）、「専門職大学院課程」（80.6%）は約 8 割以上の者がアルバイトに従事している。

第 8-3 表 在籍段階別アルバイト従事率

（Q12・32 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 （専門課 程）	準備教 育課程	日本語 教育機関	その他	計
人数（人）	251	514	29	42	1,229	81	125	1,182	60	1,317	116	4,946
率（%）	53.1	61.9	80.6	77.8	69.1	83.5	86.8	84.9	46.9	67.5	82.3	70.4
平成 29 年率（%）	58.0	66.4	61.5	78.0	74.4	82.4	87.5	87.1	52.4	76.4	80.5	75.8
平成 27 年率（%）	58.9	66.6	71.7	66.0	75.2	69.2	81.5	83.0	57.1	77.1	79.0	74.8

（注）1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答数（7,025 人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（4,946 人）

2. 率は、第 1-4 表の在籍段階別の人数を 100 とした割合

アルバイトの職種（第8-4表）は、軽労働の「飲食業」が1,989人（40.2%）と最も多くなっている。以下、「営業・販売（コンビニ等）」が1,631人（33.0%）、「翻訳・通訳」が310人（6.3%）、「ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント」が279人（5.6%）と続いている。

第8-4表 アルバイトの職種（複数回答設問）

（Q33参照）

区分	講師				事務		軽労働					
	家庭教師	語学教師	塾講師	ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント	一般事務	経理事務	清掃	警備	ビル管理	ガソリンスタンド	配達	発送作業
人数（人）	86	250	74	279	225	29	172	10	8	7	105	47
率（%）	1.7	5.1	1.5	5.6	4.5	0.6	3.5	0.2	0.2	0.1	2.1	1.0
平成29年率（%）	4.4	6.2	3.1	7.3	4.7	0.6	5.5	0.1	0.2	0.1	2.2	1.5
平成27年率（%）	4.6	6.5	3.3	6.9	4.4	0.5	5.1	0.1	0.2	0.1	1.7	1.1

区分	軽労働				重労働				特殊技能			その他
	飲食業	営業・販売（コンビニ等）	ホテル受付・ホール係	出版物等の印刷作業	土木・建設作業	引越業	工場での組立作業	倉庫整理	翻訳通訳	プログラマー・オペレーター	グラフィック・デザイナー	
人数（人）	1,989	1,631	238	8	14	18	149	55	310	36	20	220
率（%）	40.2	33.0	4.8	0.2	0.3	0.4	3.0	1.1	6.3	0.7	0.4	4.4
平成29年率（%）	41.9	28.9	5.3	0.1	0.3	0.5	3.5	1.5	6.7	0.5	0.5	5.8
平成27年率（%）	45.7	26.3	5.0	0.2	0.3	0.6	4.3	1.5	6.8	0.4	0.6	6.4

区分	不明
人数（人）	—
率（%）	—
平成29年率（%）	0.9
平成27年率（%）	0.9

- （注） 1. 有効回答者は、第8-1表の回答数（7,025人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（4,946人）
2. 率は、回答者数の計（4,946人）を100とした割合

1週間のアルバイトの時間数（第8-5表）は、「週20時間以上25時間未満」が1,940人（39.2%）と最も多く、次いで、「週15時間以上20時間未満」が948人（19.2%）となっている。在籍段階別では、「大学院博士課程・博士後期課程」と「大学院修士課程・博士前期課程」で「週15時間未満」が半数以上となっているが、「専門職大学院課程」、「学部正規課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」、「準備教育課程」、「日本語教育機関」、「その他」では逆に「週15時間以上」が6割以上である。

第8-5表 1週間のアルバイトの時間数（全体と在籍段階別）

（Q12・34参照）

区分		5時間未満	5時間～10時間未満	10時間～15時間未満	15時間～20時間未満	20時間～25時間未満	25時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	44	63	54	38	41	11	—	251
	率（%）	17.5	25.1	21.5	15.1	16.3	4.4	—	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	46	96	117	116	117	22	—	514
	率（%）	8.9	18.7	22.8	22.6	22.8	4.3	—	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	3	1	0	4	16	5	—	29
	率（%）	10.3	3.4	0.0	13.8	55.2	17.2	—	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	3	7	9	8	15	0	—	42
	率（%）	7.1	16.7	21.4	19.0	35.7	0.0	—	100.0
学部正規課程	人数（人）	65	161	243	290	380	90	—	1,229
	率（%）	5.3	13.1	19.8	23.6	30.9	7.3	—	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	6	9	6	16	35	9	—	81
	率（%）	7.4	11.1	7.4	19.8	43.2	11.1	—	100.0
短期大学	人数（人）	2	5	9	31	55	23	—	125
	率（%）	1.6	4.0	7.2	24.8	44.0	18.4	—	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	47	49	76	172	603	235	—	1,182
	率（%）	4.0	4.1	6.4	14.6	51.0	19.9	—	100.0
準備教育課程	人数（人）	2	5	10	17	17	9	—	60
	率（%）	3.3	8.3	16.7	28.3	28.3	15.0	—	100.0
日本語教育機関	人数（人）	38	74	135	234	611	225	—	1,317
	率（%）	2.9	5.6	10.3	17.8	46.4	17.1	—	100.0
その他	人数（人）	7	9	10	22	50	18	—	116
	率（%）	6.0	7.8	8.6	19.0	43.1	15.5	—	100.0
計	人数（人）	263	479	669	948	1,940	647	—	4,946
	率（%）	5.3	9.7	13.5	19.2	39.2	13.1	—	100.0
	平成29年率（%）	4.5	8.9	12.9	17.7	35.5	16.6	3.8	100.0
	平成27年率（%）	5.0	8.8	13.8	19.9	33.5	15.4	3.7	100.0

（注）1. 有効回答者は、第8-1表の回答数（7,025人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（4,946人）

2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を100とした割合

第 8-6 表 奨学金受給者の有無別アルバイト従事率 (Q29・32 参照)

区分		アルバイトを している	アルバイトを していない	計
奨学金を受給している	人数 (人)	1,680	803	2,483
	率 (%)	67.7	32.3	100.0
奨学金を受給していない	人数 (人)	3,266	1,276	4,542
	率 (%)	71.9	28.1	100.0
計	人数 (人)	4,946	2,079	7,025
	率 (%)	70.4	29.6	100.0

- (注) 1. 率は、奨学金を受給している (2,483 人)・奨学金を受給していない (4,542 人) 別の人数を 100 とした割合
2. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者 (7,025 人) から抽出した人数のため、第 6-3 表の奨学金受給者 (2,280 人) と奨学金非受給者数 (4,542 人) とは異なる

奨学金受給の有無別に分けると、奨学金受給者のアルバイト時間数 (第 8-7 表) は、全体では「週 20 時間以上 25 時間未満」が、541 人 (32.2%) と最も多く、次いで、「週 15 時間以上 20 時間未満」が 338 人 (20.1%) となっている。また、在籍段階別では、「専門職大学院課程」以上は「週 15 時間未満」が 5 割以上となっているが、「学部レベルの研究生・聴講生」、「短期大学」、「専修学校 (専門課程)」、「準備教育課程」、「日本語教育機関」、「その他」は「週 15 時間以上」が約 7 割以上となっている。

第 8-7 表 奨学金受給者のアルバイト時間数 (全体と在籍段階別) (Q12・29・34 参照)

区分		5 時間 未満	5 時間～ 10 時間未満	10 時間～ 15 時間未満	15 時間～ 20 時間未満	20 時間～ 25 時間未満	25 時間 以上	不明	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数 (人)	32	44	30	18	23	5	—	152
	率 (%)	21.1	28.9	19.7	11.8	15.1	3.3	—	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数 (人)	27	57	63	55	58	13	—	273
	率 (%)	9.9	20.9	23.1	20.1	21.2	4.8	—	100.0
専門職大学院 課程	人数 (人)	3	1	0	1	1	0	—	6
	率 (%)	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	—	100.0
大学院レベルの 研究生	人数 (人)	1	2	1	3	3	0	—	10
	率 (%)	10.0	20.0	10.0	30.0	30.0	0.0	—	100.0
学部正規課程	人数 (人)	43	91	131	134	162	28	—	589
	率 (%)	7.3	15.4	22.2	22.8	27.5	4.8	—	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数 (人)	2	6	3	10	19	5	—	45
	率 (%)	4.4	13.3	6.7	22.2	42.2	11.1	—	100.0
短期大学	人数 (人)	1	3	6	11	18	5	—	44
	率 (%)	2.3	6.8	13.6	25.0	40.9	11.4	—	100.0
専修学校 (専門課程)	人数 (人)	13	13	21	53	126	36	—	262
	率 (%)	5.0	5.0	8.0	20.2	48.1	13.7	—	100.0
準備教育課程	人数 (人)	0	2	4	3	10	3	—	22
	率 (%)	0.0	9.1	18.2	13.6	45.5	13.6	—	100.0
日本語教育機関	人数 (人)	10	15	24	36	105	41	—	231
	率 (%)	4.3	6.5	10.4	15.6	45.5	17.7	—	100.0
その他	人数 (人)	5	4	4	14	16	3	—	46
	率 (%)	10.9	8.7	8.7	30.4	34.8	6.5	—	100.0
計	人数 (人)	137	238	287	338	541	139	—	1,680
	率 (%)	8.2	14.2	17.1	20.1	32.2	8.3	—	100.0
	平成 29 年率 (%)	6.0	14.2	17.4	21.0	28.1	10.2	3.1	100.0
	平成 27 年率 (%)	6.5	12.3	16.0	23.8	28.4	10.0	3.0	100.0

- (注) 1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答者数 (7,025 人) のうち、「アルバイトをしている」と回答し、かつ「奨学金を受給している」と回答した数 (1,680 人)
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者 (7,025 人) から抽出した人数のため、第 6-3 表の奨学金受給者 (2,280 人) と奨学金非受給者数 (4,542 人) とは異なる

奨学金非受給者のアルバイト時間数（第8-8表）は、全体では「週20時間以上25時間未満」が1,399人（42.8%）と最も多く、次いで「週15時間以上20時間未満」が610人（18.7%）となっている。在籍段階別では、「専門職大学院課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」、「準備教育課程」、「日本語教育機関」、「その他」では「週15時間以上」アルバイトをしている割合が7割以上となっている。

また、第8-7表と第8-8表から奨学金受給者と非受給者のアルバイト時間数を比較すると、「週15時間以上」アルバイトをする者は、奨学金受給者の60.6%に対して、非受給者は77.1%となり、非受給者の方がアルバイトに費やす時間が多いことがわかる。

第8-8表 奨学金非受給者のアルバイト時間数（全体と在籍段階別）（Q12・29・34参照）

区分		5時間未満	5時間～10時間未満	10時間～15時間未満	15時間～20時間未満	20時間～25時間未満	25時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	12	19	24	20	18	6	—	99
	率（%）	12.1	19.2	24.2	20.2	18.2	6.1	—	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	19	39	54	61	59	9	—	241
	率（%）	7.9	16.2	22.4	25.3	24.5	3.7	—	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	0	0	0	3	15	5	—	23
	率（%）	0.0	0.0	0.0	13.0	65.2	21.7	—	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	2	5	8	5	12	0	—	32
	率（%）	6.3	15.6	25.0	15.6	37.5	0.0	—	100.0
学部正規課程	人数（人）	22	70	112	156	218	62	—	640
	率（%）	3.4	10.9	17.5	24.4	34.1	9.7	—	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	4	3	3	6	16	4	—	36
	率（%）	11.1	8.3	8.3	16.7	44.4	11.1	—	100.0
短期大学	人数（人）	1	2	3	20	37	18	—	81
	率（%）	1.2	2.5	3.7	24.7	45.7	22.2	—	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	34	36	55	119	477	199	—	920
	率（%）	3.7	3.9	6.0	12.9	51.8	21.6	—	100.0
準備教育課程	人数（人）	2	3	6	14	7	6	—	38
	率（%）	5.3	7.9	15.8	36.8	18.4	15.8	—	100.0
日本語教育機関	人数（人）	28	59	111	198	506	184	—	1,086
	率（%）	2.6	5.4	10.2	18.2	46.6	16.9	—	100.0
その他	人数（人）	2	5	6	8	34	15	—	70
	率（%）	2.9	7.1	8.6	11.4	48.6	21.4	—	100.0
計	人数（人）	126	241	382	610	1,399	508	—	3,266
	率（%）	3.9	7.4	11.7	18.7	42.8	15.6	—	100.0
	平成29年率（%）	3.7	5.9	10.5	15.9	39.6	20.2	4.2	100.0
	平成27年率（%）	4.1	6.6	12.5	17.6	36.5	18.6	4.0	100.0

- （注） 1. 有効回答者は、第8-1表の回答者数（7,025人）のうち、「アルバイトをしている」と回答し、かつ「奨学金を受給していない」と回答した数（3,266人）
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を100とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第1-3表の回答者（7,025人）から抽出した人数のため、第6-3表の奨学金受給者（2,280人）と奨学金非受給者数（4,542人）とは異なる

アルバイトに従事する理由（第8-9表）は、「日本での生活を維持するために必要だから」が3,356人（67.9%）で6割以上となっている。

第 8-9 表 アルバイトに従事する理由

(Q35 参照)

区分	日本での生活を維持するために必要だから	日本人との交流等良い機会になるから	教養・娯楽等にあてる費用を得るため	その他	不明	計
人数 (人)	3,356	1,203	324	63	—	4,946
率 (%)	67.9	24.3	6.6	1.3	—	100.0
平成 29 年率 (%)	70.3	20.9	5.8	2.0	1.1	100.0
平成 27 年率 (%)	71.1	21.5	4.7	1.7	1.0	100.0

(注) 1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答者 (7,025 人) のうち、「アルバイトをしている」と回答した数 (4,946 人)

2. 率は、回答者数の計 (4,946 人) を 100 とした割合

アルバイトの時給額 (第 8-10 表) は、全体では「1,000 円以上 1,200 円未満」が 2,235 人 (45.2%) が最も多く、次いで、「800 円以上 1,000 円未満」が 1,808 人 (36.6%) となっており、「800 円以上 1,200 円未満」の時給が 8 割以上となっている。

在籍段階別に見ると、1,400 円以上の時給に対する比率が最も高いのは、「大学院博士課程・博士後期課程」(23.9%) であり、次いで、「専門職大学院課程」(10.3%)、「大学院修士課程・博士前期課程」(8.4%) となっており、上位の課程になると時給も高くなっている。

第 8-10 表 アルバイトの時給額 (全体と在籍段階別)

(Q12・36 参照)

区分		800 円 未満	800 円～ 1,000 円 未満	1,000 円～ 1,200 円 未満	1,200 円～ 1,400 円 未満	1,400 円～ 1,600 円 未満	1,600 円～ 1,800 円 未満	1,800 円～ 2,000 円 未満	2,000 円 以上	不明	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数（人）	9	72	60	50	26	5	8	21	—	251
	率（％）	3.6	28.7	23.9	19.9	10.4	2.0	3.2	8.4	—	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数（人）	9	202	194	66	12	4	7	20	—	514
	率（％）	1.8	39.3	37.7	12.8	2.3	0.8	1.4	3.9	—	100.0
専門職大学院 課程	人数（人）	2	8	13	3	2	0	0	1	—	29
	率（％）	6.9	27.6	44.8	10.3	6.9	0.0	0.0	3.4	—	100.0
大学院レベルの 研究生	人数（人）	2	20	17	2	0	1	0	0	—	42
	率（％）	4.8	47.6	40.5	4.8	0.0	2.4	0.0	0.0	—	100.0
学部正規課程	人数（人）	30	521	508	116	20	7	9	18	—	1,229
	率（％）	2.4	42.4	41.3	9.4	1.6	0.6	0.7	1.5	—	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数（人）	6	36	30	8	0	0	1	0	—	81
	率（％）	7.4	44.4	37.0	9.9	0.0	0.0	1.2	0.0	—	100.0
短期大学	人数（人）	1	74	36	9	3	1	0	1	—	125
	率（％）	0.8	59.2	28.8	7.2	2.4	0.8	0.0	0.8	—	100.0
専修学校 （専門課程）	人数（人）	30	434	563	120	19	3	6	7	—	1,182
	率（％）	2.5	36.7	47.6	10.2	1.6	0.3	0.5	0.6	—	100.0
準備教育課程	人数（人）	0	14	32	9	2	0	1	2	—	60
	率（％）	0.0	23.3	53.3	15.0	3.3	0.0	1.7	3.3	—	100.0
日本語教育機関	人数（人）	9	369	738	159	21	2	8	11	—	1,317
	率（％）	0.7	28.0	56.0	12.1	1.6	0.2	0.6	0.8	—	100.0
その他	人数（人）	3	58	44	7	1	0	3	0	—	116
	率（％）	2.6	50.0	37.9	6.0	0.9	0.0	2.6	0.0	—	100.0
計	人数（人）	101	1,808	2,235	549	106	23	43	81	—	4,946
	率（％）	2.0	36.6	45.2	11.1	2.1	0.5	0.9	1.6	—	100.0
	平成 29 年率（％）	5.4	42.4	39.4	6.9	2.1	0.5	0.5	1.7	1.0	100.0
	平成 27 年率（％）	9.3	50.1	30.7	4.4	1.4	0.4	0.9	1.7	1.0	100.0

(注) 1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答者 (7,025 人) のうち、「アルバイトをしている」と回答した数 (4,946 人)

2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

9. 授業時間を除く学習・研究時間

在籍段階別学習・研究時間（第9-1表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」では、「週35時間以上」と回答した者が半数以上（273人、57.7%）となっている。

「週28時間未満」を見ると、「専門職大学院課程」（31人、86.1%）、「学部正規課程」（1,546人、87.0%）、「学部レベルの研究生・聴講生」（84人、86.6%）、「短期大学」（121人、84.0%）、「専修学校（専門課程）」（1,216人、87.3%）、「準備教育課程」（106人、82.8%）、「日本語教育機関」（1,682人、86.2%）、「その他」（123人、87.2%）であり、いずれも8割以上となっている。特に「週7時間以上21時間未満」と回答した者が多い。

第9-1表 在籍段階別学習・研究時間

（Q12・17参照）

区分		7時間未満	7～14時間未満	14～21時間未満	21～28時間未満	28～35時間未満	35～42時間未満	42～49時間未満	49時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	8	37	37	44	74	81	82	110	—	473
	率（%）	1.7	7.8	7.8	9.3	15.6	17.1	17.3	23.3	—	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	47	143	168	163	133	84	47	45	—	830
	率（%）	5.7	17.2	20.2	19.6	16.0	10.1	5.7	5.4	—	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	1	12	11	7	5	0	0	0	—	36
	率（%）	2.8	33.3	30.6	19.4	13.9	0.0	0.0	0.0	—	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	10	11	11	6	7	5	3	1	—	54
	率（%）	18.5	20.4	20.4	11.1	13.0	9.3	5.6	1.9	—	100.0
学部正規課程	人数（人）	299	541	438	268	118	62	19	33	—	1,778
	率（%）	16.8	30.4	24.6	15.1	6.6	3.5	1.1	1.9	—	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	22	25	25	12	7	4	0	2	—	97
	率（%）	22.7	25.8	25.8	12.4	7.2	4.1	0.0	2.1	—	100.0
短期大学	人数（人）	21	41	33	26	10	10	1	2	—	144
	率（%）	14.6	28.5	22.9	18.1	6.9	6.9	0.7	1.4	—	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	281	357	325	253	109	43	10	15	—	1,393
	率（%）	20.2	25.6	23.3	18.2	7.8	3.1	0.7	1.1	—	100.0
準備教育課程	人数（人）	18	21	44	23	11	0	6	5	—	128
	率（%）	14.1	16.4	34.4	18.0	8.6	0.0	4.7	3.9	—	100.0
日本語教育機関	人数（人）	297	484	558	343	148	60	36	25	—	1,951
	率（%）	15.2	24.8	28.6	17.6	7.6	3.1	1.8	1.3	—	100.0
その他	人数（人）	28	40	34	21	9	2	2	5	—	141
	率（%）	19.9	28.4	24.1	14.9	6.4	1.4	1.4	3.5	—	100.0
計	人数（人）	1,032	1,712	1,684	1,166	631	351	206	243	—	7,025
	率（%）	14.7	24.4	24.0	16.6	9.0	5.0	2.9	3.5	—	100.0
	平成29年率（%）	15.7	25.1	24.2	14.3	8.8	5.1	2.7	3.6	0.6	100.0
	平成27年率（%）	17.8	24.1	23.5	14.2	8.1	4.9	2.7	4.2	0.5	100.0

（注）率は、在籍段階別の回答者数の計を100とした割合

奨学金受給者及び非受給者の在籍段階別学習・研究時間（第 9-2 表と第 9-3 表）を比較すると、全体として奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が比較的多い。

第 9-2 表 奨学金受給者の在籍段階別学習・研究時間

（Q12・17・29 参照）

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	不明	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数（人）	7	25	20	31	49	51	47	84	—	314
	率（％）	2.2	8.0	6.4	9.9	15.6	16.2	15.0	26.8	—	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数（人）	21	70	97	100	71	51	27	26	—	463
	率（％）	4.5	15.1	21.0	21.6	15.3	11.0	5.8	5.6	—	100.0
専門職大学院 課程	人数（人）	0	1	1	4	2	0	0	0	—	8
	率（％）	0.0	12.5	12.5	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	—	100.0
大学院レベルの 研究生	人数（人）	3	4	4	2	2	0	1	0	—	16
	率（％）	18.8	25.0	25.0	12.5	12.5	0.0	6.3	0.0	—	100.0
学部正規課程	人数（人）	120	256	222	143	68	33	9	21	—	872
	率（％）	13.8	29.4	25.5	16.4	7.8	3.8	1.0	2.4	—	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数（人）	7	13	14	7	5	2	0	1	—	49
	率（％）	14.3	26.5	28.6	14.3	10.2	4.1	0.0	2.0	—	100.0
短期大学	人数（人）	7	18	10	7	4	4	0	0	—	50
	率（％）	14.0	36.0	20.0	14.0	8.0	8.0	0.0	0.0	—	100.0
専修学校 （専門課程）	人数（人）	43	84	79	53	35	13	4	4	—	315
	率（％）	13.7	26.7	25.1	16.8	11.1	4.1	1.3	1.3	—	100.0
準備教育課程	人数（人）	4	5	7	8	1	0	0	2	—	27
	率（％）	14.8	18.5	25.9	29.6	3.7	0.0	0.0	7.4	—	100.0
日本語教育機関	人数（人）	37	60	89	74	32	13	9	1	—	315
	率（％）	11.7	19.0	28.3	23.5	10.2	4.1	2.9	0.3	—	100.0
その他	人数（人）	8	19	11	9	3	1	1	2	—	54
	率（％）	14.8	35.2	20.4	16.7	5.6	1.9	1.9	3.7	—	100.0
計	人数（人）	257	555	554	438	272	168	98	141	—	2,483
	率（％）	10.4	22.4	22.3	17.6	11.0	6.8	3.9	5.7	—	100.0
	平成 29 年率（％）	10.9	22.8	21.5	15.2	10.8	8.0	4.7	5.8	0.4	100.0
	平成 27 年率（％）	12.3	22.2	23.0	14.9	10.3	6.8	3.4	6.8	0.3	100.0

- （注） 1. 有効回答者は、第 8-6 表の回答者（7,025 人）のうち、「奨学金を受給している」と回答した数（2,483 人）
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者（7,025 人）から抽出した人数のため、第 6-3 表の奨学金受給者（2,280 人）と奨学金非受給者数（4,542 人）とは異なる

第 9-3 表 奨学金非受給者の在籍段階別学習・研究時間

(Q12・17・29 参照)

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	不明	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数 (人)	1	12	17	13	25	30	35	26	—	159
	率 (%)	0.6	7.5	10.7	8.2	15.7	18.9	22.0	16.4	—	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数 (人)	26	73	71	63	62	33	20	19	—	367
	率 (%)	7.1	19.9	19.3	17.2	16.9	9.0	5.4	5.2	—	100.0
専門職大学院 課程	人数 (人)	1	11	10	3	3	0	0	0	—	28
	率 (%)	3.6	39.3	35.7	10.7	10.7	0.0	0.0	0.0	—	100.0
大学院レベルの 研究生	人数 (人)	7	7	7	4	5	5	2	1	—	38
	率 (%)	18.4	18.4	18.4	10.5	13.2	13.2	5.3	2.6	—	100.0
学部正規課程	人数 (人)	179	285	216	125	50	29	10	12	—	906
	率 (%)	19.8	31.5	23.8	13.8	5.5	3.2	1.1	1.3	—	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数 (人)	15	12	11	5	2	2	0	1	—	48
	率 (%)	31.3	25.0	22.9	10.4	4.2	4.2	0.0	2.1	—	100.0
短期大学	人数 (人)	14	23	23	19	6	6	1	2	—	94
	率 (%)	14.9	24.5	24.5	20.2	6.4	6.4	1.1	2.1	—	100.0
専修学校 (専門課程)	人数 (人)	238	273	246	200	74	30	6	11	—	1,078
	率 (%)	22.1	25.3	22.8	18.6	6.9	2.8	0.6	1.0	—	100.0
準備教育課程	人数 (人)	14	16	37	15	10	0	6	3	—	101
	率 (%)	13.9	15.8	36.6	14.9	9.9	0.0	5.9	3.0	—	100.0
日本語教育機関	人数 (人)	260	424	469	269	116	47	27	24	—	1,636
	率 (%)	15.9	25.9	28.7	16.4	7.1	2.9	1.7	1.5	—	100.0
その他	人数 (人)	20	21	23	12	6	1	1	3	—	87
	率 (%)	23.0	24.1	26.4	13.8	6.9	1.1	1.1	3.4	—	100.0
計	人数 (人)	775	1,157	1,130	728	359	183	108	102	—	4,542
	率 (%)	17.1	25.5	24.9	16.0	7.9	4.0	2.4	2.2	—	100.0
	平成 29 年率 (%)	17.5	26.9	26.0	14.3	7.5	3.3	1.7	2.3	0.5	100.0
	平成 27 年率 (%)	20.1	26.4	22.8	13.7	6.9	4.2	2.4	3.1	0.5	100.0

- (注) 1. 有効回答者は、第 8-6 表の回答者 (7,025 人) のうち、「奨学金を受給していない」と回答した数 (4,542 人)
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者 (7,025 人) から抽出した人数のため、第 6-3 表の奨学金受給者 (2,280 人) と奨学金非受給者数 (4,542 人) とは異なる

専攻別の学習・研究時間（第 9-4 表）を見ると、「人文科学」、「社会科学」、「教育」、「日本語」、「その他」は、いずれも「週 21 時間未満」（1 日当たり平均 3 時間未満）が 6 割を超え、「工学」は、約 5 割となっている。

一方、「医・歯学」、「薬学」、「農学」は、「週 28 時間以上」（1 日当たり平均 4 時間以上）が、それぞれ 58 人（48.3%）、16 人（42.1%）、46 人（41.8%）となっている。

第 9-4 表 専攻別の学習・研究時間

（Q16・17 参照）

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	不明	計
人文科学	人数（人）	84	137	119	85	56	27	16	25	—	549
	率（%）	15.3	25.0	21.7	15.5	10.2	4.9	2.9	4.6	—	100.0
社会科学	人数（人）	311	490	436	295	148	87	19	32	—	1,818
	率（%）	17.1	27.0	24.0	16.2	8.1	4.8	1.0	1.8	—	100.0
理学	人数（人）	30	46	43	39	34	24	16	30	—	262
	率（%）	11.5	17.6	16.4	14.9	13.0	9.2	6.1	11.5	—	100.0
工学	人数（人）	93	180	198	158	99	72	67	68	—	935
	率（%）	9.9	19.3	21.2	16.9	10.6	7.7	7.2	7.3	—	100.0
農学	人数（人）	9	20	13	22	14	16	9	7	—	110
	率（%）	8.2	18.2	11.8	20.0	12.7	14.5	8.2	6.4	—	100.0
医・歯学	人数（人）	12	26	16	8	13	7	19	19	—	120
	率（%）	10.0	21.7	13.3	6.7	10.8	5.8	15.8	15.8	—	100.0
薬学	人数（人）	5	5	8	4	3	4	2	7	—	38
	率（%）	13.2	13.2	21.1	10.5	7.9	10.5	5.3	18.4	—	100.0
家政	人数（人）	10	15	5	8	22	3	0	2	—	65
	率（%）	15.4	23.1	7.7	12.3	33.8	4.6	0.0	3.1	—	100.0
教育	人数（人）	22	32	35	21	17	12	2	3	—	144
	率（%）	15.3	22.2	24.3	14.6	11.8	8.3	1.4	2.1	—	100.0
日本語	人数（人）	381	630	697	445	182	70	48	34	—	2,487
	率（%）	15.3	25.3	28.0	17.9	7.3	2.8	1.9	1.4	—	100.0
その他	人数（人）	75	131	114	81	43	29	8	16	—	497
	率（%）	15.1	26.4	22.9	16.3	8.7	5.8	1.6	3.2	—	100.0
計	人数（人）	1,032	1,712	1,684	1,166	631	351	206	243	—	7,025
	率（%）	14.7	24.4	24.0	16.6	9.0	5.0	2.9	3.5	—	100.0
	平成 29 年率（%）	15.7	25.1	24.2	14.3	8.8	5.1	2.7	3.6	0.6	100.0
	平成 27 年率（%）	17.8	24.1	23.5	14.2	8.1	4.9	2.7	4.2	0.5	100.0

（注）率は、専攻分野別の回答者数の計を 100 とした割合

専攻別の奨学金受給者及び非受給者の学習・研究時間（第 9-5 表と第 9-6 表）を比較すると、全体として奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が多い。すべての専攻別で、受給者から非受給者になると「週 14 時間未満」の割合が増加し、「週 28 時間以上」の割合は、「農学」を除いて奨学金受給者の方が非受給者より多い。

第 9-5 表 専攻別の奨学金受給者の学習・研究時間

（Q16・17・29 参照）

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	不明	計
人文科学	人数（人）	26	62	63	34	28	17	5	21	—	256
	率（％）	10.2	24.2	24.6	13.3	10.9	6.6	2.0	8.2	—	100.0
社会科学	人数（人）	103	216	180	137	76	43	11	22	—	788
	率（％）	13.1	27.4	22.8	17.4	9.6	5.5	1.4	2.8	—	100.0
理学	人数（人）	9	19	26	25	21	15	11	23	—	149
	率（％）	6.0	12.8	17.4	16.8	14.1	10.1	7.4	15.4	—	100.0
工学	人数（人）	35	80	93	75	54	46	44	41	—	468
	率（％）	7.5	17.1	19.9	16.0	11.5	9.8	9.4	8.8	—	100.0
農学	人数（人）	3	10	10	15	9	7	5	5	—	64
	率（％）	4.7	15.6	15.6	23.4	14.1	10.9	7.8	7.8	—	100.0
医・歯学	人数（人）	4	9	5	2	7	2	6	13	—	48
	率（％）	8.3	18.8	10.4	4.2	14.6	4.2	12.5	27.1	—	100.0
薬学	人数（人）	1	3	4	2	2	3	2	5	—	22
	率（％）	4.5	13.6	18.2	9.1	9.1	13.6	9.1	22.7	—	100.0
家政	人数（人）	2	4	0	1	9	0	0	2	—	18
	率（％）	11.1	22.2	0.0	5.6	50.0	0.0	0.0	11.1	—	100.0
教育	人数（人）	8	9	12	10	6	5	1	2	—	53
	率（％）	15.1	17.0	22.6	18.9	11.3	9.4	1.9	3.8	—	100.0
日本語	人数（人）	52	99	117	106	40	15	10	2	—	441
	率（％）	11.8	22.4	26.5	24.0	9.1	3.4	2.3	0.5	—	100.0
その他	人数（人）	14	44	44	31	20	15	3	5	—	176
	率（％）	8.0	25.0	25.0	17.6	11.4	8.5	1.7	2.8	—	100.0
計	人数（人）	257	555	554	438	272	168	98	141	—	2,483
	率（％）	10.4	22.4	22.3	17.6	11.0	6.8	3.9	5.7	—	100.0
	平成 29 年率（％）	10.9	22.8	21.5	15.2	10.8	8.0	4.7	5.8	0.4	100.0
	平成 27 年率（％）	12.3	22.2	23.0	14.9	10.3	6.8	3.4	6.8	0.3	100.0

- （注） 1. 有効回答者は、第 8-6 表の回答者（7,025 人）のうち、「奨学金を受給している」と回答した数（2,483 人）
2. 率は、専攻分野別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者（7,025 人）から抽出した人数のため、第 6-3 表の奨学金受給者（2,280 人）と奨学金非受給者数（4,542 人）とは異なる

第 9-6 表 専攻分野別の奨学金非受給者の学習・研究時間

(Q16・17・29 参照)

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	不明	計
人文科学	人数 (人)	58	75	56	51	28	10	11	4	—	293
	率 (%)	19.8	25.6	19.1	17.4	9.6	3.4	3.8	1.4	—	100.0
社会科学	人数 (人)	208	274	256	158	72	44	8	10	—	1,030
	率 (%)	20.2	26.6	24.9	15.3	7.0	4.3	0.8	1.0	—	100.0
理学	人数 (人)	21	27	17	14	13	9	5	7	—	113
	率 (%)	18.6	23.9	15.0	12.4	11.5	8.0	4.4	6.2	—	100.0
工学	人数 (人)	58	100	105	83	45	26	23	27	—	467
	率 (%)	12.4	21.4	22.5	17.8	9.6	5.6	4.9	5.8	—	100.0
農学	人数 (人)	6	10	3	7	5	9	4	2	—	46
	率 (%)	13.0	21.7	6.5	15.2	10.9	19.6	8.7	4.3	—	100.0
医・歯学	人数 (人)	8	17	11	6	6	5	13	6	—	72
	率 (%)	11.1	23.6	15.3	8.3	8.3	6.9	18.1	8.3	—	100.0
薬学	人数 (人)	4	2	4	2	1	1	0	2	—	16
	率 (%)	25.0	12.5	25.0	12.5	6.3	6.3	0.0	12.5	—	100.0
家政	人数 (人)	8	11	5	7	13	3	0	0	—	47
	率 (%)	17.0	23.4	10.6	14.9	27.7	6.4	0.0	0.0	—	100.0
教育	人数 (人)	14	23	23	11	11	7	1	1	—	91
	率 (%)	15.4	25.3	25.3	12.1	12.1	7.7	1.1	1.1	—	100.0
日本語	人数 (人)	329	531	580	339	142	55	38	32	—	2,046
	率 (%)	16.1	26.0	28.3	16.6	6.9	2.7	1.9	1.6	—	100.0
その他	人数 (人)	61	87	70	50	23	14	5	11	—	321
	率 (%)	19.0	27.1	21.8	15.6	7.2	4.4	1.6	3.4	—	100.0
計	人数 (人)	775	1,157	1,130	728	359	183	108	102	—	4,542
	率 (%)	17.1	25.5	24.9	16.0	7.9	4.0	2.4	2.2	—	100.0
	平成 29 年率 (%)	17.5	26.9	26.0	14.3	7.5	3.3	1.7	2.3	0.5	100.0
	平成 27 年率 (%)	20.1	26.4	22.8	13.7	6.9	4.2	2.4	3.1	0.5	100.0

- (注) 1. 有効回答者は、第 8-6 表の回答者 (7,025 人) のうち、「奨学金を受給していない」と回答した数 (4,542 人)
2. 率は、専攻分野別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者 (7,025 人) から抽出した人数のため、第 6-3 表の奨学金受給者 (2,280 人) と奨学金非受給者数 (4,542 人) とは異なる

奨学金の受給金額と学習・研究時間（第 9-7 表）を見ると、「週 28 時間未満」が奨学金の非受給者では約 8 割、奨学金受給金額「5 万円未満」は 76.8%（1,331 人）を占めているのに対し、受給金額「11 万円以上」の「週 28 時間未満」は 52.4%（143 人）となっている。

第 9-7 表 奨学金の受給金額と学習・研究時間

（Q17・29 参照）

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	計
奨学金なし	人数（人）	775	1,157	1,130	728	359	183	108	102	4,542
	率（%）	17.1	25.5	24.9	16.0	7.9	4.0	2.4	2.2	100.0
奨学金あり	5 万円未満	人数（人）	179	399	420	333	182	94	52	1,732
		率（%）	10.3	23.0	24.2	19.2	10.5	5.4	3.0	100.0
	5 万円以上 7 万円未満	人数（人）	21	49	40	32	22	10	9	194
		率（%）	10.8	25.3	20.6	16.5	11.3	5.2	4.6	100.0
	7 万円以上 9 万円未満	人数（人）	12	11	17	14	10	8	5	83
		率（%）	14.5	13.3	20.5	16.9	12.0	9.6	6.0	100.0
	9 万円以上 11 万円未満	人数（人）	23	53	33	25	20	20	11	201
		率（%）	11.4	26.4	16.4	12.4	10.0	10.0	5.5	100.0
	11 万円以上	人数（人）	22	43	44	34	38	36	21	273
		率（%）	8.1	15.8	16.1	12.5	13.9	13.2	7.7	100.0

（注） 1. 率は、項目別の回答者数の計を 100 とした割合

2. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者（7,025 人）から抽出した人数のため、第 6-3 表の奨学金受給者（2,280 人）と奨学金非受給者数（4,542 人）とは異なる

10. 宿舎

宿舎の形態（第 10-1 表）は、「民間アパート・マンション等」に居住する者が、5,435 人（77.4%）と最も多い。

第 10-1 表 宿舎の形態

（Q11・38 参照）

区分			民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
大学	国立	人数（人）	654	190	90	19	43	6	0	8	—	1,010
		率（％）	64.8	18.8	8.9	1.9	4.3	0.6	0.0	0.8	—	100.0
	公立	人数（人）	90	35	9	10	9	0	1	3	—	157
		率（％）	57.3	22.3	5.7	6.4	5.7	0.0	0.6	1.9	—	100.0
	私立	人数（人）	1,823	155	124	36	39	17	23	25	—	2,242
		率（％）	81.3	6.9	5.5	1.6	1.7	0.8	1.0	1.1	—	100.0
	大学計	人数（人）	2,567	380	223	65	91	23	24	36	—	3,409
		率（％）	75.3	11.1	6.5	1.9	2.7	0.7	0.7	1.1	—	100.0
	短期大学	人数（人）	98	23	14	2	0	3	2	2	—	144
		率（％）	68.1	16.0	9.7	1.4	0.0	2.1	1.4	1.4	—	100.0
専修学校 （専門課程）	人数（人）	1,164	70	65	14	26	15	17	22	—	1,393	
	率（％）	83.6	5.0	4.7	1.0	1.9	1.1	1.2	1.6	—	100.0	
準備教育 課程	人数（人）	94	15	7	7	1	1	1	2	—	128	
	率（％）	73.4	11.7	5.5	5.5	0.8	0.8	0.8	1.6	—	100.0	
日本語 教育機関	人数（人）	1,512	166	123	19	41	29	36	25	—	1,951	
	率（％）	77.5	8.5	6.3	1.0	2.1	1.5	1.8	1.3	—	100.0	
計		人数（人）	5,435	654	432	107	159	71	80	87	—	7,025
		率（％）	77.4	9.3	6.1	1.5	2.3	1.0	1.1	1.2	—	100.0
		平成 29 率（％）	75.4	8.3	6.7	1.6	2.3	1.3	0.8	2.6	1.1	100.0
		平成 27 率（％）	75.4	9.4	6.1	1.5	2.4	1.0	1.2	2.1	0.8	100.0

（注）率は、項目別の回答者数の計を 100 とした割合

在籍学校別の宿舍形態の率（年度別比較表）（第 10-2 表）は、ほぼ同じ割合で推移している。

第 10-2 表 在籍学校別の宿舍形態の率（単位％）（年度別比較表）（Q11・38 参照）

区分			民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
大学	国立	令和元年	64.8	18.8	8.9	1.9	4.3	0.6	0.0	0.8	—	100.0
		平成 29 年	62.3	18.1	10.3	2.9	3.3	0.6	0.2	1.7	0.6	100.0
		平成 27 年	65.7	16.5	9.8	2.5	3.8	0.5	0.1	0.6	0.4	100.0
	公立	令和元年	57.3	22.3	5.7	6.4	5.7	0.0	0.6	1.9	—	100.0
		平成 29 年	59.8	20.7	5.4	6.5	3.3	0.0	0.0	3.3	1.1	100.0
		平成 27 年	56.3	22.7	10.9	2.5	3.4	0.0	2.5	1.7	0.0	100.0
	私立	令和元年	81.3	6.9	5.5	1.6	1.7	0.8	1.0	1.1	—	100.0
		平成 29 年	79.4	7.1	5.1	1.4	2.1	0.6	1.2	2.4	0.6	100.0
		平成 27 年	77.9	8.9	4.6	1.5	2.4	1.3	0.8	2.0	0.8	100.0
	大学計	令和元年	75.3	11.1	6.5	1.9	2.7	0.7	0.7	1.1	—	100.0
		平成 29 年	73.7	10.8	6.6	2.0	2.5	0.6	0.9	2.2	0.6	100.0
		平成 27 年	73.6	11.6	6.3	1.8	2.8	1.0	0.7	1.6	0.6	100.0
短期大学		令和元年	68.1	16.0	9.7	1.4	0.0	2.1	1.4	1.4	—	100.0
		平成 29 年	77.5	5.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	100.0
		平成 27 年	70.4	14.8	7.4	0.0	3.7	0.0	1.9	1.9	0.0	100.0
専修学校 (専門課程)		令和元年	83.6	5.0	4.7	1.0	1.9	1.1	1.2	1.6	—	100.0
		平成 29 年	82.2	4.0	4.6	1.2	1.7	2.1	0.8	2.1	1.4	100.0
		平成 27 年	85.6	4.1	3.1	0.7	1.7	0.7	1.1	2.5	0.7	100.0
準備教育課程		令和元年	73.4	11.7	5.5	5.5	0.8	0.8	0.8	1.6	—	100.0
		平成 29 年	68.3	14.6	9.8	1.2	0.0	2.4	0.0	3.7	0.0	100.0
		平成 27 年	66.2	15.5	9.9	2.8	0.0	1.4	0.0	4.2	0.0	100.0
日本語教育機関		令和元年	77.5	8.5	6.3	1.0	2.1	1.5	1.8	1.3	—	100.0
		平成 29 年	73.6	6.8	8.1	1.1	2.6	1.8	0.7	3.4	2.0	100.0
		平成 27 年	73.2	8.0	7.3	1.5	2.1	1.3	2.6	2.8	1.3	100.0
計		令和元年	77.4	9.3	6.1	1.5	2.3	1.0	1.1	1.2	—	100.0
		平成 29 年	75.4	8.3	6.7	1.6	2.3	1.3	0.8	2.6	1.1	100.0
		平成 27 年	75.4	9.4	6.1	1.5	2.4	1.0	1.2	2.1	0.8	100.0

（注）率は、項目別の回答者数の計を 100 とした割合

宿舎を選ぶ際に重視したもの（第 10-3 表）は、「家賃・初期費用」が 5,654 人（80.5%）と最も多く、「学校からの距離・通学時間」が 4,696 人（66.8%）、「周辺環境の利便性」が 2,865 人（40.8%）と続く。

第 10-3 表 宿舎を選ぶ際に重視したもの（複数回答設問）

（Q39 参照）

区分		家賃 初期費用	間取り 広さ	設備	学校から の距離 通学時間	周辺環境 の利便性	セキュ リティ	日本人と の交流	留学生同 士の交流
高等教育機関	集計 pt	11,267	1,730	1,837	7,160	3,211	1,114	344	300
	集計 pt 率 (%)	41.8	6.4	6.8	26.6	11.9	4.1	1.3	1.1
	人数 (人)	4,174	936	1,072	3,431	2,034	674	203	182
	率 (%)	82.3	18.4	21.1	67.6	40.1	13.3	4.0	3.6
日本語教育機関	集計 pt	3,979	675	820	2,651	1,365	418	173	101
	集計 pt 率 (%)	39.1	6.6	8.1	26.0	13.4	4.1	1.7	1.0
	人数 (人)	1,480	341	459	1,265	831	236	94	56
	率 (%)	75.9	17.5	23.5	64.8	42.6	12.1	4.8	2.9
計	集計 pt	15,246	2,405	2,657	9,811	4,576	1,532	517	401
	集計 pt 率 (%)	41.0	6.5	7.2	26.4	12.3	4.1	1.4	1.1
	人数 (人)	5,654	1,277	1,531	4,696	2,865	910	297	238
	率 (%)	80.5	18.2	21.8	66.8	40.8	13.0	4.2	3.4
	平成 29 年率 (%)	84.6	22.6	22.8	68.0	43.2	17.0	5.9	4.3
	平成 27 年率 (%)	85.4	22.6	21.5	67.2	44.1	14.4	6.4	3.9

- （注） 1. 有効回答者は、第 1-3 表の回答者（7,025 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、
集計 pt 率は、集計 pt の計（高等教育機関（26,963）・日本語教育機関（10,182））別を 100 とした割合
3. 率は、第 1-3 表の高等教育機関（5,074 人）・日本語教育機関（1,951 人）別の人数を 100 とした割合

一人当たりの専有面積（第 10-4 表）は、「7.5 m²以上 10 m²（約 5～6 畳）未満」が 1,344 人（19.1%）と最も多く、「15 m²（約 9 畳）未満」が全体の約 7 割（65.4%）となっている。

第 10-4 表 一人当たりの専有面積

（Q40 参照）

区分	5 m ² 未満	5～7.5 m ² 未満	7.5～10 m ² 未満	10～12.5 m ² 未満	12.5～15 m ² 未満	15～17.5 m ² 未満	17.5～20 m ² 未満	20～25 m ² 未満	25 m ² 以上	不明	計
人数 (人)	464	1,174	1,344	903	712	600	715	642	471	—	7,025
率 (%)	6.6	16.7	19.1	12.9	10.1	8.5	10.2	9.1	6.7	—	100.0
平成 29 年率 (%)	8.8	16.0	20.1	11.2	9.5	7.8	9.7	8.1	6.3	2.6	100.0
平成 27 年率 (%)	8.3	16.8	20.6	12.9	10.0	7.1	9.1	7.2	5.8	2.2	100.0

（注）率は、回答者数の計（7,025 人）を 100 とした割合

部屋の設備（第 10-5 表）として、「キッチン」、「バス・シャワー」、「トイレ」の有無を見ると、約 8 割の者が個別のキッチン（80.1%）、バス・シャワー（82.0%）、トイレ（84.0%）付きの部屋に居住している。また、「部屋にはないが共同」はそれぞれ約 2 割となっている。

第 10-5 表 部屋の設備 (Q41・42・43 参照)

区分		部屋にある	部屋にはないが共同	なし	不明
キッチン	人数（人）	5,629	1,264	132	—
	率（%）	80.1	18.0	1.9	—
	平成 29 年率（%）	77.3	19.6	0.8	2.3
	平成 27 年率（%）	69.9	18.4	0.9	10.8
バス・シャワー	人数（人）	5,759	1,200	66	—
	率（%）	82.0	17.1	0.9	—
	平成 29 年率（%）	77.2	19.1	0.3	3.4
	平成 27 年率（%）	68.9	18.7	0.5	12.0
トイレ	人数（人）	5,904	1,121	—	—
	率（%）	84.0	16.0	—	—
	平成 29 年率（%）	78.6	17.6	—	3.8
	平成 27 年率（%）	71.1	16.5	—	12.3

(注) 1. 「トイレ」の設問には「なし」の選択肢はない
2. 率は、回答者数の計（7,025 人）を 100 とした割合

同居人の有無（第 10-6 表）については、「日本で単身で住んでいる」と回答した者は、4,086 人（58.2%）で、全体の約 6 割となっている。

第 10-6 表 同居人の有無 (Q44 参照)

区分	単身	同居	不明	計
人数（人）	4,086	2,939	—	7,025
率（%）	58.2	41.8	—	100.0
平成 29 年率（%）	48.5	50.5	1.0	100.0
平成 27 年率（%）	49.2	49.8	1.0	100.0

(注) 率は、回答者数の計（7,025 人）を 100 とした割合

「同居人がいる」と回答した者のうち、同居人の数（第 10-7 表）を見ると、「1 人」と回答した者が 1,116 人（38.0%）で最も多く、次いで、「2 人」と回答した者 1,087 人（37.0%）となっている。

第 10-7 表 同居人の数 (Q45 参照)

区分	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	不明	計
人数（人）	1,116	1,087	435	166	135	—	2,939
率（%）	38.0	37.0	14.8	5.6	4.6	—	100.0
平成 29 年率（%）	34.6	33.2	16.9	7.5	5.8	2.1	100.0
平成 27 年率（%）	34.5	36.6	14.4	6.8	4.8	2.8	100.0

(注) 1. 有効回答者は、第 10-6 表の回答者（7,025 人）のうち、「同居」と回答した数（2,939 人）
2. 率は、回答者数の計（2,939 人）を 100 とした割合

同居人の種類（第 10-8 表）を見ると、「外国人留学生」と回答した者が約 6 割の 1,874 人（63.8%）で最も多く、次いで、「配偶者又は家族」の 653 人（22.2%）となっている。

第 10-8 表 同居人の種類 (Q46 参照)

区分	配偶者又は家族	外国人留学生	日本人学生	その他	不明	計
人数（人）	653	1,874	101	311	—	2,939
率（%）	22.2	63.8	3.4	10.6	—	100.0
平成 29 年率（%）	23.2	56.3	3.5	12.8	4.2	100.0
平成 27 年率（%）	26.3	53.6	3.3	12.2	4.6	100.0

（注） 1. 有効回答者は、第 10-6 表の回答者（7,025 人）のうち、「同居」と回答した数（2,939 人）
 2. 率は、回答者数の計（2,939 人）を 100 とした割合

宿舍の形態による单身・同居の状況（第 10-9 表）を見ると、「单身居住者」、「同居者のいる者」のどちらも「民間のアパートやマンション等」に 7 割以上が居住している。

第 10-9 表 宿舍の形態による单身・同居の状況 (Q38・44 参照)

区分		民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
单身	人数（人）	3,179	395	269	82	59	49	21	32	—	4,086
	率（%）	77.8	9.7	6.6	2.0	1.4	1.2	0.5	0.8	—	100.0
同居	人数（人）	2,256	259	163	25	100	22	59	55	—	2,939
	率（%）	76.8	8.8	5.5	0.9	3.4	0.7	2.0	1.9	—	100.0
計	人数（人）	5,435	654	432	107	159	71	80	87	—	7,025
	率（%）	77.4	9.3	6.1	1.5	2.3	1.0	1.1	1.2	—	100.0
	平成 29 年率（%）	75.4	8.3	6.7	1.6	2.3	1.3	0.8	2.6	1.1	100.0
	平成 27 年率（%）	75.4	9.4	6.1	1.5	2.4	1.0	1.2	2.1	0.8	100.0

（注）率は、单身同居別の回答者数の計を 100 とした割合

居住地域別の住居費（第 10-10 表）を見ると、関東地方が平均月額 41,000 円と全国で最も高くなっている。一方、平均月額が低いのは九州地方で 24,000 円となっている。なお、東京のみでは、45,000 円となっている。

第 10-10 表 居住地域別の住居費（年度別比較表） (Q29・37 参照)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
令和元年（千円）	28	27	41	28	35	25	25	24	45	35
平成 29 年（千円）	31	25	39	26	35	24	23	24	43	34
平成 27 年（千円）	30	23	35	26	32	21	22	22	38	31

（注） 1. 有効回答者は、第 7-1 表の回答者（6,822 人）
 2. 支出内訳は、各居住地域の支出額の計を、各居住地域別の回答者数（支出している者及び支出していない者）の計で除した額

宿舍の形態別の住居費（第 10-11 表）を見ると、「民間アパート・マンション等」は「2 万円以上 5 万円未満」が 6 割以上（62.1%）であり、「大学・学校の留学生用宿舍」は、「1 万円以上 4 万円未満」が 6 割以上（62.1%）となっている。全体では「2 万円以上 5 万円未満」が約 6 割（59.5%）となっている。

第 10-11 表 宿舍の形態別の住居費

（Q29・38 参照）

区分		1 万円未満	1～2 万円未満	2～3 万円未満	3～4 万円未満	4～5 万円未満	5～6 万円未満	6～7 万円未満	7 万円以上	不明	計
民間アパート・マンション等	人数（人）	338	347	980	1,425	874	542	371	400	—	5,277
	率（%）	6.4	6.6	18.6	27.0	16.6	10.3	7.0	7.6	—	100.0
大学・学校の留学生用宿舍	人数（人）	102	130	139	127	72	34	19	15	—	638
	率（%）	16.0	20.4	21.8	19.9	11.3	5.3	3.0	2.4	—	100.0
大学・学校の一般学生寮	人数（人）	70	68	78	105	35	30	18	18	—	422
	率（%）	16.6	16.1	18.5	24.9	8.3	7.1	4.3	4.3	—	100.0
県・市・財団法人の留学生宿舍	人数（人）	15	11	25	21	6	19	4	2	—	103
	率（%）	14.6	10.7	24.3	20.4	5.8	18.4	3.9	1.9	—	100.0
公営住宅等の一般公的宿舍	人数（人）	13	28	35	31	19	13	7	5	—	151
	率（%）	8.6	18.5	23.2	20.5	12.6	8.6	4.6	3.3	—	100.0
企業の社員寮	人数（人）	23	7	13	14	5	3	3	3	—	71
	率（%）	32.4	9.9	18.3	19.7	7.0	4.2	4.2	4.2	—	100.0
ホームステイ	人数（人）	26	5	6	19	8	5	3	2	—	74
	率（%）	35.1	6.8	8.1	25.7	10.8	6.8	4.1	2.7	—	100.0
その他	人数（人）	47	4	8	12	4	7	3	1	—	86
	率（%）	54.7	4.7	9.3	14.0	4.7	8.1	3.5	1.2	—	100.0
計	人数（人）	634	600	1,284	1,754	1,023	653	428	446	—	6,822
	率（%）	9.3	8.8	18.8	25.7	15.0	9.6	6.3	6.5	—	100.0
	平成 29 年率（%）	2.8	8.4	21.5	26.1	16.3	9.6	5.7	4.9	4.7	100.0
	平成 27 年率（%）	2.9	8.7	20.7	28.5	15.4	10.0	5.3	3.4	5.0	100.0

（注） 1. 有効回答者は、第 7-1 表の回答者（6,822 人）
2. 率は、宿舍の形態別の回答者数の計を 100 とした割合

宿舍入居にかかる敷金・礼金、保証金等の金額（第 10-12 表）は「5 万円未満」と回答した者が 2,129 人（30.3%）と最も多く、次いで、「なし」の 1,755 人（25.0%）、「5 万円以上 10 万円未満」の 1,725 人（24.6%）となっている。

第 10-12 表 宿舍入居にかかる敷金・礼金、保証金等の金額

（Q47 参照）

区分	なし	5 万円未満	5～10 万円未満	10～20 万円未満	20～30 万円未満	30～40 万円未満	40～50 万円未満	50 万円以上	不明	計
人数（人）	1,755	2,129	1,725	957	273	114	42	30	—	7,025
率（%）	25.0	30.3	24.6	13.6	3.9	1.6	0.6	0.4	—	100.0
平成 29 年率（%）	18.8	29.9	24.1	16.1	4.8	1.7	0.4	0.4	3.8	100.0
平成 27 年率（%）	19.5	30.0	23.7	16.9	4.7	1.1	0.3	0.3	3.5	100.0

（注） 率は、回答者数の計（7,025 人）を 100 とした割合

宿舎の形態別の敷金・礼金、保証金等（第 10-13 表）を見ると、「大学・学校の留学生用宿舎」、「大学・学校の一般学生寮」、「県・市・財団法人の留学生宿舎」、「企業の社員寮」、「ホームステイ」、「その他」は、敷金・礼金、保証金等が「なし」または「5 万円未満」で 7 割以上となっている。

第 10-13 表 宿舎の形態別の敷金・礼金、保証金等

（Q38・47 参照）

区分		なし	5 万円未満	5～10 万円未満	10～20 万円未満	20～30 万円未満	30～40 万円未満	40～50 万円未満	50 万円以上	不明	計
民間アパート・マンション等	人数（人）	1,131	1,574	1,454	866	254	97	36	23	—	5,435
	率（％）	20.8	29.0	26.8	15.9	4.7	1.8	0.7	0.4	—	100.0
大学・学校の留学生用宿舎	人数（人）	241	271	96	25	10	6	3	2	—	654
	率（％）	36.9	41.4	14.7	3.8	1.5	0.9	0.5	0.3	—	100.0
大学・学校の一般学生寮	人数（人）	169	146	73	33	0	6	3	2	—	432
	率（％）	39.1	33.8	16.9	7.6	0.0	1.4	0.7	0.5	—	100.0
県・市・財団法人の留学生宿舎	人数（人）	49	32	19	3	3	1	0	0	—	107
	率（％）	45.8	29.9	17.8	2.8	2.8	0.9	0.0	0.0	—	100.0
公営住宅等の一般公的宿舎	人数（人）	36	49	54	15	4	1	0	0	—	159
	率（％）	22.6	30.8	34.0	9.4	2.5	0.6	0.0	0.0	—	100.0
企業の社員寮	人数（人）	39	17	9	5	0	1	0	0	—	71
	率（％）	54.9	23.9	12.7	7.0	0.0	1.4	0.0	0.0	—	100.0
ホームステイ	人数（人）	39	24	8	4	2	1	0	2	—	80
	率（％）	48.8	30.0	10.0	5.0	2.5	1.3	0.0	2.5	—	100.0
その他	人数（人）	51	16	12	6	0	1	0	1	—	87
	率（％）	58.6	18.4	13.8	6.9	0.0	1.1	0.0	1.1	—	100.0
計	人数（人）	1,755	2,129	1,725	957	273	114	42	30	—	7,025
	率（％）	25.0	30.3	24.6	13.6	3.9	1.6	0.6	0.4	—	100.0
	平成 29 年率（％）	18.8	29.9	24.1	16.1	4.8	1.7	0.4	0.4	3.8	100.0
	平成 27 年率（％）	19.5	30.0	23.7	16.9	4.7	1.1	0.3	0.3	3.5	100.0

（注）率は、宿舎の形態別の回答者数の計を 100 とした割合

宿舎に入居の際の保証人の要否（第 10-14 表）について、「保証人を求められた」と回答した者は、3,974 人で全体の約 6 割（56.6％）となっている。

第 10-14 表 宿舎に入居の際の保証人の要否

（Q48 参照）

区分	求められた	求められていない	不明	計
人数（人）	3,974	3,051	—	7,025
率（％）	56.6	43.4	—	100.0
平成 29 年率（％）	55.5	42.8	1.7	100.0
平成 27 年率（％）	57.7	40.8	1.5	100.0

（注）率は、回答者数の計（7,025 人）を 100 とした割合

宿舎の形態別の保証人の要否（第 10-15 表）を見ると、「民間のアパート・マンション等」に居住する学生のうち、8 割以上が「保証人を求められた」（3,343 人、61.5％）と回答している。

第 10-15 表 宿舍の形態別の保証人の要否

(Q38・48 参照)

区分		民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
保証人必要	人数 (人)	3,343	189	189	62	105	28	30	28	-	3,974
	率 (%)	61.5	28.9	43.8	57.9	66.0	39.4	37.5	32.2	-	56.6
	平成 29 年率 (%)	61.6	36.5	35.5	48.3	51.9	43.1	28.9	28.1	18.5	55.5
	平成 27 年率 (%)	63.9	35.7	37.4	54.3	59.3	37.7	30.7	31.0	24.5	57.7
保証人不要	人数 (人)	2,092	465	243	45	54	43	50	59	-	3,051
	率 (%)	38.5	71.1	56.3	42.1	34.0	60.6	62.5	67.8	-	43.4
	平成 29 年率 (%)	37.5	61.6	64.0	51.7	47.3	55.6	71.1	67.8	23.1	42.8
	平成 27 年率 (%)	35.2	62.5	60.4	44.6	39.3	60.7	66.7	68.3	24.5	40.8
不明	人数 (人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平成 29 年率 (%)	0.9	1.9	0.5	0.0	0.8	1.4	0.0	4.1	58.5	1.7
	平成 27 年率 (%)	0.9	1.8	2.2	1.1	1.4	1.6	2.7	0.8	51.0	1.5
計	人数 (人)	5,435	654	432	107	159	71	80	87	-	7,025
	率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0

(注) 率は、宿舍の形態別の回答者数の計を 100 とした割合

宿舍の保証人の種類 (第 10-16 表) は、「保証人制度を利用する」と回答した者が 865 人 (21.8%) と最も多く、次いで、「大学・学校等 (代表者)」が 804 人 (20.2%)、「親族」が 765 人 (19.3%)、「日本人の知人」が 683 人 (17.2%) と続く。

第 10-16 表 宿舍の保証人の種類

(Q49 参照)

区分	大学・学校 (代表者)	大学・学校の指導教員	国際交流団体 (代表者)	過去に在籍していた日本語教育機関 (代表者・教員)	日本人の知人	日本人以外の知人	親族	保証人制度を利用する	その他	不明	計
人数 (人)	804	218	60	107	683	392	765	865	80	—	3,974
率 (%)	20.2	5.5	1.5	2.7	17.2	9.9	19.3	21.8	2.0	—	100.0
平成 29 年率 (%)	23.9	5.1	1.7	2.7	17.4	8.3	16.2	18.7	4.5	1.5	100.0
平成 27 年率 (%)	29.0	6.7	1.7	2.5	18.9	5.9	14.3	15.6	4.3	1.1	100.0

(注) 1. 有効回答者は、第 10-14 表の回答者 (7,025 人) のうち、「保証人を求められた」と回答した数 (3,974 人)

2. 率は、回答者数の計 (3,974 人) を 100 とした割合

学校までの所要通学時間（第 10-17 表）については、全国平均で「30 分以内」が 4,836 人（68.8%）と最も多く、以下、「1 時間以内」が 1,687 人（24.0%）、「1 時間 30 分以内」が 362 人（5.2%）となっている。東京在住では、「30 分以内」が 1,218 人（57.0%）である。

第 10-17 表 学校までの所要通学時間

（Q18・37 参照）

区分		30 分以内	1 時間以内	1 時間 30 分以内	2 時間以内	2 時間以上	不明	計
全国平均	人数（人）	4,836	1,687	362	97	43	—	7,025
	率（%）	68.8	24.0	5.2	1.4	0.6	—	100.0
	平成 29 年率（%）	66.8	25.0	5.7	1.2	0.7	0.6	100.0
	平成 27 年率（%）	67.5	24.1	6.1	1.2	0.5	0.5	100.0
東京在住	人数（人）	1,218	738	138	32	12	—	2,138
	率（%）	57.0	34.5	6.5	1.5	0.6	—	100.0
	平成 29 年率（%）	54.7	35.6	6.9	1.0	1.0	0.8	100.0
	平成 27 年率（%）	59.4	31.5	7.3	0.9	0.5	0.4	100.0

（注）率は、項目別の回答者数の計を 100 とした割合

11. 授業料等の保証人

大学・学校の授業料等の保証人の要否(第 11-1 表)は、「求められた」と回答した者が 4,118 人(58.6%)、「求められていない」と回答した者が 2,907 人(41.4%)となっており、約 6 割が保証人を求められている。

第 11-1 表 授業料等の保証人の要否

(Q19 参照)

区分	求められた	求められていない	不明	計
人数(人)	4,118	2,907	—	7,025
率(%)	58.6	41.4	—	100.0
平成 29 年率(%)	60.2	38.4	1.4	100.0
平成 27 年率(%)	60.5	38.5	1.0	100.0

(注) 率は、回答者数の計(7,025 人)を 100 とした割合

在籍学校別の保証人要否(第 11-2 表)を見ると、国立大学で保証人を必要としているのは、34.7%(350 人)で、他の区分と比較して割合が低くなっている。

第 11-2 表 在籍学校別の保証人要否

(Q11・19 参照)

区分			保証人要	保証人不要	不明	計
大学	国立	人数（人）	350	660	—	1,010
		率（％）	34.7	65.3	—	100.0
		平成29年率（％）	39.1	59.4	1.4	100.0
		平成27年率（％）	39.2	59.8	1.1	100.0
	公立	人数（人）	91	66	—	157
		率（％）	58.0	42.0	—	100.0
		平成29年率（％）	52.2	45.7	2.2	100.0
		平成27年率（％）	67.2	32.8	0.0	100.0
	私立	人数（人）	1,374	868	—	2,242
		率（％）	61.3	38.7	—	100.0
		平成29年率（％）	61.9	37.4	0.7	100.0
		平成27年率（％）	63.6	35.8	0.6	100.0
	大学計	人数（人）	1,815	1,594	—	3,409
		率（％）	53.2	46.8	—	100.0
		平成29年率（％）	54.8	44.2	1.0	100.0
		平成27年率（％）	56.7	42.6	0.7	100.0
短期大学		人数（人）	92	52	—	144
		率（％）	63.9	36.1	—	100.0
		平成29年率（％）	57.5	40.0	2.5	100.0
		平成27年率（％）	70.4	29.6	0.0	100.0
専修学校（専門課程）		人数（人）	804	589	—	1,393
		率（％）	57.7	42.3	—	100.0
		平成29年率（％）	57.4	41.0	1.6	100.0
		平成27年率（％）	56.2	42.7	1.1	100.0
準備教育課程		人数（人）	69	59	—	128
		率（％）	53.9	46.1	—	100.0
		平成29年率（％）	79.3	19.5	1.2	100.0
		平成27年率（％）	66.2	32.4	1.4	100.0
日本語教育機関		人数（人）	1,338	613	—	1,951
		率（％）	68.6	31.4	—	100.0
		平成29年率（％）	70.9	27.2	1.9	100.0
		平成27年率（％）	71.0	27.4	1.6	100.0
計		人数（人）	4,118	2,907	—	7,025
		率（％）	58.6	41.4	—	100.0
		平成29年率（％）	60.2	38.4	1.4	100.0
		平成27年率（％）	60.5	38.5	1.0	100.0

(注) 率は、在籍学校別の回答者数の計を 100 とした割合

また、授業料の保証人の種類 (第 11-3 表) としては、「親族」が 3,064 人 (74.4%) と最も多く、約 7 割となっている。次いで、「大学・学校 (代表者)」が 274 人 (6.7%) となっている。

第 11-3 表 授業料の保証人の種類

(Q20 参照)

区分	大学・学校 (代表者)	大学・学校 の指導教員	国際交流 団体 (代表者)	過去に在籍 していた 日本語教育機関 (代表者・教員)	日本人の 知人	日本人以外 の知人	親族	その他	不明	計
人数 (人)	274	135	46	95	215	236	3,064	53	—	4,118
率 (%)	6.7	3.3	1.1	2.3	5.2	5.7	74.4	1.3	—	100.0
平成 29 年率 (%)	5.5	4.3	0.9	2.0	5.5	4.9	72.6	3.1	1.3	100.0
平成 27 年率 (%)	6.4	3.8	0.9	2.8	6.3	4.3	71.7	3.0	0.7	100.0

(注) 1. 有効回答者は、第 11-1 表の回答者 (7,025 人) のうち、「保証人を求められた」と回答した数 (4,118 人)

2. 率は、回答者数の計 (4,118 人) を 100 とした割合

12. 健康

大学・学校に入学してからの病気経験の有無とその時の対処の仕方（第 12-1 表）として、「病院に行った」が 3,156 人（44.9%）と最も多く、「薬局で薬を買って治した」が 2,300 人（32.7%）、「学校の保健管理センターや医務室に行った」が 968 人（13.8%）となっている。なお、「病気やけがをしたことがない」は 2,926 人（41.7%）となっている。

第 12-1 表 大学・学校に入学してからの病気経験の有無とその時の対処の仕方（複数回答設問）（Q50 参照）

区分	病気やけがをしたことがない	学校の保健管理センターや医務室に行った	病院に行った	薬局で薬を買って治した	病院にも薬局にも行かないで、我慢した	その他	不明
人数（人）	2,926	968	3,156	2,300	483	32	—
率（%）	41.7	13.8	44.9	32.7	6.9	0.5	—
平成 29 年率（%）	40.0	16.4	43.9	43.7	11.6	1.7	3.5
平成 27 年率（%）	38.8	20.6	56.0	56.7	9.6	1.2	2.5

（注）率 は、回答者数の計（7,025 人）を 100 とした割合

健康保険加入状況（第 12-2 表）については、6,913 人（98.4%）が何らかの健康保険に加入していると回答している。

第 12-2 表 健康保険加入状況（Q51 参照）

区分	健康保険に加入している	健康保険に加入していない	不明	計
高等教育機関	人数（人）	4,995	79	5,074
	率（%）	98.4	1.6	100.0
日本語教育機関	人数（人）	1,918	33	1,951
	率（%）	98.3	1.7	100.0
計	人数（人）	6,913	112	7,025
	率（%）	98.4	1.6	100.0
	平成 29 年率（%）	98.7	0.4	100.0
	平成 27 年率（%）	97.0	2.2	100.0

（注）率 は、高等教育機関・日本語教育機関別の回答者数の計を 100 とした割合

加入している健康保険の種類（第 12-4 表）については、健康保険に加入している学生の 95.9%にあたる 6,633 人が「（日本の）国民健康保険」に加入しており、その他に、「海外旅行・留学保険」に 477 人（6.9%）、「所属する機関の健康保険」に 320 人（4.6%）、「親や兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険」に 275 人（4.0%）が加入している。

第 12-3 表 居住地域別健康保険加入状況（Q29・37・51 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
人数（人）	142	170	3,274	736	1,375	385	91	740	6,913
率（%）	97.9	93.9	98.5	99.1	98.3	98.5	98.9	98.7	98.4

（注）1. 有効回答者は、第 12-2 表の回答者（7,025 人）のうち、「健康保健に加入している」と回答した数（6,913 人）

2. 率 は、第 1-6 表の居住地域別の人数を 100 とした割合

第 12-4 表 加入している健康保険の種類 (複数回答設問)

(Q52 参照)

区分	(日本の) 国民健康保険	海外旅行 ・留学保険	親や兄弟、配偶者 等の家族が加入して いる健康保険	所属する機関 の健康保険	その他	不明
人数 (人)	6,633	477	275	320	31	—
率 (%)	95.9	6.9	4.0	4.6	0.4	—
平成 29 年率 (%)	92.1	9.0	5.2	7.8	1.0	3.3
平成 27 年率 (%)	95.0	8.3	4.8	6.5	0.8	1.1

(注) 1. 有効回答者は、第 12-2 表の回答者 (7,025 人) のうち、「健康保健に加入している」と回答した数 (6,913 人)

2. 率は、回答者数の計 (6,913 人) を 100 とした割合

居住地地域別加入している健康保険の種類 (第 12-5 表) を見ると、国民健康保険に各地域で 8 割以上が加入している。

第 12-5 表 居住地地域別加入している健康保険の種類

(Q37・52 参照)

区分		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
国民健康保険	人数 (人)	138	154	3,145	708	1,333	363	90	702	6,633
	率 (%)	95.2	85.1	94.6	95.3	95.3	92.8	97.8	93.6	94.4
海外旅行 ・留学保険	人数 (人)	12	22	224	53	80	29	8	49	477
	率 (%)	8.3	12.2	6.7	7.1	5.7	7.4	8.7	6.5	6.8
親や、兄弟、配偶者 等の家族が加入し ている健康保険	人数 (人)	4	13	122	20	64	25	5	22	275
	率 (%)	2.8	7.2	3.7	2.7	4.6	6.4	5.4	2.9	3.9
所属する機関 の健康保険	人数 (人)	8	17	147	27	58	26	5	32	320
	率 (%)	5.5	9.4	4.4	3.6	4.1	6.6	5.4	4.3	4.6
その他	人数 (人)	2	1	8	2	14	2	0	2	31
	率 (%)	1.4	0.6	0.2	0.3	1.0	0.5	0.0	0.3	0.4

(注) 1. 有効回答者は、第 12-2 表の回答者 (7,025 人) のうち、「健康保健に加入している」と回答した数 (6,913 人)

2. 率は、第 1-6 表の居住地地域別の人数を 100 とした割合

年度別の居住地地域別国民健康保険の加入率 (第 12-6 表) を見ると、全国的に加入率が上昇している。

第 12-6 表 年度別の居住地地域別国民健康保険の加入率 (年度別比較表)

(Q37・52 参照)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
令和元年率 (%)	95.2	85.1	94.6	95.3	95.3	92.8	97.8	93.6	94.4
平成 29 年率 (%)	93.1	88.9	92.0	93.1	93.0	95.1	88.9	90.6	92.1
平成 27 年率 (%)	96.1	90.7	95.0	95.5	96.6	92.9	94.6	94.2	95.0

(注) 率は、第 1-6 表の居住地地域別の人数を 100 とした割合

国民健康保険の地域別保険料月額 (第 12-7 表) について、全体では「1,500 円以上 2,000 円未満」が 1,708 人 (25.8%) と最も多い。居住地地域別にみると、近畿地方では「2,000 円以上 2,500 円未満」、北海道地方・東北地方・中部地方・中国地方・四国地方・九州地方では「1,500 円以上 2,000 円未満」、関東地方では「1,000 円以上 1,500 円未満」がそれぞれ最も多い。

第 12-7 表 国民健康保険加入者の地域別保険料月額

(Q37・53 参照)

区分		無料	500 円 未満	500 円 ～1,000 円未満	1,000 円 ～1,500 円未満	1,500 円 ～2,000 円未満	2,000 円 ～2,500 円未満	2,500 円 ～3,000 円未満	3,000 円 ～3,500 円未満	3,500 円 以上	計
北海道	人数 (人)	3	3	3	19	52	27	9	5	17	138
	率 (%)	2.2	2.2	2.2	13.8	37.7	19.6	6.5	3.6	12.3	100.0
東北	人数 (人)	9	5	3	20	54	22	12	6	23	154
	率 (%)	5.8	3.2	1.9	13.0	35.1	14.3	7.8	3.9	14.9	100.0
関東	人数 (人)	64	76	261	1,167	699	205	99	121	453	3,145
	率 (%)	2.0	2.4	8.3	37.1	22.2	6.5	3.1	3.8	14.4	100.0
中部	人数 (人)	18	19	29	131	172	130	53	18	138	708
	率 (%)	2.5	2.7	4.1	18.5	24.3	18.4	7.5	2.5	19.5	100.0
近畿	人数 (人)	27	23	43	162	308	411	113	48	198	1,333
	率 (%)	2.0	1.7	3.2	12.2	23.1	30.8	8.5	3.6	14.9	100.0
中国	人数 (人)	4	14	15	40	95	84	24	15	72	363
	率 (%)	1.1	3.9	4.1	11.0	26.2	23.1	6.6	4.1	19.8	100.0
四国	人数 (人)	2	3	12	15	30	11	3	4	10	90
	率 (%)	2.2	3.3	13.3	16.7	33.3	12.2	3.3	4.4	11.1	100.0
九州	人数 (人)	17	18	30	80	298	76	42	25	116	702
	率 (%)	2.4	2.6	4.3	11.4	42.5	10.8	6.0	3.6	16.5	100.0
計	人数 (人)	144	161	396	1,634	1,708	966	355	242	1,027	6,633
	率 (%)	2.2	2.4	6.0	24.6	25.8	14.6	5.4	3.6	15.5	100.0

- (注) 1. 有効回答者は、第 12-4 表の回答者数 (6,913 人) のうち、「国民健康保険に加入している」と回答した数 (6,633 人)
2. 率は、居住地域別の回答者数の計を 100 とした割合

第 12-8 表 健康保険未加入の理由

(Q54 参照)

区分	保険料が 高すぎる	保険が必要 だと思わない	国民健康保険への 加入の仕方が わからない	その他	不明	計
人数 (人)	51	36	22	3	—	112
率 (%)	45.5	32.1	19.6	2.7	—	100.0
平成 29 年率 (%)	13.6	4.5	0.0	13.6	68.2	100.0
H 平成 27 年率 (%)	45.4	20.0	21.5	4.6	8.5	100.0

- (注) 1. 有効回答者は、第 12-2 表の回答者数 (7,025 人) のうち、「健康保険に加入していない」と回答した数 (112 人)
2. 率は、回答者数の計 (112 人) を 100 とした割合

13. 卒業後の進路希望等

卒業後の進路希望（第 13-1 表）として、「日本において就職希望」と回答した者が 3,856 人（54.9%）で最も多く、次いで、「日本において進学希望」が 2,907 人（41.4%）となっている。

第 13-1 表 卒業後の進路希望 （全体） （複数回答設問） （Q57・58 参照）

区分	日本において進学希望	日本において就職希望	日本において起業希望	出身国において進学希望	出身国において就職・起業希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職・起業希望	まだ決めていない	不明
集計 pt	8,457	10,500	1,336	696	2,919	954	798	1,047	—
集計 pt 率 (%)	31.7	39.3	5.0	2.6	10.9	3.6	3.0	3.9	—
人数 (人)	2,907	3,856	676	328	1,366	474	453	349	—
率 (%)	41.4	54.9	9.6	4.7	19.4	6.7	6.4	5.0	—
平成 29 年率 (%)	51.5	64.6	10.6	5.7	18.4	6.2	5.2	5.2	1.0
平成 27 年率 (%)	50.4	63.6	10.8	5.3	20.0	5.9	5.8	6.0	0.8

- (注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計 (26,707) を 100 とした割合
 2. 率は、回答者数の計 (7,025 人) を 100 とした割合

在籍段階別卒業後の進路希望（第 13-2 表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」、「大学院修士課程・博士前期課程」、「専門職大学院課程」、「大学院レベルの研究生」、「学部正規課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」、「その他」では、「日本において就職を希望」が最も多く、「準備教育課程」、「日本語教育機関」では、「日本において進学希望」が最も多い回答となっている。

また、専攻分野別卒業後の進路希望（第 13-3 表）を見ると、「日本語」では、「日本において進学希望」が最も多く、それ以外の分野では、「日本において就職希望」が最も多い。

第 13-2 表 在籍段階別卒業後の進路希望（複数回答設問）

(Q12・57・58 参照)

区分		日本において進学希望	日本において就職希望	日本において起業希望	出身国において進学希望	出身国において就職・起業希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職・起業希望	まだ決めていない
大学院博士課程・博士後期課程	集計 pt	132	642	77	111	569	85	110	150
	集計 pt 率(%)	7.0	34.2	4.1	5.9	30.3	4.5	5.9	8.0
	人数 (人)	48	235	39	46	226	41	58	50
	率 (%)	10.1	49.7	8.2	9.7	47.8	8.7	12.3	10.6
大学院修士課程・博士前期課程	集計 pt	708	1,382	142	87	616	79	88	126
	集計 pt 率(%)	21.9	42.8	4.4	2.7	19.1	2.4	2.7	3.9
	人数 (人)	247	505	73	39	269	42	52	42
	率 (%)	29.8	60.8	8.8	4.7	32.4	5.1	6.3	5.1
専門職大学院課程	集計 pt	15	78	12	3	17	3	9	3
	集計 pt 率(%)	10.7	55.7	8.6	2.1	12.1	2.1	6.4	2.1
	人数 (人)	5	27	6	2	9	1	4	1
	率 (%)	13.9	75.0	16.7	5.6	25.0	2.8	11.1	2.8
大学院レベルの研究生	集計 pt	47	79	12	11	30	6	21	9
	集計 pt 率(%)	21.9	36.7	5.6	5.1	14.0	2.8	9.8	4.2
	人数 (人)	16	27	7	4	13	4	11	3
	率 (%)	29.6	50.0	13.0	7.4	24.1	7.4	20.4	5.6
学部正規課程	集計 pt	1,837	2,948	319	207	788	441	236	345
	集計 pt 率(%)	25.8	41.4	4.5	2.9	11.1	6.2	3.3	4.8
	人数 (人)	646	1,091	161	98	394	210	138	115
	率 (%)	36.3	61.4	9.1	5.5	22.2	11.8	7.8	6.5
学部レベルの研究生・聴講生	集計 pt	62	192	32	9	30	19	20	9
	集計 pt 率(%)	16.6	51.5	8.6	2.4	8.0	5.1	5.4	2.4
	人数 (人)	22	66	14	6	14	10	13	3
	率 (%)	22.7	68.0	14.4	6.2	14.4	10.3	13.4	3.1
短期大学	集計 pt	132	269	24	13	28	17	10	9
	集計 pt 率(%)	26.3	53.6	4.8	2.6	5.6	3.4	2.0	1.8
	人数 (人)	44	94	11	7	14	8	5	3
	率 (%)	30.6	65.3	7.6	4.9	9.7	5.6	3.5	2.1
専修学校（専門課程）	集計 pt	1,119	2,776	367	76	330	87	139	141
	集計 pt 率(%)	22.2	55.1	7.3	1.5	6.6	1.7	2.8	2.8
	人数 (人)	390	974	170	43	164	44	73	47
	率 (%)	28.0	69.9	12.2	3.1	11.8	3.2	5.2	3.4
準備教育課程	集計 pt	276	84	21	22	37	18	19	12
	集計 pt 率(%)	56.4	17.2	4.3	4.5	7.6	3.7	3.9	2.5
	人数 (人)	93	39	12	9	18	9	8	4
	率 (%)	72.7	30.5	9.4	7.0	14.1	7.0	6.3	3.1
日本語教育機関	集計 pt	4,016	1,807	282	133	426	180	124	210
	集計 pt 率(%)	55.9	25.2	3.9	1.9	5.9	2.5	1.7	2.9
	人数 (人)	1,357	711	158	64	221	96	79	70
	率 (%)	69.6	36.4	8.1	3.3	11.3	4.9	4.0	3.6
その他	集計 pt	113	243	48	24	48	19	22	33
	集計 pt 率(%)	20.5	44.2	8.7	4.4	8.7	3.5	4.0	6.0
	人数 (人)	39	87	25	10	24	9	12	11
	率 (%)	27.7	61.7	17.7	7.1	17.0	6.4	8.5	7.8
計	集計 pt	8,457	10,500	1,336	696	2,919	954	798	1,047
	集計 pt 率(%)	31.7	39.3	5.0	2.6	10.9	3.6	3.0	3.9
	人数 (人)	2,907	3,856	676	328	1,366	474	453	349
	率 (%)	41.4	54.9	9.6	4.7	19.4	6.7	6.4	5.0

- (注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、在籍段階別の集計 pt の計を 100 とした割合
2. 率は、第 1-4 表の在籍段階別の人数を 100 とした割合

第 13-3 表 専攻分野別卒業後の進路希望 (複数回答設問)

(Q16・57・58 参照)

区分		日本において進学希望	日本において就職希望	日本において起業希望	出身国において進学希望	出身国において就職・起業希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職・起業希望	まだ決めていない
人文科学	集計 pt	469	887	105	86	291	86	71	102
	集計 pt 率(%)	22.4	42.3	5.0	4.1	13.9	4.1	3.4	4.9
	人数 (人)	163	318	52	39	133	40	39	34
	率 (%)	29.7	57.9	9.5	7.1	24.2	7.3	7.1	6.2
社会科学	集計 pt	1,376	3,430	438	147	802	277	259	282
	集計 pt 率(%)	19.6	48.9	6.2	2.1	11.4	4.0	3.7	4.0
	人数 (人)	484	1,228	215	72	381	138	138	94
	率 (%)	26.6	67.5	11.8	4.0	21.0	7.6	7.6	5.2
理学	集計 pt	269	391	47	44	131	74	35	63
	集計 pt 率(%)	25.5	37.1	4.5	4.2	12.4	7.0	3.3	6.0
	人数 (人)	94	148	24	20	58	36	22	21
	率 (%)	35.9	56.5	9.2	7.6	22.1	13.7	8.4	8.0
工学	集計 pt	739	1,737	183	82	484	133	137	138
	集計 pt 率(%)	20.3	47.8	5.0	2.3	13.3	3.7	3.8	3.8
	人数 (人)	257	626	94	40	219	65	79	46
	率 (%)	27.5	67.0	10.1	4.3	23.4	7.0	8.4	4.9
農学	集計 pt	121	114	19	21	96	29	16	27
	集計 pt 率(%)	27.3	25.7	4.3	4.7	21.7	6.5	3.6	6.1
	人数 (人)	41	46	9	10	39	13	11	9
	率 (%)	37.3	41.8	8.2	9.1	35.5	11.8	10.0	8.2
医・歯学	集計 pt	64	149	11	67	127	37	19	21
	集計 pt 率(%)	12.9	30.1	2.2	13.5	25.7	7.5	3.8	4.2
	人数 (人)	24	57	5	25	54	19	10	7
	率 (%)	20.0	47.5	4.2	20.8	45.0	15.8	8.3	5.8
薬学	集計 pt	26	54	3	7	37	6	4	6
	集計 pt 率(%)	18.2	37.8	2.1	4.9	25.9	4.2	2.8	4.2
	人数 (人)	10	19	1	3	15	3	2	2
	率 (%)	26.3	50.0	2.6	7.9	39.5	7.9	5.3	5.3
家政	集計 pt	26	133	27	1	32	5	11	6
	集計 pt 率(%)	10.8	55.2	11.2	0.4	13.3	2.1	4.6	2.5
	人数 (人)	9	46	12	1	14	2	6	2
	率 (%)	13.8	70.8	18.5	1.5	21.5	3.1	9.2	3.1
教育	集計 pt	109	253	21	20	75	16	10	27
	集計 pt 率(%)	20.5	47.6	4.0	3.8	14.1	3.0	1.9	5.1
	人数 (人)	39	90	10	9	33	7	6	9
	率 (%)	27.1	62.5	6.9	6.3	22.9	4.9	4.2	6.3
日本語	集計 pt	4,919	2,436	388	169	585	221	174	264
	集計 pt 率(%)	53.7	26.6	4.2	1.8	6.4	2.4	1.9	2.9
	人数 (人)	1,665	951	209	83	298	117	105	88
	率 (%)	66.9	38.2	8.4	3.3	12.0	4.7	4.2	3.5
その他	集計 pt	339	916	94	52	259	70	62	111
	集計 pt 率(%)	17.8	48.1	4.9	2.7	13.6	3.7	3.3	5.8
	人数 (人)	121	327	45	26	122	34	35	37
	率 (%)	24.3	65.8	9.1	5.2	24.5	6.8	7.0	7.4
計	集計 pt	8,457	10,500	1,336	696	2,919	954	798	1,047
	集計 pt 率(%)	31.7	39.3	5.0	2.6	10.9	3.6	3.0	3.9
	人数 (人)	2,907	3,856	676	328	1,366	474	453	349
	率 (%)	41.4	54.9	9.6	4.7	19.4	6.7	6.4	5.0

- (注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、専攻分野別の集計 pt の計を 100 とした割合
2. 率は、第 1-5 表の専攻分野別の人数を 100 とした割合

「日本において就職希望」回答者の就職希望職種（第 13-4 表）としては、「翻訳・通訳」が 1,153 人（29.9%）で最も多く、次いで、「海外業務」が 1,084 人（28.1%）、「経営管理業務」973 人（25.2%）となっている。

第 13-4 表 「日本において就職希望」回答者の就職希望職種（複数回答設問）（Q59 参照）

区分	翻訳 通訳	海外業務	貿易業務	調査研究	教育	販売 営業	経営 管理業務	技術開発	情報処理	設計	その他	不明
集計 pt	2,755	2,408	1,861	924	1,110	1,778	1,988	2,137	1,197	933	1,110	—
集計 pt 率 (%)	15.1	13.2	10.2	5.1	6.1	9.8	10.9	11.7	6.6	5.1	6.1	—
人数 (人)	1,153	1,084	879	403	529	820	973	854	549	404	401	—
率 (%)	29.9	28.1	22.8	10.5	13.7	21.3	25.2	22.1	14.2	10.5	10.4	—
平成 29 年率 (%)	32.4	33.7	24.7	10.9	13.6	22.1	24.5	18.5	11.5	12.3	8.9	4.2
平成 27 年率 (%)	33.8	37.2	30.4	9.4	13.9	22.5	24.5	18.8	9.4	11.4	8.6	1.3

- (注) 1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者（7,025 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（3,856 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、
集計 pt 率は、集計 pt の計（18,201）を 100 とした割合
3. 率は、回答者数の計（3,856 人）を 100 とした割合

学年別日本語能力取得状況（第 13-5 表と第 13-6 表）を比較すると、「日本において就職希望」回答者の方が「日本において就職希望」回答者以外よりも、「N1」と「N2」の取得率が高い傾向にある。

第 13-5 表 「日本において就職希望」回答者の学年別日本語能力取得状況（全体）（Q13・14・57・58 参照）

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得して いない
1 年生	人数（人）	5	4	20	12	10	9	286	406	196	42	37	112
	率（％）	0.5	0.4	1.9	1.1	1.0	0.9	27.2	38.6	18.6	4.0	3.5	10.7
2 年生	人数（人）	4	12	29	17	7	4	286	534	255	41	37	133
	率（％）	0.3	1.0	2.3	1.4	0.6	0.3	22.8	42.5	20.3	3.3	2.9	10.6
3 年生	人数（人）	4	11	23	9	0	1	203	169	38	11	10	39
	率（％）	0.9	2.5	5.2	2.0	0.0	0.2	45.5	37.9	8.5	2.5	2.2	8.7
4 年生	人数（人）	1	3	12	3	1	1	139	88	14	5	5	14
	率（％）	0.4	1.3	5.0	1.3	0.4	0.4	58.4	37.0	5.9	2.1	2.1	5.9
5 年生	人数（人）	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0
	率（％）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 年生	人数（人）	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	1
	率（％）	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
修士 1 年生	人数（人）	1	1	5	0	0	0	112	75	16	5	9	41
	率（％）	0.4	0.4	2.0	0.0	0.0	0.0	45.3	30.4	6.5	2.0	3.6	16.6
修士 2 年生	人数（人）	2	8	3	1	1	0	127	82	10	5	7	29
	率（％）	0.8	3.1	1.2	0.4	0.4	0.0	49.6	32.0	3.9	2.0	2.7	11.3
博士 1 年生	人数（人）	0	0	0	0	0	1	32	15	3	2	4	26
	率（％）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	39.0	18.3	3.7	2.4	4.9	31.7
博士 2 年生	人数（人）	0	1	5	0	0	0	33	11	3	1	3	17
	率（％）	0.0	1.4	7.1	0.0	0.0	0.0	47.1	15.7	4.3	1.4	4.3	24.3
博士 3 年生	人数（人）	0	0	1	0	0	0	35	13	5	6	2	22
	率（％）	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	42.2	15.7	6.0	7.2	2.4	26.5
研究生・ 聴講生等	人数（人）	0	1	1	1	2	0	33	48	7	4	3	8
	率（％）	0.0	1.1	1.1	1.1	2.1	0.0	35.1	51.1	7.4	4.3	3.2	8.5
その他	人数（人）	0	0	1	0	1	0	4	14	2	2	1	1
	率（％）	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	16.7	58.3	8.3	8.3	4.2	4.2
計	人数（人）	17	41	100	44	22	16	1,293	1,459	549	124	118	443
	率（％）	0.4	1.1	2.6	1.1	0.6	0.4	33.5	37.8	14.2	3.2	3.1	11.5

（注）1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者（7,025 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（3,856 人）

2. 率は、「日本において就職希望」と回答した学年別の人数の計を 100 とした割合

第 13-6 表「日本において就職希望」回答者以外の学年別日本語能力取得状況（全体）（Q13・14・57・58 参照）

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得して いない
1 年生	人数 (人)	4	5	12	6	4	9	257	299	111	35	37	140
	率 (%)	0.5	0.6	1.4	0.7	0.5	1.1	30.0	34.9	13.0	4.1	4.3	16.4
2 年生	人数 (人)	5	9	25	17	9	8	349	497	208	39	44	135
	率 (%)	0.4	0.7	2.0	1.4	0.7	0.6	27.8	39.6	16.6	3.1	3.5	10.8
3 年生	人数 (人)	2	1	3	4	0	1	98	92	21	5	0	33
	率 (%)	0.8	0.4	1.2	1.7	0.0	0.4	40.5	38.0	8.7	2.1	0.0	13.6
4 年生	人数 (人)	0	4	8	0	1	3	103	42	5	3	0	14
	率 (%)	0.0	2.5	4.9	0.0	0.6	1.9	63.6	25.9	3.1	1.9	0.0	8.6
5 年生	人数 (人)	1	1	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1
	率 (%)	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3
6 年生	人数 (人)	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1
	率 (%)	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
修士 1 年生	人数 (人)	2	1	1	1	0	0	60	24	12	0	5	42
	率 (%)	1.4	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0	41.4	16.6	8.3	0.0	3.4	29.0
修士 2 年生	人数 (人)	4	6	2	0	0	0	91	26	11	6	4	36
	率 (%)	2.3	3.4	1.1	0.0	0.0	0.0	51.4	14.7	6.2	3.4	2.3	20.3
博士 1 年生	人数 (人)	3	1	0	1	0	0	24	8	2	3	2	44
	率 (%)	3.6	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	28.6	9.5	2.4	3.6	2.4	52.4
博士 2 年生	人数 (人)	1	1	0	1	0	1	14	6	4	2	4	35
	率 (%)	1.5	1.5	0.0	1.5	0.0	1.5	20.9	9.0	6.0	3.0	6.0	52.2
博士 3 年生	人数 (人)	2	1	0	0	1	0	18	13	4	6	3	42
	率 (%)	2.3	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	20.7	14.9	4.6	6.9	3.4	48.3
研究生・ 聴講生等	人数 (人)	0	0	4	0	0	0	21	25	5	2	1	7
	率 (%)	0.0	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0	35.6	42.4	8.5	3.4	1.7	11.9
その他	人数 (人)	0	0	1	0	1	0	7	8	3	3	0	4
	率 (%)	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	28.0	32.0	12.0	12.0	0.0	16.0
計	人数 (人)	24	30	56	31	16	22	1,044	1,042	388	104	100	534
	率 (%)	0.8	0.9	1.8	1.0	0.5	0.7	32.9	32.9	12.2	3.3	3.2	16.9

(注) 1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者（7,025 人）のうち、「日本において就職希望」と回答しなかった数（3,169 人）

2. 率は、「日本において就職希望」と回答しなかった学年別の人数の計を 100 とした割合

学年別日本語能力取得予定（第 13-7 表と第 13-8 表）を比較すると、「日本において就職希望」回答者、「日本において就職希望」回答者以外とも、「N1」が一番多く、また、「日本において就職希望」回答者の方が「日本において就職希望」回答者以外よりも、「N1」と「N2」の取得予定率が高い傾向にある。

第 13-7 表 「日本において就職希望」回答者の学年別日本語能力取得予定（全体）（Q13・15・57・58 参照）

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得する 予定がない
1 年生	人数 (人)	82	45	24	7	3	3	500	220	34	5	1	221
	率 (%)	7.8	4.3	2.3	0.7	0.3	0.3	47.6	20.9	3.2	0.5	0.1	21.0
2 年生	人数 (人)	81	66	26	7	4	5	644	295	30	4	6	211
	率 (%)	6.4	5.3	2.1	0.6	0.3	0.4	51.3	23.5	2.4	0.3	0.5	16.8
3 年生	人数 (人)	69	37	10	1	0	2	185	44	7	0	0	137
	率 (%)	15.5	8.3	2.2	0.2	0.0	0.4	41.5	9.9	1.6	0.0	0.0	30.7
4 年生	人数 (人)	21	13	2	0	0	0	96	8	0	0	0	108
	率 (%)	8.8	5.5	0.8	0.0	0.0	0.0	40.3	3.4	0.0	0.0	0.0	45.4
5 年生	人数 (人)	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1
	率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
6 年生	人数 (人)	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	率 (%)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
修士 1 年生	人数 (人)	22	6	1	2	2	2	84	28	19	3	3	97
	率 (%)	8.9	2.4	0.4	0.8	0.8	0.8	34.0	11.3	7.7	1.2	1.2	39.3
修士 2 年生	人数 (人)	37	9	3	3	1	0	78	24	15	7	4	98
	率 (%)	14.5	3.5	1.2	1.2	0.4	0.0	30.5	9.4	5.9	2.7	1.6	38.3
博士 1 年生	人数 (人)	9	1	0	0	0	0	30	17	6	4	3	24
	率 (%)	11.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	36.6	20.7	7.3	4.9	3.7	29.3
博士 2 年生	人数 (人)	5	4	0	0	0	0	12	11	3	2	2	36
	率 (%)	7.1	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	17.1	15.7	4.3	2.9	2.9	51.4
博士 3 年生	人数 (人)	6	1	0	2	0	0	25	12	12	0	0	35
	率 (%)	7.2	1.2	0.0	2.4	0.0	0.0	30.1	14.5	14.5	0.0	0.0	42.2
研究生・ 聴講生等	人数 (人)	11	10	2	0	0	0	47	10	2	0	0	22
	率 (%)	11.7	10.6	2.1	0.0	0.0	0.0	50.0	10.6	2.1	0.0	0.0	23.4
その他	人数 (人)	1	1	2	0	0	0	15	4	0	0	0	2
	率 (%)	4.2	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	62.5	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3
計	人数 (人)	345	193	70	22	10	12	1,720	674	128	25	19	994
	率 (%)	8.9	5.0	1.8	0.6	0.3	0.3	44.6	17.5	3.3	0.6	0.5	25.8

(注) 1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者（7,025 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（3,856 人）

2. 率は、「日本において就職希望」と回答した学年別の人数の計を 100 とした割合

第 13-8 表 「日本において就職希望」回答者以外の学年別日本語能力取得予定（全体）（Q13・15・57・58 参照）

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得する 予定がない
1 年生	人数（人）	53	24	7	7	1	1	425	158	35	5	3	199
	率（％）	6.2	2.8	0.8	0.8	0.1	0.1	49.6	18.5	4.1	0.6	0.4	23.2
2 年生	人数（人）	92	50	14	6	1	2	593	226	58	4	2	284
	率（％）	7.3	4.0	1.1	0.5	0.1	0.2	47.3	18.0	4.6	0.3	0.2	22.6
3 年生	人数（人）	21	10	3	2	0	0	120	23	2	0	0	74
	率（％）	8.7	4.1	1.2	0.8	0.0	0.0	49.6	9.5	0.8	0.0	0.0	30.6
4 年生	人数（人）	32	15	2	1	1	0	56	3	2	1	0	65
	率（％）	19.8	9.3	1.2	0.6	0.6	0.0	34.6	1.9	1.2	0.6	0.0	40.1
5 年生	人数（人）	0	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	3
	率（％）	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9
6 年生	人数（人）	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	率（％）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0
修士 1 年生	人数（人）	12	4	3	0	0	0	33	19	12	0	3	69
	率（％）	8.3	2.8	2.1	0.0	0.0	0.0	22.8	13.1	8.3	0.0	2.1	47.6
修士 2 年生	人数（人）	17	7	0	0	0	0	43	16	9	3	0	89
	率（％）	9.6	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.3	9.0	5.1	1.7	0.0	50.3
博士 1 年生	人数（人）	6	1	0	0	0	0	15	13	10	5	1	36
	率（％）	7.1	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	17.9	15.5	11.9	6.0	1.2	42.9
博士 2 年生	人数（人）	4	1	2	2	0	0	13	10	8	2	1	28
	率（％）	6.0	1.5	3.0	3.0	0.0	0.0	19.4	14.9	11.9	3.0	1.5	41.8
博士 3 年生	人数（人）	1	1	1	1	0	1	16	15	10	1	7	38
	率（％）	1.1	1.1	1.1	1.1	0.0	1.1	18.4	17.2	11.5	1.1	8.0	43.7
研究生・ 聴講生等	人数（人）	6	5	3	0	0	0	25	5	2	1	1	20
	率（％）	10.2	8.5	5.1	0.0	0.0	0.0	42.4	8.5	3.4	1.7	1.7	33.9
その他	人数（人）	2	0	0	0	0	0	10	5	2	0	0	8
	率（％）	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	8.0	0.0	0.0	32.0
計	人数（人）	246	118	36	19	3	5	1,352	495	150	22	18	915
	率（％）	7.8	3.7	1.1	0.6	0.1	0.2	42.7	15.6	4.7	0.7	0.6	28.9

（注）1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者（7,025 人）のうち、「日本において就職希望」と回答しなかった数（3,169 人）

2. 率は、「日本において就職希望」と回答しなかった学年別の人数の計を 100 とした割合

在籍段階別日本での就職希望職種（第 13-10 表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」は、「調査研究」が最も多く、次いで「教育」、「技術開発」と専門知識を活かせると思われる分野をあげている。

第 13-9 表 在籍段階別の「日本において就職希望」回答者（Q12・57・58 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 （専門課 程）	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数（人）	235	505	27	27	1,091	66	94	974	39	711	87	3,856
率（％）	6.1	13.1	0.7	0.7	28.3	1.7	2.4	25.3	1.0	18.4	2.3	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者（7,025 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（3,856 人）

2. 率は、回答者数の計（3,856 人）を 100 とした割合

第 13-10 表 在籍段階別日本での就職希望職種（複数回答設問）

（Q12・59 参照）

区分		翻訳 通訳	海外 業務	貿易 業務	調査 研究	教育	販売 営業	経営 管理業務	技術 開発	情報 処理	設計	その他
大学院博士 課程 ・ 博士後期課程	集計 pt	81	102	24	304	276	22	48	209	47	19	26
	集計 pt 率 (%)	7.0	8.8	2.1	26.3	23.8	1.9	4.1	18.0	4.1	1.6	2.2
	人数 (人)	39	51	13	122	115	12	24	95	26	11	11
	率 (%)	16.6	21.7	5.5	51.9	48.9	5.1	10.2	40.4	11.1	4.7	4.7
大学院修士 課程 ・ 博士前期課程	集計 pt	212	430	257	247	187	147	226	405	192	114	76
	集計 pt 率 (%)	8.5	17.2	10.3	9.9	7.5	5.9	9.1	16.2	7.7	4.6	3.0
	人数 (人)	102	184	120	105	87	75	116	159	92	54	29
	率 (%)	20.2	36.4	23.8	20.8	17.2	14.9	23.0	31.5	18.2	10.7	5.7
専門職大学院 課程	集計 pt	4	14	8	0	10	24	33	16	3	3	5
	集計 pt 率 (%)	3.3	11.7	6.7	0.0	8.3	20.0	27.5	13.3	2.5	2.5	4.2
	人数 (人)	3	5	5	0	4	10	14	6	1	1	2
	率 (%)	11.1	18.5	18.5	0.0	14.8	37.0	51.9	22.2	3.7	3.7	7.4
大学院レベル の 研究生	集計 pt	24	19	20	8	9	14	5	14	4	0	5
	集計 pt 率 (%)	19.7	15.6	16.4	6.6	7.4	11.5	4.1	11.5	3.3	0.0	4.1
	人数 (人)	10	8	8	3	4	6	3	6	2	0	2
	率 (%)	37.0	29.6	29.6	11.1	14.8	22.2	11.1	22.2	7.4	0.0	7.4
学部正規課程	集計 pt	796	974	703	204	275	453	721	475	335	268	337
	集計 pt 率 (%)	14.4	17.6	12.7	3.7	5.0	8.2	13.0	8.6	6.0	4.8	6.1
	人数 (人)	363	432	333	100	136	228	365	194	156	117	121
	率 (%)	33.3	39.6	30.5	9.2	12.5	20.9	33.5	17.8	14.3	10.7	11.1
学部レベルの 研究生・聴講生	集計 pt	59	50	39	5	10	42	22	33	25	16	11
	集計 pt 率 (%)	18.9	16.0	12.5	1.6	3.2	13.5	7.1	10.6	8.0	5.1	3.5
	人数 (人)	24	23	17	2	4	22	13	12	10	7	4
	率 (%)	36.4	34.8	25.8	3.0	6.1	33.3	19.7	18.2	15.2	10.6	6.1
短期大学	集計 pt	97	43	71	3	8	43	43	42	6	6	47
	集計 pt 率 (%)	23.7	10.5	17.4	0.7	2.0	10.5	10.5	10.3	1.5	1.5	11.5
	人数 (人)	36	19	32	1	4	21	21	17	3	3	17
	率 (%)	38.3	20.2	34.0	1.1	4.3	22.3	22.3	18.1	3.2	3.2	18.1
専修学校 (専門課程)	集計 pt	792	348	354	36	109	624	390	541	374	260	372
	集計 pt 率 (%)	18.9	8.3	8.4	0.9	2.6	14.9	9.3	12.9	8.9	6.2	8.9
	人数 (人)	303	166	169	18	58	266	190	209	158	108	130
	率 (%)	31.1	17.0	17.4	1.8	6.0	27.3	19.5	21.5	16.2	11.1	13.3
準備教育課程	集計 pt	30	22	20	17	7	16	30	17	4	10	17
	集計 pt 率 (%)	15.8	11.6	10.5	8.9	3.7	8.4	15.8	8.9	2.1	5.3	8.9
	人数 (人)	13	12	10	7	4	6	14	6	2	5	6
	率 (%)	33.3	30.8	25.6	17.9	10.3	15.4	35.9	15.4	5.1	12.8	15.4
日本語教育機関	集計 pt	583	353	317	92	205	318	422	366	177	212	191
	集計 pt 率 (%)	18.0	10.9	9.8	2.8	6.3	9.8	13.0	11.3	5.5	6.6	5.9
	人数 (人)	228	157	151	41	106	139	191	141	86	88	71
	率 (%)	32.1	22.1	21.2	5.8	14.9	19.5	26.9	19.8	12.1	12.4	10.0
その他	集計 pt	77	53	48	8	14	75	48	19	30	25	23
	集計 pt 率 (%)	18.3	12.6	11.4	1.9	3.3	17.9	11.4	4.5	7.1	6.0	5.5
	人数 (人)	32	27	21	4	7	35	22	9	13	10	8
	率 (%)	36.8	31.0	24.1	4.6	8.0	40.2	25.3	10.3	14.9	11.5	9.2
計	集計 pt	2,755	2,408	1,861	924	1,110	1,778	1,988	2,137	1,197	933	1,110
	集計 pt 率 (%)	15.1	13.2	10.2	5.1	6.1	9.8	10.9	11.7	6.6	5.1	6.1
	人数 (人)	1,153	1,084	879	403	529	820	973	854	549	404	401
	率 (%)	29.9	28.1	22.8	10.5	13.7	21.3	25.2	22.1	14.2	10.5	10.4

- (注) 1. 有効回答者数は、第 13-1 表の回答者（7,025 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（3,856 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、在籍段階別の集計 pt の計を 100 とした割合
3. 率は、第 13-9 表の在籍段階別の人数を 100 とした割合

第 13-11 表 専攻分野別における「日本において就職希望」回答者の構成比率及び割合

(Q16・57・58 参照)

区分	人文 科学	社会 科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	日本語	その他	計
希望者数 (人)	318	1,228	148	626	46	57	19	46	90	951	327	3,856
構成比率 (%)	8.2	31.8	3.8	16.2	1.2	1.5	0.5	1.2	2.3	24.7	8.5	100.0
総数 (人)	549	1,818	262	935	110	120	38	65	144	2,487	497	7,025
希望者割合 (%)	57.9	67.5	56.5	67.0	41.8	47.5	50.0	70.8	62.5	38.2	65.8	54.9

(注) 1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者 (7,025 人) のうち、「日本において就職希望」と回答した数 (3,856 人)

2. 「構成比率」は、回答者数の計 (3,856 人) を 100 とした割合

3. 「希望者割合」は、第 1-5 表の専攻分野別の人数を 100 とした割合

専攻分野別就職希望職種 (第 13-12 表) を見ると、「理学」、「工学」、「農学」では「技術開発」が最も多い。また、「人文科学」、「医・歯学」、「薬学」(※)、「教育」、「日本語」では「翻訳・通訳」が最も多く、「社会科学」では「経営管理業務」、「家政」では「設計」が最も多い。

※「薬学」では「翻訳・通訳」と「販売営業」が同数となっている。

第 13-12 表 専攻分野別就職希望職種 (複数回答設問)

(Q16・59 参照)

区分		翻訳 通訳	海外 業務	貿易 業務	調査 研究	教育	販売 営業	経営 管理業務	技術 開発	情報 処理	設計	その他
人文科学	集計 pt	445	268	183	82	164	154	131	34	43	36	39
	集計pt率(%)	28.2	17.0	11.6	5.2	10.4	9.8	8.3	2.2	2.7	2.3	2.5
	人数 (人)	183	119	88	41	79	75	63	16	19	15	14
	率 (%)	57.5	37.4	27.7	12.9	24.8	23.6	19.8	5.0	6.0	4.7	4.4
社会科学	集計 pt	845	1,101	1,012	151	277	789	1,001	182	295	63	323
	集計pt率(%)	14.0	18.2	16.8	2.5	4.6	13.1	16.6	3.0	4.9	1.0	5.3
	人数 (人)	363	477	469	71	127	359	503	78	137	30	117
	率 (%)	29.6	38.8	38.2	5.8	10.3	29.2	41.0	6.4	11.2	2.4	9.5
理学	集計 pt	46	59	25	157	32	30	31	184	98	28	20
	集計pt率(%)	6.5	8.3	3.5	22.1	4.5	4.2	4.4	25.9	13.8	3.9	2.8
	人数 (人)	21	30	12	62	16	16	16	77	43	15	7
	率 (%)	14.2	20.3	8.1	41.9	10.8	10.8	10.8	52.0	29.1	10.1	4.7
工学	集計 pt	155	197	73	273	138	117	112	1,053	410	271	95
	集計pt率(%)	5.4	6.8	2.5	9.4	4.8	4.0	3.9	36.4	14.2	9.4	3.3
	人数 (人)	83	97	38	114	68	58	58	407	183	126	34
	率 (%)	13.3	15.5	6.1	18.2	10.9	9.3	9.3	65.0	29.2	20.1	5.4
農学	集計 pt	11	35	12	48	20	4	17	50	9	11	14
	集計pt率(%)	4.8	15.2	5.2	20.8	8.7	1.7	7.4	21.6	3.9	4.8	6.1
	人数 (人)	5	16	7	18	10	4	7	22	6	5	5
	率 (%)	10.9	34.8	15.2	39.1	21.7	8.7	15.2	47.8	13.0	10.9	10.9
医・歯学	集計 pt	40	20	9	33	30	13	11	19	7	1	62
	集計pt率(%)	16.3	8.2	3.7	13.5	12.2	5.3	4.5	7.8	2.9	0.4	25.3
	人数 (人)	14	11	5	12	13	7	5	9	3	1	23
	率 (%)	24.6	19.3	8.8	21.1	22.8	12.3	8.8	15.8	5.3	1.8	40.4
薬学	集計 pt	19	13	0	8	1	15	6	5	0	0	21
	集計pt率(%)	21.6	14.8	0.0	9.1	1.1	17.0	6.8	5.7	0.0	0.0	23.9
	人数 (人)	8	7	0	3	1	8	3	2	0	0	7
	率 (%)	42.1	36.8	0.0	15.8	5.3	42.1	15.8	10.5	0.0	0.0	36.8
家政	集計 pt	18	16	14	9	6	21	7	23	3	46	26
	集計pt率(%)	9.5	8.5	7.4	4.8	3.2	11.1	3.7	12.2	1.6	24.3	13.8
	人数 (人)	7	8	5	3	4	9	4	11	1	17	9
	率 (%)	15.2	17.4	10.9	6.5	8.7	19.6	8.7	23.9	2.2	37.0	19.6
教育	集計 pt	101	41	34	19	110	51	29	7	12	10	10
	集計pt率(%)	23.8	9.7	8.0	4.5	25.9	12.0	6.8	1.7	2.8	2.4	2.4
	人数 (人)	46	20	15	10	43	25	13	3	6	4	4
	率 (%)	51.1	22.2	16.7	11.1	47.8	27.8	14.4	3.3	6.7	4.4	4.4
日本語	集計 pt	892	490	422	114	274	481	538	435	212	243	259
	集計pt率(%)	20.5	11.2	9.7	2.6	6.3	11.0	12.3	10.0	4.9	5.6	5.9
	人数 (人)	343	224	205	54	139	212	249	169	102	104	97
	率 (%)	36.1	23.6	21.6	5.7	14.6	22.3	26.2	17.8	10.7	10.9	10.2
その他	集計 pt	183	168	77	30	58	103	105	145	108	224	241
	集計pt率(%)	12.7	11.7	5.3	2.1	4.0	7.1	7.3	10.1	7.5	15.5	16.7
	人数 (人)	80	75	35	15	29	47	52	60	49	87	84
	率 (%)	24.5	22.9	10.7	4.6	8.9	14.4	15.9	18.3	15.0	26.6	25.7
計	集計 pt	2,755	2,408	1,861	924	1,110	1,778	1,988	2,137	1,197	933	1,110
	集計pt率(%)	15.1	13.2	10.2	5.1	6.1	9.8	10.9	11.7	6.6	5.1	6.1
	人数 (人)	1,153	1,084	879	403	529	820	973	854	549	404	401
	率 (%)	29.9	28.1	22.8	10.5	13.7	21.3	25.2	22.1	14.2	10.5	10.4

- (注) 1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者 (7,025 人) のうち、「日本において就職希望」と回答した数 (3,856 人)
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、専攻分野別の集計 pt の計を 100 とした割合
3. 率は、第 13-11 表の専攻分野別の人数を 100 とした割合

在籍段階別日本での就職後の将来（第 13-13 表）としては、「大学院博士課程・博士後期課程」、「大学院修士課程・博士前期課程」、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」、「準備教育課程」、「日本語教育機関」においては「日本で永久に働きたい」が最も多く、「学部正規課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」、「その他」においては、「日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい」が最も多く、それ以外の在籍段階では、「まだ決めていない」が最も多くなっている。

第 13-13 表 在籍段階別日本での就職後の将来

（Q12・60 参照）

区分		日本で永久に働きたい	日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい	日本で働いた後、将来は日本、出身国以外で就職したい	まだ決めていない	不明
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	77	75	11	72	—
	率（％）	32.8	31.9	4.7	30.6	—
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	181	144	28	152	—
	率（％）	35.8	28.5	5.5	30.1	—
専門職大学院課程	人数（人）	7	7	5	8	—
	率（％）	25.9	25.9	18.5	29.6	—
大学院レベルの研究生	人数（人）	7	6	4	10	—
	率（％）	25.9	22.2	14.8	37.0	—
学部正規課程	人数（人）	343	344	107	297	—
	率（％）	31.4	31.5	9.8	27.2	—
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	20	27	6	13	—
	率（％）	30.3	40.9	9.1	19.7	—
短期大学	人数（人）	36	34	5	19	—
	率（％）	38.3	36.2	5.3	20.2	—
専修学校（専門課程）	人数（人）	441	303	56	174	—
	率（％）	45.3	31.1	5.7	17.9	—
準備教育課程	人数（人）	17	10	3	9	—
	率（％）	43.6	25.6	7.7	23.1	—
日本語教育機関	人数（人）	289	216	57	149	—
	率（％）	40.6	30.4	8.0	21.0	—
その他	人数（人）	30	32	6	19	—
	率（％）	34.5	36.8	6.9	21.8	—
計	人数（人）	1,448	1,198	288	922	—
	率（％）	37.6	31.1	7.5	23.9	—
	平成 29 年率（％）	33.5	35.6	7.3	18.4	5.1
	平成 27 年率（％）	31.6	37.8	9.5	17.8	3.3

（注）1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者（7,025 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（3,856 人）
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

就職活動時の要望（第 13-14 表）としては、「在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化」と回答した者が 2,076 人（53.8%）で一番多くなっている。

第 13-14 表 就職活動時の要望（複数回答設問）

（Q61 参照）

区分		在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化	在留資格の変更が弾力的に認められるよう規制緩和	留学生を対象とした就職に関する情報の充実	学校における留学生を対象とした就職説明会の充実	学校の留学生に対する就職相談窓口の充実	企業においてもっと留学生を対象とした就職説明会を開催してほしい	留学生を対象としたインターンシップの充実	その他	不明
高等教育機関	集計 pt	4,319	2,175	3,805	1,697	1,122	1,900	1,531	91	—
	集計 pt 率 (%)	26.0	13.1	22.9	10.2	6.7	11.4	9.2	0.5	—
	人数 (人)	1,677	1,028	1,687	837	631	1,055	837	34	—
	率 (%)	53.3	32.7	53.6	26.6	20.1	33.5	26.6	1.1	—
日本語教育機関	集計 pt	1,078	577	766	361	287	321	213	21	—
	集計 pt 率 (%)	29.7	15.9	21.1	10.0	7.9	8.9	5.9	0.6	—
	人数 (人)	399	261	357	172	156	193	122	9	—
	率 (%)	56.1	36.7	50.2	24.2	21.9	27.1	17.2	1.3	—
計	集計 pt	5,397	2,752	4,571	2,058	1,409	2,221	1,744	112	—
	集計 pt 率 (%)	26.6	13.6	22.6	10.2	7.0	11.0	8.6	0.6	—
	人数 (人)	2,076	1,289	2,044	1,009	787	1,248	959	43	—
	率 (%)	53.8	33.4	53.0	26.2	20.4	32.4	24.9	1.1	—
	平成 29 年率 (%)	51.7	34.1	51.6	25.0	19.0	35.6	28.9	1.5	4.4
	平成 27 年率 (%)	50.3	36.1	53.2	26.0	20.7	36.4	28.5	1.9	2.5

- （注） 1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者（7,025 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（3,856 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（高等教育機関（16,640）・日本語教育機関（3,624））をそれぞれ 100 とした割合
3. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関（3,145 人）・日本語教育機関（711 人）別にそれぞれ 100 とした割合

就職にあたっての不安(第 13-15 表)としては、「自分の日本語が通じるかどうか」が 2,027 人(52.6%)で一番多く、「職場で良い人間関係を作れるかどうか」が 1,968 人(51.0%)、「希望する仕事につけるかどうか」が 1,363 人(35.3%)と続く。

第 13-15 表 就職にあたっての不安 (複数回答設問)

(Q62 参照)

区分		職場で良い人間関係を作れるかどうか	自分の日本語が通じるかどうか	希望する仕事につけるかどうか	日本の商慣習になじめるかどうか	顧客対応が問題なくできるかどうか	ビジネスマナーで失敗しないかどうか	どのような人事評価制度なのか	勤務地がどこになるか	適切に仕事を進められるかどうか
高等教育機関	集計 pt	4,101	3,975	2,460	966	614	929	293	382	503
	集計 pt 率 (%)	23.5	22.8	14.1	5.5	3.5	5.3	1.7	2.2	2.9
	人数 (人)	1,641	1,594	1,128	529	363	529	180	239	303
	率 (%)	52.2	50.7	35.9	16.8	11.5	16.8	5.7	7.6	9.6
日本語教育機関	集計 pt	834	1,120	470	280	111	167	70	53	111
	集計 pt 率 (%)	21.7	29.2	12.2	7.3	2.9	4.3	1.8	1.4	2.9
	人数 (人)	327	433	235	147	68	98	43	33	67
	率 (%)	46.0	60.9	33.1	20.7	9.6	13.8	6.0	4.6	9.4
計	集計 pt	4,935	5,095	2,930	1,246	725	1,096	363	435	614
	集計 pt 率 (%)	23.2	23.9	13.8	5.9	3.4	5.2	1.7	2.0	2.9
	人数 (人)	1,968	2,027	1,363	676	431	627	223	272	370
	率 (%)	51.0	52.6	35.3	17.5	11.2	16.3	5.8	7.1	9.6
	平成 29 年率 (%)	48.8	48.5	35.1	16.3	12.3	17.4	6.8	7.5	10.4
	平成 27 年率 (%)	50.4	49.0	34.2	18.0	13.3	15.7	7.2	7.5	12.5

区分		労働時間が長くないかどうか	給与・待遇が悪くないかどうか	自分の専門知識が役立つかどうか	キャリアパスがどうなるか	生活習慣の違いになじめるかどうか	不安はない	その他	不明
高等教育機関	集計 pt	574	1,121	787	296	150	219	63	—
	集計 pt 率 (%)	3.3	6.4	4.5	1.7	0.9	1.3	0.4	—
	人数 (人)	345	678	467	185	100	73	28	—
	率 (%)	11.0	21.6	14.8	5.9	3.2	2.3	0.9	—
日本語教育機関	集計 pt	110	213	128	49	45	69	12	—
	集計 pt 率 (%)	2.9	5.5	3.3	1.3	1.2	1.8	0.3	—
	人数 (人)	70	133	78	33	33	23	4	—
	率 (%)	9.8	18.7	11.0	4.6	4.6	3.2	0.6	—
計	集計 pt	684	1,334	915	345	195	288	75	—
	集計 pt 率 (%)	3.2	6.3	4.3	1.6	0.9	1.4	0.4	—
	人数 (人)	415	811	545	218	133	96	32	—
	率 (%)	10.8	21.0	14.1	5.7	3.4	2.5	0.8	—
	平成 29 年率 (%)	13.2	21.9	16.5	4.6	2.7	1.5	0.6	3.7
	平成 27 年率 (%)	10.8	21.3	19.1	4.6	2.4	1.6	0.7	2.1

- (注) 1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者(7,025 人)のうち、「日本において就職希望」と回答した数(3,856 人)
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計(高等教育機関(17,433)・日本語教育機関(3,842))をそれぞれ 100 とした割合
3. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関(3,145 人)・日本語教育機関(711 人)別にそれぞれ 100 とした割合

就職期間（第 13-16 表）としては、「10 年以上」が 1,402 人（36.4%）で一番多くなっている。

第 13-16 表 就職期間

（Q63 参照）

区分		1 年未満	1 年～3 年 未満	3 年～5 年 未満	5 年～10 年 未満	10 年以上	不明	計
高等教育機関	人数（人）	25	400	739	798	1,183	—	3,145
	率（%）	0.8	12.7	23.5	25.4	37.6	—	100.0
	平成 29 年率（%）	1.3	13.1	23.7	23.9	34.3	3.6	100.0
	平成 27 年率（%）	1.5	13.7	25.1	24.0	33.5	2.2	100.0
日本語教育機関	人数（人）	15	113	179	185	219	—	711
	率（%）	2.1	15.9	25.2	26.0	30.8	—	100.0
	平成 29 年率（%）	3.3	16.1	26.1	20.3	27.3	6.9	100.0
	平成 27 年率（%）	1.7	18.3	24.6	22.9	27.2	5.4	100.0
計	人数（人）	40	513	918	983	1,402	—	3,856
	率（%）	1.0	13.3	23.8	25.5	36.4	—	100.0
	平成 29 年率（%）	1.7	13.8	24.2	23.2	32.8	4.3	100.0
	平成 27 年率（%）	1.5	14.7	25.0	23.7	32.2	2.8	100.0

- （注）1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者（7,025 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（3,856 人）
2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関・日本語教育機関別にそれぞれ 100 とした割合

インターンシップ参加の有無（第 13-17 表）としては、「参加したい」が 2,730 人（70.8%）で一番多くなっている。

第 13-17 表 インターンシップ参加の有無

（Q64 参照）

区分		参加したい	既に参加した、 または現在参加 している	不参加	不明	計
高等教育機関	人数（人）	2,193	527	425	—	3,145
	率（%）	69.7	16.8	13.5	—	100.0
	平成 29 年率（%）	74.3	11.9	11.0	2.8	100.0
	平成 27 年率（%）	75.5	11.3	11.4	1.9	100.0
日本語教育機関	人数（人）	537	30	144	—	711
	率（%）	75.5	4.2	20.3	—	100.0
	平成 29 年率（%）	75.5	4.1	12.5	7.9	100.0
	平成 27 年率（%）	79.8	4.6	10.9	4.7	100.0
計	人数（人）	2,730	557	569	—	3,856
	率（%）	70.8	14.4	14.8	—	100.0
	平成 29 年率（%）	74.6	10.3	11.3	3.9	100.0
	平成 27 年率（%）	76.3	9.9	11.3	2.4	100.0

- （注）1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者（7,025 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（3,856 人）
2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関・日本語教育機関別にそれぞれ 100 とした割合

インターンシップ参加有無理由（第 13-18 表）としては、「就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから」が 1,424 人（43.3%）で一番多く、次いで「就職が有利になりそうだから」が 1,315 人（40.0%）となっている。

第 13-18 表 インターンシップ参加理由

（Q65 参照）

区分		就職が有利になりそうだから	日本語の習得や自分の学習に役立ちそうだから	就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから	不明	計
高等教育機関	人数（人）	1,081	422	1,217	—	2,720
	率（%）	39.7	15.5	44.7	—	100.0
	平成 29 年率（%）	37.5	15.9	45.1	1.5	100.0
	平成 27 年率（%）	36.5	15.8	46.0	1.8	100.0
日本語教育機関	人数（人）	234	126	207	—	567
	率（%）	41.3	22.2	36.5	—	100.0
	平成 29 年率（%）	37.7	29.7	30.0	2.6	100.0
	平成 27 年率（%）	37.5	24.8	34.9	2.7	100.0
計	人数（人）	1,315	548	1,424	—	3,287
	率（%）	40.0	16.7	43.3	—	100.0
	平成 29 年率（%）	37.6	18.6	42.1	1.7	100.0
	平成 27 年率（%）	36.7	17.6	43.8	2.0	100.0

（注） 1. 有効回答者は、第 13-17 表の回答者（7,025 人）のうち、「参加したい」「既に参加した、または現在参加している」のいずれかを回答した数（3,287 人）

2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関・日本語教育機関別にそれぞれ 100 とした割合

参考資料

令和元年度 私費外国人留学生生活実態調査

アンケート用紙

本調査につきまして、オンライン画面上でアンケート入力を行います。アンケート内容の各設問につきまして、下記の記載内容になりますので参考にしてください。この用紙でのアンケートの回答及び提出は不要です。オンライン画面上の内容と若干異なる箇所等がございますが、ご了承ください。

For this survey, you will enter a questionnaire on the online screen. Please refer to the following content for each question in the questionnaire. You do not need to submit a survey without completing the survey. Please note that there are some differences from the content on the online screen.

れいわがんねんど し ひ がいこくじんりゅうがくせいせいかつじったいちようさ 令和元年度私費外国人留学生生活実態調査

アンケート内容（参考）

Lifestyle Survey of Privately Financed International Students

Questionnaire (reference)

どくりつぎょうせいほうじんにほんがくせいしえんきこう
独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）は、がくしゅうしょうれいひ しきゅう にほんりゅうがくしけん じっし しゅうしよく
奨励金の支給、日本留学試験の実施、就職
情報の提供など、日本にいられている留学生の皆さんを支援している団体です。

このアンケートは、皆さん、そしてこれから日本へ来られる留学生のための援助事業に役立てるためのものです。

アンケートには、あなたのお名前や学校名などを入 力 する必要はありません。あなたのプライバシーは侵害されませんので、ご 協 力 をお願いします。

Japan Student Services Organization (JASSO) is an organization which offers enhanced support programs : providing scholarships to international students, administering “Examination for Japanese University Admission for International Students” and offering employment information.

This questionnaire is for using for the assistance of various support programs for international students in Japan and prospective students.

It is not necessary to fill in your name and your school. We ask your kind cooperation.

アンケート

Questionnaire

【あなたのことについてお聞きします。 About yourself】

Q 1. あなたの性別はどちらですか。 Please select your gender.

1. 男 Male 2. 女 Female

Q 2. あなたの出身国・地域はどこですか。(その他の人は、国名を入力してください。)

Please select your home country or region. (If you select "Others", please fill in the name of your home country or region.)

1. 中国 China 2. 韓国 Korea 3. 台湾 Taiwan 4. ベトナム Vietnam
5. ネパール Nepal 6. マレーシア Malaysia 7. インドネシア Indonesia 8. タイ Thailand 9. アメリカ United States
10. ミャンマー Myanmar 11. モンゴル Mongolia
12. バングラデシュ Bangladesh 13. フランス France 14. スリランカ Sri Lanka
15. ドイツ Germany 16. インド India 17. フィリピン Philippines
18. イギリス Great Britain 19. サウジアラビア Saudi Arabia
20. オーストラリア Australia 21. ロシア Russia 22. カンボジア Cambodia
23. カナダ Canada 24. ブラジル Brazil 25. スウェーデン Sweden
26. ラオス Laos 27. イラン Iran 28. エジプト Egypt
29. シンガポール Singapore 30. ウズベキスタン Uzbekistan 31. その他 Others

Q 3. 留学の目的は何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

What is the purpose of your study? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 学位を取得するため To obtain an academic degree
2. 教養を身につけるため To acquire culture
3. 就職に必要な技能や知識を身につけるため To obtain skills and knowledge for future career development
4. 日本で働く、もしくは日本企業に就職するため To work in Japan or to find a Job in a Japanese company
5. 国際的な経験をつんで国際的な人脈を作るため To make an international network
6. 国際的な考え方を身につけるため To acquire a wide perspective
7. 良い環境で研究を行うため To research in good academic environment
8. 日本語の能力を高めるため To improve yourself in Japanese ability
9. 異文化に接するため To experience a different culture
10. その他 Others

【日本に留学する前のことについてお聞きます。 Before studying in Japan】

Q 4. 日本に留学先として選んだ理由は何でしたか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

Why did you decide to study in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 日本社会に興味があり、日本で生活したかったため
Interested in Japanese society and wanted to live in Japan
2. 日本の大学等の教育や研究が魅力的と思ったため
Felt that education and research in Japanese universities were attractive
3. 地理的に近い
Geographically close to Japan
4. 興味ある専門分野があったため
Offered studies in a particular field of interest
5. 異文化に接したかったため
Wanted to experience a different culture
6. 日本語・日本文化を勉強したかったため
Wanted to learn Japanese and Japanese culture
7. 日本と関連のある職業に就きたかったため
Wanted to do work related to Japan
8. 奨学金を得られたため
Received scholarship
9. 友人、知人、家族等に勧められたため
Recommended by your friend, acquaintance and family etc.
10. 大学間交流等をきっかけとして
Occasion of the having experienced of the university exchange
11. 他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合ったため
As compared with other countries, Japan met your most conditions such as academic ability and expense.
12. その他
Others

Q 5. 日本に留学するにあたり、不安に感じていたことは何でしたか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

What were your concerns before studying in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 日本の天候や食べ物、習慣に適應できるかどうか
Adaptation to Japanese climate, food and customs
2. 自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるかどうか
Possibility of studying your desired field and achievement of the learning outcomes
3. 周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるかどうか
Communication with other people
4. 適切な宿舎を確保できるかどうか
Reservation of accommodation
5. 病気に罹ったり自然災害に遭ったりしないかどうか
Disease or natural disaster
6. 孤独に感じたりホームシックになったりしないかどうか
Loneliness and homesickness
7. 経済的な困難に直面しないかどうか
Financial problems
8. 特に不安はなかった
None
9. その他
Others

Q 6. 日本に留学するまでに特に苦労したことは何でしたか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

What were your problems before arriving at Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

- | | |
|---|------------------------------|
| 1. 情報の収集 Gathering information | 2. 日本語学習 Learning Japanese |
| 3. 留学先学校との事前連絡 Contact with Japanese school | 4. 留学ビザ取得 Getting visa |
| 5. 留学資金準備 Preparation of expenses | 6. 入学試験 Entrance examination |
| 7. その他 Others | |

Q 7. 日本に留学する前に、どのような方法で留学情報を入手しましたか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

How did you gather information on studying in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 日本留学フェア、教育展等に参加して Japan education fair or seminar
2. 入学を希望する学校に直接問い合わせして Contact with school you wish to enroll in
3. 在外日本大使館等の在外公館に問い合わせして Japanese embassy or consulate general
4. 母国の政府教育機関に問い合わせして Government organization of your home country or region
5. 日本学生支援機構(JASSO)に問い合わせして Contact with JASSO
6. インターネットを利用して学校や日本学生支援機構(JASSO)のHPを検索して Internet
7. その他の民間団体に問い合わせして Private foundation
8. 日本の出版物を購入して Publication
9. 母国の学校や教員に相談して School in your home country or region
10. 親戚や友人に相談して Relative or friend
11. その他 Others

【日本に来てから現在通っている学校に入学することについてお聞きます。After arriving at Japan】

Q 8. 日本に来てから何年経ちますか。How many years have passed after arriving at Japan?

- | | | |
|---------------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 1年未満 Less than 1 year | 2. 1年～2年未満 1～2 years | 3. 2年～3年未満 2～3 years |
| 4. 3年～4年未満 3～4 years | 5. 4年～5年未満 4～5 years | 6. 5年～6年未満 5～6 years |
| 7. 6年以上 More than 6 years | | |

Q 9. 日本に来たあと、今在籍している学校の課程に、すぐ入学しましたか。

Did you enroll in your current school immediately after arriving at Japan?

- | | | |
|-----------------------|------------------|-----------|
| 1. はい (Q 11へ進んでください。) | Yes (Go to Q11.) | 2. いいえ No |
|-----------------------|------------------|-----------|



Q10. Q9で「2. いいえ」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

日本に来たあと、今在籍している学校の課程に入学する直前は何をしていましたか。
(一番最近のものを1つ回答)

If you selected "2.No" above, please answer the question.

What were you doing before enrolling in your current school?

1. 日本語教育機関で勉強していた Studying at Japanese language institution
2. 準備教育課程で勉強していた Studying at university preparatory course
3. 留学生別科で勉強していた Studying at preparatory Japanese language course
4. 専修学校（専門課程）で勉強していた Studying at professional training college
5. 高等専門学校で勉強していた Studying at college of technology
6. 短期大学で勉強していた Studying at junior college
7. 大学の学部で勉強していた Studying at undergraduate course
8. 大学院で勉強していた Studying at graduate school
9. 働いていた Working
10. その他 Others

【現在通っている学校等についてお聞きします。 Your current school】

Q11. 在籍する学校は次のどれですか。 Please select your school type.

1. 国立 National
2. 公立 Local public
3. 私立 Private

Q12. 在籍する学校ではどの課程で学んでいますか。 Please select your course.

1. 大学院博士課程・博士後期課程 Doctoral course
2. 大学院修士課程・博士前期課程 Master's course
3. 専門職大学院課程 Professional graduate school
4. 大学院レベルの研究生 Research student at graduate level (Non degree)
5. 学部正規課程 Undergraduate degree course
6. 学部レベルの研究生・聴講生 Research student/auditor at undergraduate level (Non degree)
7. 短期大学 Junior college
8. 専修学校（専門課程） Professional training college
9. 準備教育課程 University preparatory course
10. 日本語教育機関 Japanese language institution
11. その他 Others

Q13. 現在、何年生ですか。 Please select your grade in school.

1. 1年生 1st grade
2. 2年生 2nd grade
3. 3年生 3rd grade
4. 4年生 4th grade
5. 5年生 5th grade
6. 6年生 6th grade
7. 修士1年生 Master 1st grade
8. 修士2年生 Master 2nd grade
9. 博士1年生 Doctor 1st grade
10. 博士2年生 Doctor 2nd grade
11. 博士3年生 Doctor 3rd grade

12. 研究生・聴講生等 Research student etc. 13. その他 Others

Q14. 日本語能力に関する資格を取得していますか。(当てはまるものを選択してください。)
Please select your qualifications for Japanese language.

1. J1+ 2. J1 3. J2 4. J3 5. J4 6. J5 7. N1 8. N2
9. N3 10. N4 11. N5 12. 取得していない No qualification

Q15. 今後、日本語能力に関する資格を取得する予定はありますか。(当てはまるものを選択してください。)
Please select your plans for getting qualification related to Japanese language.

1. J1+ 2. J1 3. J2 4. J3 5. J4 6. J5 7. N1 8. N2
9. N3 10. N4 11. N5 12. 取得する予定がない No plan for getting qualification

Q16. 在籍する学校における専攻分野は何ですか。Please select your major.

1. 人文科学 (文学、歴史、哲学等)
Human sciences (Literature, History, Philosophy etc.)
2. 社会科学 (法律、政治、経済、社会学等)
Social sciences (Law, Politics, Economics, Sociology etc.)
3. 理学 (数学、物理、化学、生物学等)
Natural sciences (Mathematics, Physics, Chemistry, Biology etc.)
4. 工学 (機械工学、電子工学、応用化学等)
Engineering (Mechanical engineering, Electrical engineering, Applied chemistry etc.)
5. 農学 (農業経済、農芸、獣医畜産、水産学等)
Agriculture (Agricultural economics, Agricultural science, Animal and Veterinary science, Fisheries science etc.)
6. 医・歯学 Medicine/dentistry
7. 薬学 Pharmacy
8. 家政 (食物、被服、住居学等)
Home economics (Food science, Clothing science, Housing science etc.)
9. 教育 Education
10. 日本語 Japanese ※日本語教育機関に在籍者 Student enrolled in Japanese language institution
11. その他 Others

Q17. 1週間当たりの勉強時間を教えてください。(学校での授業時間を除く。)
How many hours do you study per week? (Except the classes)

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. 7時間未満 Less than 7 hours | 2. 7～14時間未満 7～14 hours |
| 3. 14～21時間未満 14～21 hours | 4. 21～28時間未満 21～28 hours |
| 5. 28～35時間未満 28～35 hours | 6. 35～42時間未満 35～42 hours |
| 7. 42～49時間未満 42～49 hours | 8. 49時間以上 More than 49 hours |

Q 18. 現在^{げんざい}住^すんでいるところから、在籍^{ざいせき}する学校^{がっこう}までの所要^{しょうよう}通学^{つうがく}時間^{じかん}（片道^{かたみち}）はどのくらいですか。
How long does it take from your house to your school? (One way)

1. 30分^{ふん}以内^い Less than 30 minutes
2. 1時間^{じかん}以内^い One hour
3. 1時間^{じかん}30分^{ふん}以内^い One and a half hours
4. 2時間^{じかん}以内^い 2 hours
5. 2時間^{じかん}以上^{いじょう} More than 2 hours

Q 19. 在籍^{ざいせき}する学校^{がっこう}の授業^{じゅぎょう}料^{りょう}等の保証^{ほしょう}人を求め^{もと}られましたか。
Were you required a guarantor for the payment of tuition?

1. はい Yes
2. いいえ (Q 21へ^{すす}進^{すす}んでください。) No (Go to Q21.)

Q 20. Q 19で「1. はい」と答^{こた}えた人^{ひと}は、以下^いの質問^{しつもん}に答^{こた}えてください。
在籍^{ざいせき}する学校^{がっこう}の授業^{じゅぎょう}料^{りょう}等の保証^{ほしょう}人は誰^{だれ}ですか。
If you selected “1.Yes” above, please answer the question.
Who is your guarantor for the payment of tuition?

1. 大学・学校^{だいがく がっこう}（代表^{だいひょう}者^{しや}） School (Representative)
2. 大学・学校^{だいがく がっこう}の指導^{しどう}教^{きょう}員^{いん} Academic advisor
3. 国際^{こくさい}交流^{こうりゅう}団体^{だんたい}（代表^{だいひょう}者^{しや}） International exchange organization (Representative)
4. 過去^{かこ}に在籍^{ざいせき}していた日本^{にほん}語^ご教育^{きょういく}機関^{きかん}（代表^{だいひょう}者^{しや}・教^{きょう}員^{いん}）
Former Japanese language institution (Representative/teacher)
5. 日本^{にほん}人^{じん}の知^ち人^{じん} Acquaintance (Japanese)
6. 日本^{にほん}人^{じん}以外^{いがい}の知^ち人^{じん} Acquaintance (Non Japanese)
7. 親^{しん}族^{ぞく} Relative
8. その他^た Others

Q 21. 在籍^{ざいせき}する学校^{がっこう}の良^よいところは何^{なん}ですか。
What are good points of your school?

1. 学生^{がくせい}のサポ^{たい}ート体^{せい}制^{せい} Student support
2. 学修^{がくしゅう}環^{かん}境^{きょう}（教室^{きょうしつ}、研究^{けんきゅう}室^{しつ}、実験^{じっけん}室^{しつ}等^な） Learning environment (Classroom, laboratory, etc.)
3. 研究^{けんきゅう}内^{ない}容^{よう} Research/learning contents
4. 福利^{ふく}厚生^{こうせい} Welfare program
5. クラ^{かつ}ブ活^{どう}動^な等^なの課^か外^{がい}活^{かつ}動^{どう} Club activities
6. その他^た Others
7. なし Nothing

※「6. その他」を選^え択^{たく}した場合は、回^{かい}答^{とう}画^が面^{めん}にその理^り由^{ゆう}を入^い力^{りき}してくださ^いい。
※If you select “Others”, please fill in a suitable word.

Q 22. 在籍^{ざいせき}する学校^{がっこう}の悪^{わる}いところは何^{なん}ですか。
What are bad points of your school?

1. 学生^{がくせい}のサポ^{たい}ート体^{せい}制^{せい} Student support
2. 学修^{がくしゅう}環^{かん}境^{きょう}（教室^{きょうしつ}、研究^{けんきゅう}室^{しつ}、実験^{じっけん}室^{しつ}等^な） Learning environment (Classroom, laboratory, etc.)

3. 研究内容 Research/learning contents
4. 福利厚生 Welfare program
5. クラブ活動等の課外活動 Club activities
6. その他 Others
7. なし Nothing

※「6. その他」を選択した場合は、回答画面にその理由を入力してください。

※If you select “Others”, please fill in a suitable word.

【日本への印象等についてお聞きます。 Your impression of Japan】

Q 2 3. 日本に留学してから日本人に対する印象は良くなりましたか。

Has your impression of Japanese people been changed after studying in Japan?

1. 留学前は悪かったが、留学後に良くなった It was bad before, but it got better.
2. 留学前から良かったが、留学後にさらに良くなった It was good before and got even better.
3. 留学前は良かったが、留学後に悪くなった It was good before, but it got worse.
4. 留学前から悪かったが、留学後にさらに悪くなった It was bad before and got even worse.
5. 留学前から良かったが、留学後に特に変化は無い It has been good and same as before.
6. 留学前から悪かったが、留学後に特に変化は無い It has been bad and same as before.

※回答項目の1～4を選択した場合は、回答画面にその理由を入力してください。

※If you select “1～4”, please fill in a suitable word.

Q 2 4. 日本に留学して、良かったですか。

How would you describe your impression of studying in Japan?

1. 良かった Good

2. 悪かった

(Q 2 6へ進んでください。) Bad (Go to Q26.)

3. どちらともいえない

(Q 2 6へ進んでください。) Neither one (Go to Q26.)

※「2. 悪かった」、「3. どちらともいえない」を選択した場合は、回答画面にその理由を入力してください。

※If you select “Bad” or “Neither one” in the question, please fill in a suitable word.

Q 2 5. Q 2 4で「1. 良かった」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

日本に留学して良かったことは何でしたか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

If you selected “1.Good” above, please answer the question.

What did you acquire during your study in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 質の高い教育を受けられたこと High quality of education

2. 日本語が習得できたこと Japanese acquisition
3. 日本人の友人ができたこと Japanese friends
4. 国際的な人脈ができたこと International network
5. 国際的な考え方、教養を身につけることができたこと Wide perspective and culture
6. その他 Others

Q 27. 日本に留学してから苦労したことは何でしたか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入力してください。)

What are your problems in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 物価が高い High prices
2. 日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い
Difference from the customs (Lifestyle, religious etc.) of your home country or region in daily life
3. 宿舎等を探すこと Finding accommodation
4. 宿舎等におけるルール (ゴミ出し等) を守ること
Following the rule in accommodation (How to put out the garbage bags etc.)
5. 日本語の習得 Japanese acquisition
6. 英語の習得 English acquisition
7. 学校内で日本人学生と交流できないこと Less interchange with Japanese students in school
8. 学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと
Less communication with teachers and staffs in school
9. 学校の授業についていくこと Catching up with the classes of school
10. その他 Others

Q 28. Q 27で克服できなかったことは何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

What are the things which you could not overcome in Q27? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 物価が高い High prices
2. 日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い
Difference from the customs (Lifestyle, religious etc.) of your home country or region in daily life
3. 宿舎等を探すこと Finding accommodation
4. 宿舎等におけるルール (ゴミ出し等) を守ること
Following the rule in accommodation (How to put out the garbage bags etc.)
5. 日本語の習得 Japanese acquisition
6. 英語の習得 English acquisition
7. 学校内で日本人学生と交流できないこと Less interchange with Japanese students in school
8. 学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと
Less communication with teachers and staffs in school
9. 学校の授業についていくこと Catching up with the classes of school

10. その他 Others

【1ヶ月の収入と支出についてお聞きします。 Your monthly income and expenses】

Q29. 1ヶ月の収入と支出についてお聞きします。

1万円のときは、と入力してください。

一回答の例ー

収入 (円/月)	支出 (円/月)
(1) 仕送り 63,000	(1) 学習研究費
(2) アルバイト 29,000	A. 授業料 44,000
(3) 奨学金	B. 授業料以外 10,000
A. 学習奨励費 48,000	C. サークル等
B. 大学・学校	(2) 通学費 8,000
C. 地方自治体	(3) 食費 25,000
D. 民間団体	(4) 住居費 36,000
E. 海外の団体	(5) 電気ガス水道 8,000
F. その他	(6) 保険医療費 3,000
(4) 知人の援助	(7) 趣味娯楽 5,000
(5) 配偶者の収入	(8) その他
(6) その他	(9) 残額 1,000

計	140,000	計	約	140,000
---	---------	---	---	---------

画面に入力する際の注意

※ 収入と支出の合計額は、必ず同じ金額になるようにしてください。違う金額の場合はエラーメッセージが表示されます。

※ 授業料(1ヶ月分の金額)は、1年間の授業料を12で割る、または半年の授業料を6で割って金額を算出してください。なお、授業料には、入学金などの一時的にかかる経費は含みません。
(例) 1年間の授業料 528,000円 → 月額 44,000円 (528,000÷12=44,000)

※ 1,000円単位で回答してください。端数1,000円未満は切り上げてください。

(例) 7,235円を入力する場合 × 7,000 ○ 8,000

Please answer after reading the following notices.

—Example—

Income

(1) Allowance	63	,000
(2) Part-time job	29	,000
(3) Scholarship		
A. MEXT	48	,000
B. On campus		,000
C. Local government		,000
D. Private foundation		,000
E. Overseas organization		,000
F. Others		,000
(4) Acquaintance		,000
(5) Spouse		,000
(6) Others		,000

Expenses

(1) Study fee		
A. Tuition	44	,000
B. Material fee	10	,000
C. Club activity		,000
(2) Commuting	8	,000
(3) Food	25	,000
(4) Rent	36	,000
(5) Utilities cost	8	,000
(6) Insurance etc.	3	,000
(7) Hobby etc.	5	,000
(8) Miscellaneous		,000
(9) Balance	1	,000

Total	140	,000	Total	140	,000
-------	-----	------	-------	-----	------

The two totals have to be the same amount!

Precautions when inputting on the screen

※ Make sure that the sum of your incomes and expenses is the same. If the amount is different, an error message will be displayed.

※ “A. Tuition” is monthly tuition (except entrance fee and temporary fee).

When you know only the tuition for one year, please divide it by 12.

Tuition for one year 528,000 yen → **Monthly tuition 44,000 yen** (528,000 ÷ 12 = 44,000)

※ Please enter the amount per 1,000 yen and round up fractions of the amount .

If the amount is 7,235yen × ,000yen ○ ,000yen

Q 2 9. 1ヶ月の平均的な収入はどれくらいですか。それぞれの項目について、の中に金額を入力してください。なお、には該当する数字だけ入力してください。

How much is your monthly average income?

	円yen / 月month
(1) 親・兄弟、または親戚からの仕送り Allowance	<input type="text"/> ,000
(2) アルバイト Part-time job	<input type="text"/> ,000
(3) 奨学金 Scholarship	
A. 私費外国人留学生学習奨励費 (¥48,000、または¥30,000) MEXT honors scholarship (¥48,000、or ¥30,000)	<input type="text"/> ,000
B. 大学・学校からの奨学金 On-campus scholarship	<input type="text"/> ,000
C. 地方自治体（都道府県市区町村）による援助金 Local government scholarship	<input type="text"/> ,000
D. 民間団体の奨学金 Private foundation scholarship	<input type="text"/> ,000
E. 海外の団体による奨学金（日本以外の団体） Scholarship of the overseas organization (Other than Japanese organization)	<input type="text"/> ,000
F. その他の奨学金 Others	<input type="text"/> ,000
(4) 知人の援助 Support from a guarantor or an acquaintance	<input type="text"/> ,000
(5) 配偶者の収入 Spouse's income	<input type="text"/> ,000
(6) その他 Others	<input type="text"/> ,000

合計 Total amount

 ,000

↑ 支出の合計と同額か必ず確認してください。

↑ Same as the total amount of Expenses.

私費外国人留学生学習奨励費を入力した場合は、Q 3 0へ進んでください。入力しなかった場合は、Q 3 1へ進んでください。

If you receive MEXT honors scholarship, please answer the following questions. If not, go to Q31.

Q 2 9. 1ヶ月の平均的な支出はどれくらいですか。それぞれの項目について、□の中に金額を入力してください。なお、□には該当する数字だけ入力してください。
How much is your monthly average expenses?

円yen / 月month

(1) 学習研究費

Study fee

A. 授業料 (1ヶ月分の金額)

Tuition

B. 教科書、実習材料、文具等の経費 (授業料以外の経費)

Material fee (Textbook, training material, stationery)

C. サークル活動の会費、合宿費

Club activities

(2) 通学費 (定期代等)

Commuting expenses

(3) 食費

Food

(4) 住居費 (1ヶ月の家賃、寮費など)

Rent

(5) 電気、ガス、水道料金

Utilities cost

(6) 保険、医療費

Insurance and medical

(7) 趣味、娯楽費

Hobby and entertainment

(8) その他の日常的な経費 Miscellaneous

(洋服代、電話料金、交通費、消耗品等) (Clothes, mobile phone etc.)

(9) 残額

Balance

合計 Total amount

↑ 収入の合計と同額が必ず確認してください。

↑ Same as the total amount of Income.

Q 2 9の収入で (3) 学習奨励費を受けていると答えた人は、以下の質問に答えてください。(受けていな

い人はQ32へ進んでください。) If you receive MEXT honors scholarship, please answer the following questions. (If not, go to Q31.)

Q30. 学習奨励費を受けて良かったことは何ですか。
(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入力してください。)
What are the merits of receiving MEXT honors scholarship? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた
Not having felt uneasiness about the daily life and could concentrate on study
2. 成績が良くなれば、学習奨励費を受けられると思い励みになった
Became encouragement of your study
3. 奨学金があるので学校のクラブ活動等に参加できるようになった
Could have taken part in club activities in your school
4. 宿舎を探すのにも奨学金があると有利だった Advantage in finding accommodation
5. その他 Others

Q31. 学習奨励費の給付に対して今後望むことは何ですか。
(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入力してください。)
What do you wish to MEXT honors scholarship? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 給付金額の増額 To increase the amount
2. 受給者数の増加 To increase the number of scholars
3. 海外で奨学金予約ができるように予約者数を増やしてほしい
To increase the number of overseas applicants
4. 給付期間を1年間から延ばしてほしい To extend the duration from one year
5. 母国において、学習奨励費の情報が少なかったなので、もっと情報提供してほしい
More information on MEXT honors scholarship
6. 学校内での選考について、もっと情報提供してほしい
More information on selection procedure of applicants in school
7. その他 Others

【アルバイトについてお聞きします。 Part-time job】

Q32. 現在、アルバイトをしていますか。 Do you work part-time?

1. はい Yes 2. いいえ (Q37へ進んでください。) No (Go to Q37.)



Q32で「1. はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

If you selected "1.Yes" above, please answer the following questions

Q 3 3. どのようなアルバイトをしていますか。(3つまで複数回答可)

What kind of part-time job? (You can give the multiple answers to three.)

- | | |
|--|---|
| 1. 家庭教師 Homework teacher | 2. 語学教師 Language teacher |
| 3. 塾講師 Private supplementary school lecturer | |
| 4. ティーチングアシスタント (TA)・リサーチアシスタント (RA) Teaching assistant (TA)/research assistant (RA) | |
| 5. 一般事務 Office work | 6. 経理事務 Accounting work |
| 7. 清掃 Cleaning | 8. 警備 Guard |
| | 9. ビル管理 Building management |
| 10. ガソリンスタンド Gas stand | 11. 配達 Delivery |
| | 12. 発送作業 Dispatch work |
| 13. 飲食業 Food | 14. 営業・販売 (コンビニ等) Business/selling (convenience store etc.) |
| 15. ホテル受付・ホール係 Reception/hall | 16. 出版物等の印刷作業 Printing work |
| 17. 土木・建設作業 Construction work | 18. 引越業 Moving work |
| 19. 工場での組立作業 Assembly work | 20. 倉庫整理 Warehouse rearranging |
| 21. 翻訳・通訳 Translation/interpretation | |
| 22. プログラマー、オペレーター Computer programmer/operator | |
| 23. グラフィック・デザイナー Computer graphic design | 24. その他 Others |

Q 3 4. 1週間に何時間アルバイトをしていますか。

How many hours do you work part-time per week?

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. 5時間未満 Less than 5 hours | 2. 5時間～10時間未満 5～10 hours |
| 3. 10時間～15時間未満 10～15 hours | 4. 15時間～20時間未満 15～20 hours |
| 5. 20時間～25時間未満 20～25 hours | 6. 25時間以上 More than 25 hours |

Q 3 5. なぜアルバイトをするのですか。 Why do you work part-time?

1. 日本での生活を維持するために必要だから To maintain your life in Japan
2. 日本人との交流等良い機会になるから
Good opportunity for communicating with Japanese people
3. 教養・娯楽等にアてる費用を得るため For your hobby and entertainment
4. その他 Others

Q 3 6. 主としてやっているアルバイトの時給 (1時間あたりの単価) はいくらですか。

How much is the hourly wage?

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 800円未満 Less than 800 yen | 2. 800円～1,000円未満 800～1,000 yen |
| 3. 1,000円～1,200円未満 1,000～1,200 yen | 4. 1,200円～1,400円未満 1,200～1,400 yen |
| 5. 1,400円～1,600円未満 1,400～1,600 yen | 6. 1,600円～1,800円未満 1,600～1,800 yen |
| 7. 1,800円～2,000円未満 1,800～2,000 yen | 8. 2,000円以上 More than 2,000 yen |

【住居についてお聞きします。 Accommodation】

Q 3 7. 現在、どの地域に住んでいますか。Where do you live in?

- | | | | |
|-----------------|-------------------|------------------|------------------|
| 1. 北海道 Hokkaido | 2. 青森 Aomori | 3. 岩手 Iwate | 4. 宮城 Miyagi |
| 5. 秋田 Akita | 6. 山形 Yamagata | 7. 福島 Fukushima | 8. 茨城 Ibaraki |
| 9. 栃木 Tochigi | 10. 群馬 Gunma | 11. 埼玉 Saitama | 12. 千葉 Chiba |
| 13. 東京 Tokyo | 14. 神奈川 Kanagawa | 15. 新潟 Niigata | 16. 富山 Toyama |
| 17. 石川 Ishikawa | 18. 福井 Fukui | 19. 山梨 Yamanashi | 20. 長野 Nagano |
| 21. 岐阜 Gifu | 22. 静岡 Shizuoka | 23. 愛知 Aichi | 24. 三重 Mie |
| 25. 滋賀 Shiga | 26. 京都 Kyoto | 27. 大阪 Osaka | 28. 兵庫 Hyogo |
| 29. 奈良 Nara | 30. 和歌山 Wakayama | 31. 鳥取 Tottori | 32. 島根 Shimane |
| 33. 岡山 Okayama | 34. 広島 Hiroshima | 35. 山口 Yamaguchi | 36. 徳島 Tokushima |
| 37. 香川 Kagawa | 38. 愛媛 Ehime | 39. 高知 Kochi | 40. 福岡 Fukuoka |
| 41. 佐賀 Saga | 42. 長崎 Nagasaki | 43. 熊本 Kumamoto | 44. 大分 Oita |
| 45. 宮崎 Miyazaki | 46. 鹿児島 Kagoshima | 47. 沖縄 Okinawa | |

● どのような宿舎に住んでいますか。Which type of your current accommodation?

Q 3 8. どのような形態の宿舎に住んでいますか。

Which type of accommodation do you live in?

1. 民間アパート・マンション等 Private housing/apartment
2. 大学・学校の留学生用宿舎 International student residence set up by school
3. 大学・学校の一般学生寮 Student hostel set up by school
4. 県・市・財団法人の留学生宿舎 International student housing set up by local government
5. 公営住宅等の一般公的宿舎 Public housing
6. 企業の社員寮 Private company hostel
7. ホームステイ Home stay
8. その他 Others

Q 3 9. 宿舎を選ぶ際、重視したものは何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入力してください。)

What did you think as important in choosing accommodation? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 家賃・初期費用 Rent
2. 間取り・広さ Layout/width
3. 設備 Equipment
4. 学校からの距離・通学時間 Distance/commuting time
5. 周辺環境の利便性(駅が近い、買い物しやすい等) Convenience of neighboring environment
6. セキュリティ Security
7. 日本人との交流 Exchange with Japanese people
8. 留学生同士の交流 Exchange between international students

Q 4 0. 現在住んでいる部屋のうち、あなたが使用している面積はどの位の広さですか。

(キッチン・バス・トイレは除いてください。2人以上で住んでいる場合、キッチン・バス・トイレを除いた部屋の広さを住んでいる人の数で割ってください。たたみ1枚の広さは約1.6㎡です。)

About rooms you live in, how large is the area that you use individually?

(Except kitchen, bath/shower and toilet. If you live with two or more persons, please determine your own area. 1 tatami mat = about 1.6 m²)

1. 5㎡未満 (たたみ約3枚分) Under 5 m² (3 tatami mats)
2. 5㎡～7.5㎡未満 (たたみ約4枚～4.5枚分) 5 m²～7.5 m² (4～4.5 tatami mats)
3. 7.5㎡～10㎡未満 (たたみ約5枚～6枚分) 7.5 m²～10 m² (5～6 tatami mats)
4. 10㎡～12.5㎡未満 (たたみ約7枚～7.5枚分) 10 m²～12.5 m² (7～7.5 tatami mats)
5. 12.5㎡～15㎡未満 (たたみ約8枚～9枚分) 12.5 m²～15 m² (8～9 tatami mats)
6. 15㎡～17.5㎡未満 (たたみ約10枚～10.5枚分) 15 m²～17.5 m² (10～10.5 tatami mats)
7. 17.5㎡～20㎡未満 (たたみ約11枚～12枚分) 17.5 m²～20 m² (11～12 tatami mats)
8. 20㎡～25㎡未満 (たたみ約13枚～15枚分) 20 m²～25 m² (13～15 tatami mats)
9. 25㎡以上 (たたみ約16枚分以上) Over 25 m² (Over 16 tatami mats)

● 現在住んでいる宿舎にキッチン、バス、シャワー、トイレはありますか。

Are there kitchen, bath/shower and toilet in your accommodation?

Q 4 1. キッチン Kitchen

1. 部屋にある In your room
2. 部屋にはないが共同 Shared
3. なし Nothing

Q 4 2. バス・シャワー Bath/shower

1. 部屋にある In your room
2. 部屋にはないが共同 Shared
3. なし Nothing

Q 4 3. トイレ Toilet

1. 部屋にある In your room
2. 部屋にはないが共同 Shared

Q 4 4. 1人で住んでいますか。 Do you live alone?

1. はい (Q 4 7へ進んでください。) Yes (Go to Q47.)
2. いいえ No



● Q 4 4で「2. いいえ」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

If you selected “2.No” above, please answer the following questions.

Q 4 5. 同居している人は何人ですか。(あなた以外)

How many people do you live together? (Except you)

1. 1人 One person
2. 2人 Two persons
3. 3人 Three persons
4. 4人 Four persons
5. 5人以上 More than five persons

Q 4 6. ^{だれ どうきょ}誰と同居していますか。
Whom do you live with?

1. ^{はいぐうしや かぞく}配偶者または家族 Spouse or family
2. ^{がいこくじんりゅうがくせい}外国人留学生 International students
3. ^{にほんじんがくせい}日本人学生 Japanese students
4. ^たその他 Others

Q 4 7. ^{げんざい しゅくしや にゆうきょ き}現在の宿 舎に入居が決まったとき、^{まいつき やちん}毎月の家賃とは別に、^{べつ}いくら^{けいひ しききん れいきんなど}経費（敷金・礼金等）がかかりましたか。
How much did you pay the expenses (deposit) except the monthly rent in making a contract of your current accommodation?

1. なし Nothing
2. ^{まんえん み まん}5 万円未満 Less than 50,000 yen
3. ^{まんえん まんえん み まん}5 万円～ 1 0 万円未満 50,000 ～ Less than 100,000 yen
4. ^{まんえん まんえん み まん}1 0 万円～ 2 0 万円未満 100,000 ～ Less than 200,000 yen
5. ^{まんえん まんえん み まん}2 0 万円～ 3 0 万円未満 200,000 ～ Less than 300,000yen
6. ^{まんえん まんえん み まん}3 0 万円～ 4 0 万円未満 300,000 ～ Less than 400,000 yen
7. ^{まんえん まんえん み まん}4 0 万円～ 5 0 万円未満 400,000 ～ Less than 500,000yen
8. ^{まんえんいじょう}5 0 万円以上 500,000 yen or more

Q 4 8. ^{しゅくしや ほしやうにん もと}宿 舎の保証人を求められましたか。
Were you required a guarantor of your current accommodation?

1. はい Yes
2. いいえ（Q 5 0 へ進んでください。） No（Go to Q50.）



Q 4 9. Q 4 8 で「1. はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。
^{げんざい す しゅくしや ほしやうにん だれ}現在住んでいる宿 舎の保証人は誰ですか。
If you selected “1.Yes” above, please answer the question.
Who is your guarantor of your current accommodation?

1. ^{だいがく がっこう だいひょうしや}大学・学校（代表者） School (Representative)
2. ^{だいがく がっこう しどうきょういん}大学・学校の指導教員 Academic advisor
3. ^{こくさいこうりゅうだんたい だいひょうしや}国際交 流団体（代表者） International exchange organization (Representative)
4. ^{か こ ざいせき にほんごきょういくきかん だいひょうしや きょういん}過去に在籍していた日本語教育機関（代表者・教員）
Former Japanese language institution (Representative/teacher)
5. ^{にほんじん ちじん}日本人の知人 Acquaintance (Japanese)
6. ^{にほんじんいがい ちじん}日本人以外の知人 Acquaintance (Non-Japanese)
7. ^{しんぞく}親族 Relative
8. ^{ほしやうにんせいど りよう}保証人制度を利用する To use the guarantor system
9. ^たその他 Others

けんこう けき
【健康についてお聞きします。 Your health】

Q 5 0. 学校に入学してから病気やけがをしたことがありますか。また、その時どうしましたか。
(3つまで複数回答可)

Have you got disease or injuries since you enrolled in your school?

(You can give the multiple answers to three.)

1. 病気やけがをしたことがない No disease and injuries
2. 学校の保健管理センターや医務室に行った
Visited the health center or medical office in your school
3. 病院に行った Went to the hospital
4. 薬局で薬を買って治した Bought medicine
5. 病院にも薬局にも行かないで、我慢した Endured
6. その他 Others

●けんこうほけん けき
●健康保険についてお聞きします。 Health insurance

Q 5 1. 健康保険に加入していますか。

Do you join the health insurance?

1. はい Yes
2. いいえ (Q 5 4へ進んでください。) No (Go to Q54.)



Q 5 2. Q 5 1で「1. はい」と答えた人にお聞きします。
その健康保険の種類は次のどれですか。(3つまで複数回答可)

If you selected “1.Yes” above, please answer the following questions.

Which kind of the health insurance? (You can give the multiple answers to three.)

1. (日本の) 国民健康保険 Japanese national health insurance
2. 海外旅行・留学保険 Overseas travel insurance/study abroad insurance
3. 親や、兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険 Health insurance of your family
4. 所属する機関の健康保険 Health insurance by school
5. その他 Others

Q 5 3. 1ヶ月に合計どのくらいの金額を払っていますか。(次はQ 5 5に進んでください。)

How much is the monthly payment of the health insurance? (Next, go to Q55.)

1. 無料 Free
2. 500円未満 Less than 500 yen
3. 500円～1,000円未満 500 ～ Less than 1,000 yen
4. 1,000円～1,500円未満 1,000 ～ Less than 1,500 yen
5. 1,500円～2,000円未満 1,500 ～ Less than 2,000 yen
6. 2,000円～2,500円未満 2,000 ～ Less than 2,500 yen
7. 2,500円～3,000円未満 2,500 ～ Less than 3,000 yen
8. 3,000円～3,500円未満 3,000 ～ Less than 3,500 yen
9. 3,500円以上 3,500 yen or more

Q54. Q51で「2. いいえ」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

健康保険に加入していない理由は次のどれですか。(加入している人は回答の必要はありません。)

What is the reason why you don't join the health insurance?

(If you selected "2.No" above in Q51, please answer the question.)

1. 保険料が高すぎる Expensive
2. 保険が必要だと思わない Unnecessary
3. 国民健康保険への加入の仕方がわからない

Not knowing the subscription of the Japanese national health insurance

4. その他 Others

【卒業後の予定についてお聞きします。 Your plan after finishing your current school】

Q55. 現在在籍する学校の卒業後、日本において進学する希望はありますか。

Do you want to study further after finishing your current school in Japan?

1. はい Yes
2. いいえ (Q58へ進んでください。) No (Go to Q58.)



Q56. どの課程への進学を考えていますか。

Which course/school do you want to enroll in?

1. 大学院博士課程・博士後期課程 Doctoral course
2. 大学院修士課程・博士前期課程 Master's course
3. 専門職大学院課程 Professional graduate school
4. 大学院レベルの研究生 Research student at graduate level (Non degree)
5. 学部正規課程 Undergraduate degree course
6. 学部レベルの研究生・聴講生 Research student/auditor at undergraduate level (Non degree)
7. 短期大学 Junior college
8. 専修学校(専門課程) Professional training college
9. その他 Others

Q57. 現在在籍する学校の卒業後の予定はなんですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入力してください。)

What will you do after finishing your current school in Japan?

(You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order of the most appropriate reasons.)

1. 日本において進学希望 Further study in Japan
2. 日本において就職希望 (Q59へ進んでください。) Employment in Japan (Go to Q59.)
3. 日本において起業希望 Starting a business in Japan
4. 出身国において進学希望 Further study in your home country or region

5. 出身国において就 職 ・ 起業希望

Employment/starting a business in your home country or region

6. 日本・出身国以外の国において進学希望

Further study except in Japan and in your home country or region

7. 日本・出身国以外の国において就 職 ・ 起業希望

Employment/starting a business except in Japan and in your home country or region

8. まだ決めていない Not decided yet

● Q 5 7 で「2. 日本に就 職 希望」を答えなかった人は、Q 6 6 へ進んでください。

If you don't select "2. Employment in Japan" in Q57, please go to Q66.

Q 5 8. 現在在籍する学校の卒業後の予定はなんですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入 力してください。)

What will you do after finishing your current school in Japan?

(You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order of the most appropriate reasons.)

1. 日本において就 職 希望 (Q 5 9 へ進んでください。) Employment in Japan (Go to Q59.)

2. 日本において起業希望 Starting a business in Japan

3. 出身国において進学希望 Further study in your home country or region

4. 出身国において就 職 ・ 起業希望

Employment/starting a business in your home country or region

5. 日本・出身国以外の国において進学希望

Further study except in Japan and in your home country or region

6. 日本・出身国以外の国において就 職 ・ 起業希望

Employment/starting a business except in Japan and in your home country or region

7. まだ決めていない Not decided yet

● Q 5 8 で「1. 日本に進学希望」を答えなかった人は、Q 6 6 へ進んでください。

If you don't select "1. Further study in Japan" in Q58, please go to Q66.

● Q 5 7 で「2. 日本において就 職 希望」と答えた人と Q 5 8 で「1. 日本において進学希望」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

If you selected "2. Employment in Japan" in Q57, and "1. Further study in Japan" in Q58, please answer the following questions.

Q 5 9. どのような分野に就 職 を希望していますか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入 力してください。)

What kind of job do you wish to engage in? (You can give the multiple answers to three.

Please fill in three answers in order from most appropriate.)

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 翻訳・通訳 Translation/interpretation | 2. 海外業務 Overseas business |
| 3. 貿易業務 Trade | 4. 調査研究 Research |
| 5. 教育 Education | 6. 販売・営業 Business/selling |
| 7. 経営・管理業務 Management/administration | 8. 技術開発 Technology development |
| 9. 情報処理 Information processing | 10. 設計 Design |
| 11. その他 Others | |

Q60. 日本において就職した後の将来はどのように考えていますか。

What is your plan after employment in Japan?

1. 日本で永久に働きたい Want to work in Japan permanently
2. 日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい
Go back and find employment in your home country or region
3. 日本で働いた後、将来は日本、出身国以外で就職したい
Find employment except in Japan and in your home country or region
4. まだ決めていない Not decided yet

Q61. 日本での就職活動をする際に、どのようなことを望みますか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入力してください。)

What do you expect in job hunting in Japan? (You can give the multiple answers to three.

Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化
Simplification of the changing status of residence and shortening of a procedure period
2. 在留資格の変更が弾力的に認められるよう規制緩和
Relaxing the regulation to be more flexible for changing status of residence
3. 留学生を対象とした就職に関する情報の充実
More information on job hunting for international students
4. 学校における留学生を対象とした就職説明会の充実
More offering the job hunting seminars for international students in school
5. 学校の留学生に対する就職相談窓口の充実
More substantial of career consultation counter for international students in school
6. 企業においてもっと留学生を対象とした就職説明会を開催してほしい
More offering the job hunting seminars for international students by company
7. 留学生を対象としたインターンシップの充実
More substantial of internship for international students
8. その他 Others

Q 6 2. ^{にほん}日本での^{しゅうしょく}就 職 にあたり不安に^{ふあん}感じることは何ですか。
 (^{もっと}最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入 力してください。)

What are your concerns prior to employment in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. ^{しよくば}職場で^よ良い人間関係をつくれるか Making good relationships at work
2. ^{じぶん}自分の^{にほんご}日本語が^{つう}通じるか Japanese language ability
3. ^{きぼう}希望する^{しごと}仕事につけるか Getting a desired job
4. ^{にほん}日本の^{しょうかんしゅう}商 慣 習 になじめるか Adaption for business practice
5. ^{こきゃくたいおう}顧客対応が^{もんだい}問題なくできるか Customer service
6. ^{しつぱい}ビジネスマナーで失敗しないか Business manner
7. ^{じんじひようかせいど}どのような人事評価制度なのか Personnel evaluation system
8. ^{きんむち}勤務地がどこになるか Working place
9. ^{てきせつ}適切に^{しごと}仕事を^{すす}進められるか Working appropriately
10. ^{ろうどうじかん}労働時間が^{なが}長くないか Length of working hours
11. ^{きゅうよ}給与・^{たいぐう}待遇が^{わる}悪くないか Salary and labor conditions
12. ^{じぶん}自分の^{せんもんちしき}専門知識が^{やくだ}役立つか Putting technical knowledge to practical use
13. キャリアパスがどうなるのか Career path
14. ^{せいかつしゅうかん}生活習慣の^{ちが}違いになじめるか Difference in a lifestyle
15. ^{ふあん}不安はない Nothing
16. ^たその他 Others

Q 6 3. ^{にほん}日本で^{しゅうしょく}就 職 した後、^{あと}何年くらい^{なんねん}日本で^{にほん}働 きたいですか。
^{はたら}

How long do you plan to work after employment in Japan?

- | | |
|--|--|
| 1. ^{ねんみまん} 1年未満 Less than 1 year | 2. ^{ねん} 1年～ ^{ねんみまん} 3年未満 1～3 years |
| 3. ^{ねん} 3年～ ^{ねんみまん} 5年未満 3～5 years | 4. ^{ねん} 5年～ ^{ねんみまん} 10年未満 5～10 years |
| 5. ^{ねんいじょう} 10年以上 More than 10 years | |

Q 6 4. ^{にほん}日本でインターンシップに参加したいと思 いますか。
^{おも}

Do you want to participate in internship in Japan?

1. ^{おも}思う Yes
2. ^{すで}既に^{さんか}参加した、または^{げんざいさんか}現在参加している Already participated, or participating now.
3. ^{おも}思わない (Q 6 6へ進んでください。) No (Go to Q66.)

● Q 6 4 の質問で「1. 思う」、または「2. 既に参加した、または現在参加している」と答えた人は、Q 6 5 に答えてください。

If you selected “1.Yes” or “2. Already participated or participating now” above in Q64, please answer Q65.

Q 6 5. インターンシップに参加したいと思う理由（参加した理由）は何ですか。

Why do you want to participate in the internship?

1. 就職が有利になりそうだから

It seems to become advantageous for your employment.

2. 日本語の習得や自分の学習に役立ちそうだから

It seems to be helpful for Japanese acquisition and your learning.

3. 就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから

To experience the atmosphere of Japanese company before your employment.

Q 6 6. 私たちは留学生を支援する取り組みを行っています。そのため、留学生の皆さんの意見を聞きたいとおもっています。アンケートやヒアリングに協力してくれる人は、メールアドレスを入力してください。協力ができない人は、入力しないでください。

We are working to support international students. Therefore, I would like to hear the opinions of international students. Enter your email address if you would like to participate in surveys and hearings. If you can not cooperate, please do not enter.

メールアドレス Email address

確認用 Confirm email

以上で終わります。ご協力どうもありがとうございました。皆さんのご活躍をお祈りしています。Thank you for your kind cooperation!

令和元年度 私費外国人留学生生活実態調査

概 要

独立行政法人日本学生支援機構

【問合せ先】

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学情報課 企画調査係

〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1

電 話 03-5520-6111

F A X 03-5520-6121